

## 令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・無所属クラブ

氏名 山之内 悠

項目	研修費		
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	4 / 17	66,260	地方議員研究会セミナー 旅費・宿泊費（愛知県名古屋市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
1-6			JR乗車券・特急券 八戸⇔名古屋 52,910円 名古屋市宿泊代 13,350円
2	5 / 15	106,750	日本自治創造学会研究大会 旅費・宿泊費（東京都千代田区） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
2-6			JR乗車券・特急券（宿泊パック） 八戸⇔東京 52,700円
2-5			JR乗車券・特急券 八戸⇔東京 39,260円 JR乗車券 秋葉原⇔お茶ノ水 300円 東京都宿泊代 14,490円
3	5 / 21	69,230	地方議員研究会セミナー 旅費・宿泊費（東京都新宿区） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
3-5			JR乗車券・特急券 八戸⇔東京 39,260円 東京都宿泊代 28,980円
3-5			JR乗車券 秋葉原⇔西新宿→東京 990円
4	7 / 2	42,100	自治体・公共Week2025 旅費・宿泊費（東京都江東区） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
4-5			JR乗車券 羽田空港→京急蒲田 280円 JR乗車券・特急券 東京→八戸 18,800円
4-5			りんかい線 大井町⇔国際展示場⇔新木場 1,240円
4-5			東京都宿泊代 21,780円
5	7 / 8	54,710	我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟研修会 旅費・宿泊費（東京都千代田区）（日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
5-1			JR乗車券・特急券 八戸⇔東京 38,880円 東京都宿泊代 15,830円
6	8 / 26	41,714	全国市議会議長会研究フォーラム 旅費・宿泊費（北海道札幌市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
6-6			航空券 青森空港⇔千歳空港 16,414円 札幌市宿泊代 25,300円
7	10 / 22	66,200	第30回清溪セミナー／地方議員研究会セミナー 旅費・宿泊費（東京都新宿区） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
7-6			JR乗車券・特急券（宿泊パック） 八戸⇔東京 66,200円
小計		446,964	備 考
合計		446,964	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・無所属クラブ

氏名 山之内 悠

項目	研修費		支出内容
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
8	11 / 27	240,645	我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 総会・シンポジウム 旅費・宿泊費（神戸市）
8-3			航空券 三沢⇄伊丹 57,905円 リムジンバス代 2,400円 兵庫県宿泊代 12,500円
8-2			JR乗車券・特急券 八戸⇄神戸・神戸宿泊代 82,420円
8-5			JR乗車券・特急券 本八戸⇄三ノ宮・神戸宿泊代 上限額85,420円
8-2		8,050	自宅→八戸駅 タクシー代 3,250円 会場→三宮駅 タクシー代 2,400円 三宮駅→会場 タクシー代 2,400円
9	1 / 8	40,960	全国市議会議長会 地域未来ビジョン創造セミナー 旅費 （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
9-6			JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 40,960円
11	1 / 26	72,200	我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進 議連研修会 旅費（東京都千代田区・横浜市）
11-1			（日程、場所等は調査視察等届出書等に記載） JR乗車券・特急券 八戸⇄新杉田・横浜市宿泊代 32,600円
11-3			（日程、場所等は調査視察等届出書等に記載） JR乗車券・特急券 八戸⇄新杉田 39,600円
12	1 / 28	86,962	地方議員研究会セミナー 旅費・宿泊費（京都府京都市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
12-6			航空券 三沢⇄伊丹 61,708円 京都府宿泊代 25,254円
13	2 / 12	148,548	八戸ふるさと交流フォーラム 旅費・宿泊費（東京都千代田区） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
13-1			JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 28,780円 東京都宿泊代 17,200円
13-5			JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 39,450円 東京都宿泊代 9,760円
13-6			航空券 三沢⇄羽田・東京都宿泊代 上限額53,358円
小計		597,365	備考
合計		1,044,329	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・無所属クラブ

氏 名 山之内 悠

項 目	研修費		支 出 内 容
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
14	1 / 15	46,140	「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026 旅費・宿泊費（東京都世田谷区）（日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
14-1			JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 28,780円 東京都宿泊代 17,360円
小 計		46,140	備 考
合 計		1,090,469	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年4月4日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和7年4月17日（木）～令和7年4月18日（金）
- 3 場所 愛知県名古屋市
- 4 目的及び内容 地方議員研究会  
病院関連質問で地域の医療を守る特別研修
- 5 支出可能額（上限額） 77,760円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎							
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考			
行	4/17	本八戸駅発 7:43	区分	基数	単価	金額	備考			
き	4/17	名古屋駅着 12:48						早見表		
帰	4/18	名古屋駅着 8:29	区分	基数	単価	金額	備考			
	り	4/18						本八戸駅発 13:25		
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	1,004.0k	12,870	23,160	本八戸⇄名古屋(往復割引)			
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
					2	4,390	8,780	東京⇄名古屋 366.0k		
					1	△200	△200	閑散期割引 (東京→名古屋)		
			急							
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
					2	4,190	8,380	東京⇄名古屋 366.0k		
			航空運賃							
			バス運賃							
			宿泊料			1	13,900	13,900	名古屋市内泊(4/17)	
			小計						77,760	
			合計(小計×人数)						77,760	1名

# 地方議員研究会 病院関連質問で地域の医療を守る特別研修 行程

・ 日程：令和7年4月17日（木）～18日（金）

・ 場所：愛知県名古屋市

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
4月17日 (木)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【研修会場】 名駅セミナーオフィス ルームE 住所：名古屋市南村区名駅2-28-3 0A 第一ビル3F</p> </div> <p>7:43発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → 7:54着/8:11発 → (はやぶさ10号) → 東京 → 11:04着/11:12発 → (のぞみ27号)</p> <p>→ 12:48着 名古屋 → (移動) → 14:00～16:30 研修会場 → (移動) → ホテル</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">徒歩6分</p>	名古屋市内
4月18日 (金)	<p>ホテル → (移動) → 8:29発 名古屋 → (移動) → (のぞみ218号) → 10:06着/10:18発 → 東京 → (はやぶさ15号)</p> <p>→ 13:04着/13:17発 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 13:25着</p>	

令和7年4月21日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等報告書

令和7年4月4日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- |       |  |
|-------|--|
| 1 旅行者 | 山之内 悠 議員                                       |
| 2 期間  | 令和7年4月17日（木）～令和7年4月18日（金）                      |
| 3 場所  | 愛知県名古屋市  |
| 4 行程  | 4月17日 八戸～JR～東京～JR～名古屋<br>4月18日 名古屋～JR～東京～JR～八戸 |
| 5 支出額 | 66,260円  |
| 6 概要  | 別紙のとおり   |

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-6
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年 4月 9日

山之内 悠 様

金52,910円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済
----------------------------

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 19011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸802 No.000012



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1-6
-----	-----	-----	----	------	-----



領収書 / Payment Receipt

お部屋番号 / Room No. 0411

山之内 悠 様

請求番号 / Folio No.

人数 / Person 1 / 0

ご到着日 / Arrival 04-17-25

ご出発日 / Departure 04-18-25

担当者 / Cashier 10

株式会社フィノホテルズ

登録番号: T5010001121459

INFORMATION INVOICE

日付 / Date	ご請求内容 / Description	詳細 / Detail	料金 / Charges	支払 / Credits
04-17-25	Point Rakuten/Rakupon			500
04-17-25	JCB / Dinners			13,350
04-17-25	*Package Charge		13,850	

合計 / Total JPY	13,850	13,850
残高 / Balance JPY	0	
10%対象総額 / Sub to 10% Tax	13,850	
10%消費税額 / 10% Tax Amount	1,259	
8%対象総額 / Sub to 8% Tax	0	
8%消費税額 / 8% Tax Amount	0	
課税対象外 / Non Taxable	0	

上記金額正に領収いたしました。

We certainly received above amount.



収 入  
印 紙

# 研修報告書

## 1. 日時

令和7年4月17日（木） 14:00～16:30

## 2. 会場

名駅セミナーオフィス ルーム E

（愛知県名古屋市中村区名駅 2-28-3 OA 第一ビル 3F）

## 3. 講師

伊関 友伸 氏（城西大学経営学部教授）

## 4. 研修テーマ

「病院経営改革から病院経営強化へ」

## 5. 参加者

山之内 悠

## 6. 研修目的

本研修では、医療機関を取り巻く環境変化を踏まえ、公立・公的病院の改革にとどまらず、持続可能な病院経営の在り方について理解を深めることを目的とした。少子高齢化、地域医療構想、財政制約など複雑化する課題に対応するための視点を得るとともに、地域に必要な医療機能を維持・強化するための戦略的経営の考え方を学ぶ機会とした。

## 7. 研修内容

- ・ 職員体制の充実と各地の医師確保策
- ・ 診療報酬改定の最新版の理解
- ・ 厚生労働省資料から学ぶ地域包括医療体制
- ・ 時代遅れの指定管理者制度で大量退職の悲劇
- ・ 総務省事業で無料でアドバイザー派遣が可能
- ・ 不勉強によって病院機能が崩壊した事例
- ・ 人口減少社会での生き残り策

## 8. 所感

公立病院においても経営改善の必要性が高まる中、財務データや診療実績を活用した経営判断の重要性、そして「病院を経営する」という認識の醸成が求められていることを再認識した。また、将来の病院経営において最も重要なポイントは、医師や看護師をはじめとした人材の確保であるという点が強調されていた。地域偏在や高齢化に伴う医療ニーズの変化に対応するためにも、持続的に働ける環境づくりと人材育成の戦略が不可欠であると感じた。自治体においても医療政策との連携が求められており、今後の施策立案に活かしていきたい。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年4月18日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 間盛仁



山之内悠



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

1 旅行者 間盛仁 議員  
山之内 悠 議員

2 期間 令和7年5月15日(木) ～ 令和7年5月16日(金)

3 場所 東京都千代田区

4 目的及び内容 第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会

5 支出可能額（上限額） 110,900円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【間 盛仁 議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	5/15	白銀駅発 7:24	区分	基数	単価	金額	備考	
き	//	御茶ノ水駅着 11:17						
帰	5/16	御茶ノ水駅発 15:22	区分	基数	単価	金額	備考	
	り	//						白銀駅着 19:48
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	645.8k	10,010	18,000	白銀⇄御茶ノ水（往復割引）	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				急				
			特別車 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		1	13,900	13,900	5/15 東京都内泊
			小計					
合計（小計×人数）						55,640	1名	

# 第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会 行程

日程：令和7年5月15日（木）～ 16日（金）

行先：東京都千代田区

【間 盛仁 議員】

月 日	行 程	宿泊地
5月15日 (木)	7:24発 白銀 → (JR八戸線) → 7:54着/8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:13発 東京 → (JR中央線) 11:17着 御茶ノ水 → (移動) → 15:35～16:40 明治大学アカデミーコモン (セミナー) → (移動) → 宿泊先	東京都内泊
5月16日 (金)	宿泊先 → (移動) → 14:00～15:05/15:10発 明治大学アカデミーコモン (セミナー) → (移動) → 15:15着/15:22発 御茶ノ水 → (JR中央線) → 15:26着/16:20発 東京 19:08着/19:26発 八戸 → (JR八戸線) → 19:48着 白銀	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【山之内 悠 議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	5/15	本八戸駅発 9:50	区分	基数	単価	金額	備考	
き	//	御茶ノ水駅着 13:25						
帰	5/16	御茶ノ水駅発 12:17	区分	基数	単価	金額	備考	
り	//	本八戸駅着 16:12						
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	640.6k	9,790	17,620	本八戸⇄御茶ノ水（往復割引）	
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				急				
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		1	13,900	13,900	5/15 東京都内泊
小計						55,260		
合計（小計×人数）						55,260	1名	

# 第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会 行程

日程：令和7年5月15日（木）～ 16日（金）

行先：東京都千代田区

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
5月15日 (木)	<p>9:50発 本八戸 → (JR八戸線) → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ14号) → 13:04着/13:21発 東京 → (JR中央線)</p> <p>13:25着 御茶ノ水</p>	東京都内泊
5月16日 (金)	<p>10:00～12:00/12:05発 明治大学アカデミーコモン (セミナー)</p> <p>12:10着/12:17発 御茶ノ水 → (移動) → 12:21着/12:44発 東京</p> <p>15:35着/16:03発 八戸 → (JR八戸線) → 16:12着 本八戸</p>	

令和7年5月21日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 間盛仁  
山之内悠



### 調査視察等報告書

令和7年4月18日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 間盛仁 議員  
山之内 悠 議員
- 2 期間 令和7年5月15日(木)～令和7年5月16日(金)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 106,750円
- 6 概要 別紙のとおり

# 第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会 行程

日程：令和7年5月15日（木）～ 16日（金）

行先：東京都千代田区

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
5月15日 (木)	9:50発 本八戸 → (JR八戸線) → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ14号) → 13:04着/13:21発 東京 → (JR中央線) 13:25着 御茶ノ水	東京都内泊
5月16日 (金)	10:00～12:00/12:05発 明治大学アガミニコモン (セミナー) → (移動) → 12:10着/12:17発 御茶ノ水 → (JR中央線) 12:21着/12:44発 東京 15:35着/16:03発 八戸 → (JR八戸線) → 16:12着 本八戸	

# 第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会 行程

日程：令和7年5月15日（木）～ 16日（金）

行先：東京都千代田区

【間 盛仁 議員】

月 日	行 程	宿泊地
5月15日 (木)	7:24発 白銀 → (JR八戸線) → 7:54着/8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:13発 東京 → (JR中央線) 11:17着 御茶ノ水 → (移動) → 15:35～16:40 明治大学アカデミーコモン (セミナー) → (移動) → 宿泊先	東京都内泊
5月16日 (金)	宿泊先 → (移動) → 14:00～15:05/15:10発 明治大学アカデミーコモン (セミナー) → (移動) → 15:15着/15:22発 御茶ノ水 → (JR中央線) → 15:26着/16:20発 東京 19:08着/19:26発 八戸 → (JR八戸線) → 19:48着 白銀	

## 領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-6
領収書等貼付欄					



領収証No. : 1000186224-01  
取引年月日 : 2025年04月27日  
発行日 : 2025年05月01日

## 領収証

山之内 悠 様

領収金額	¥52,700
------	---------

(内訳)

(内消費税 10%)

旅行代金 (消費税込)	¥52,700
-------------	---------

(¥4,790)

但し、JR券代金および宿泊代金として

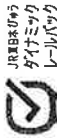
上記、正に領収いたしました (クレジット決済)

予約番号 : A50427006619

※本誌は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス  
JR EAST TOURS & TRAVEL SERVICE CO., LTD.  
〒130-0013  
東京都墨田区錦糸3-2-3  
アルカイースト10階  
登録番号 T1011001029712

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。



最終行程表

ヤマノウチ ユウ  
 山之内 悠 様

ダイナミックレールパック 東京の旅  
 予約番号 A50427006619 プランコード 15692295

■最終行程表について

本書面は、旅行業法第15条の4による旅行契約解除説明書並び、旅行契約が成立した場合は旅行業法第15条の5により発行する契約書事  
 項の一部になります。この旅行は、旅行企画・実施者が企画・実施し実施する企画旅行で、各客名または旅行企画・実施者と企画旅行契約を締結す  
 ることとなります。

■日行程情報

ご旅行日程	2025年05月15日(木) ~ 2025年05月18日(金)	参加人数	おとな1名(男性1名)
-------	---------------------------------	------	-------------

■JR券枚数

JR券枚数 : 2枚

■ご旅行代金合計

ご旅行代金合計	52,700 円
---------	----------

▼ご旅行代金の内訳

【JR(宿泊)】		性別	入員種別	ご旅行代金
代表者	ヤマノウチ ユウ	男性	おとな	52,700 円
	山之内 悠			
			小計	52,700 円

■支払情報

支払方法 : クレジットカード

■お受取方法

クーポン受取方法 : 指定席券表欄  
 受取について :

JR総局発着とJR引当座番号(乗換の乗降券の下4桁)が必要で、  
 JR総局発着、JR引当座番号は予約完了メール、またはマイページより内装確認画面をご確認ください。

■行程詳細

【JR(宿泊)】	ご利用日	内容	ご利用人数
05月16日(木)	1泊	【JR(往路)】 新大塚駅 10:17 発 上 八戸 13:04 着 クリーン 林道 9号車/11B	おとな 1名
05月15日(水) 1泊		八重洲ターミナルホテル びゅう限定 朝食付お徳プラン!! 【旅行】シングル8タイプ(1名) x 1室 バス付 トイレ付	おとな 1名
05月16日(金)		【JR(往路)】 【乗車・料金券】 新大塚駅 12:44 発 下 八戸 15:35 着 指定席 林道 8号車/4C	おとな 1名

■ご旅行の取消について

- JR 乗車券未発行のお客さまは、「びゅうトラベル」サイト内の予約内容確認にて案内に付いて取消手続きを行ってください。  
 2. JR 乗車券本発行のお客さまは、「びゅうトラベル」サイト内の予約内容確認にて案内に付いて取消手続きを行ってください。  
 (1) 宿泊代金の予約取り消しのご連絡をお願いします(往路・復路とも乗車券未発行の場合、JR 乗車券の返金手続きは「日付・駅名印」を提出する必要があります)。  
 (2) 取消料は、旅行代金から引かれた金額を返金いたします。  
 (3) 取消料は、旅行代金から引かれた金額を返金いたします。  
 ※詳しくは、最終行程表「ご案内」をご確認ください。

▼取消料について

2025年04月25日より取消料が廃止いたします。

旅行契約の成立後、お客さまのご都合でご旅行を取り消される場合に「ご旅行代金」に対してお一人様につき下記の料率で取消料をいただきます。  
 クーポンの使用がある場合は、取消料の計算はクーポン利用前のご旅行代金に對して算出します。

旅行契約の解除日	対象日	取消料
(1) 21 日前まで	-	無料
(2) 20 ~ 8 日前まで	2025年04月25日(金) ~ 2025年05月07日(水)	旅行代金の20%
(3) 7 ~ 2 日前まで	2025年05月08日(木) ~ 2025年05月13日(火)	旅行代金の30%
(4) 前日	2025年05月14日(水)	旅行代金の40%
(5) 当日(8)を除く	2025年05月15日(木)	旅行代金の50%
(6) 旅行開始日の前日または無連絡不参加	2025年05月15日(木)	旅行代金の100%

■お問合せ先

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年 5月14日

間 盛仁様

金39,260円

ただし、乗車券類（えきねっと発券ご利用分）代  
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸801 No.000013

印紙税申告納  
付につき渋谷  
税務署承認済

領収証 間 盛仁様  
ご利用日付 2025年05月16日  
時刻 09時03分

取引内容：乗車券類 (税率：10%)  
購入金額 金150円  
お支払方法 内訳  
現金 金150円

秋葉原 → 御茶ノ水  
伝票番号 06910

- この領収証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

秋葉原駅 券404発行  
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領収証 間 盛仁様  
ご利用日付 2025年05月15日  
時刻 11時18分

取引内容：乗車券類 (税率：10%)  
購入金額 金150円  
お支払方法 内訳  
現金 金150円

御茶ノ水 → 秋葉原  
伝票番号 54344

- この領収証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

御茶ノ水駅 券103発行  
登録番号 T9011001029597 JR東日本

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-5
領 収 書 等 貼 付 欄					
<p>株式会社 京急イーエックスイン</p> <p><b>領 収 書</b> 間 盛仁様</p> <p>領収金額                      ¥14,490</p> <hr/> <p>(含む 消費税、宿泊税) 以下にて領収いたしました</p> <p>◆ご利用明細◆</p> <p>2025/05/15 ご宿泊代                                      ¥14,390 **ホテル税                                      ¥100</p> <hr/> <p>10%対象 ¥14,390 (内 消費税額 ¥1,308) 宿泊税                      ¥100                      **                      課税対象外</p> <p>◆お支払い明細◆</p> <p>クレジットカード                                      ¥14,490</p> <p>京急EXイン 秋葉原 TEL:03-5289-3910 FAX:03-5289-3515</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">       印紙税申告納 付につき東京上野 税務署承認済     </div> <p>発行元 京急EXイン 秋葉原 東京都台東区 秋葉原2-1</p> <p>登録番号:T9010401070244                      2025/05/15 18:12 取引番号:202505150108</p>					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

## 研修報告書

- 1 日 時 令和7年5月15日(木)午後 3時35分～  
16日(金)午後 2時00分～
- 2 場 所 東京都千代田区 明治大学アカデミーホール
- 3 主 催 一般財団法人 日本自治創造学会
- 4 研究大会
  - (1) 講演 ～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～  
地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について  
独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐 井倉 義伸 氏
  - (2) 講演 高齢社会における災害復旧について  
～令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨をケースに～  
石川県副知事 浅野 大介 氏
- 5 参加議員 自由民主・無所属クラブ 間 盛仁
- 6 目的  
第17回日本自治創造学会研究大会に参画し、「変容する社会・地方選挙～地方自治のあり方を問う～」をテーマに具体的な事例についての情報収集とその課題や解決へ向けた取組を学び、理解を深め、知見を取得し、考察することで、当市の今後の取組を研究し、新たな事業展開の検討や推進に資することを目的とする。
- 7 内容
  - (1) JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦
    - ① 地域を取り巻く状況と開発協力大綱の改定について
      - 2014年から2040年までの外国人労働者力の試算では、労働者数は8.7倍に増加、生産年齢人口は2割減となり全体に占める割合は1.1倍になる見込みとなっている。
      - 新しい資本主義(ステークホルダー論)の潮流がダボス会議等の国際社会の動きや経団連、経済同友会等の国内の動きに顕著となってきている。
      - 2年前に開発協力大綱が改定され、主なポイントとして途上国との共創において対話・協働による社会価値の創出と日本社会への還流が明確に位置づけられた。

## ② JICA海外協力隊について

- 海外協力隊は今年で60周年になるが、これまで累計で5万7千人ぐらいの経験者がおり、半分以上が地方出身者である。
- グローカルプログラムは、海外に派遣される前に2カ月半ほど日本の地域で社会課題解決のお手伝いをさせていただき、その経験を踏まえて海外での協力を活かしていくプログラムであり14都道府県24地域で実施しており、帰国後の職場の第3候補になっている。
- 協力隊経験者の中には、起業したいという人が沢山おり、起業支援事業BLUEにより帰国隊員の企業や企業、省庁・自治体との連携支援を行っている。

## ③ インバウンド事業（留学生・短期研修）

- 留学生は日本国内に2000人程おり、57%が地方大学で途上国の行政に携わっている方がほとんどで地域の良さを再発見することで役にたっている。
- 地域理解プログラムでは、日本の社会や文化に触れたいというニーズが高いため全国の国内機関で40プログラムを開催しており、JICA留学生937名を含む949名が参加している。
- 青年研修事業は途上国の若手リーダーを集団で日本に呼ぶプログラムで自国の将来の国づくりを担う人材の育成を目的に実施されているが、日本国内の地域活性化や地方創生へも貢献している。

## ④ 外国人材受入・多文化共生について

- JICAは移住事業を含めた経験を生かして外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策に取り組んでいる。
- 企業や東京弁護士会の協力を得ながら「外部パートナーとの共創のためのプラットフォーム（JP-MIRAI）を設立し、外国人労働者との情報共有・共助、「ビジネス人権」における協働、学びあいと内外への発信に取り組んでいる
- 国際協力推進員が国内15箇所の拠点に69名配置し地域の外国人材受入れ・多文化共生を推進している。

## ⑤ 草の根技術協力

- 2002年度からスタートし通算703案件の地方自治体提案による協力事業を実施しており、地方の実績が71%をしめている。
- 名寄市の事例では介護人材不足をネパールから特定技能生を受け入れて介護人材の還流を作る取組をしている。

## ⑥ 中小企業・SDGsビジネス支援事業

- 全国47都道府県で900社以上の中小企業を支援している実績があり、

かゆいところに手が届く技術、製品、ノウハウにより企業の海外展開を支援している。

⑦ その他

- 国内での多様なネットワークとして地方自治体では、25の自治体・教育委員会と連携協定・覚書を締結済みである。
- JICA留学生受入大学は103大学で、61行の地域金融機関とも連携協定を締結している。
- 自治体や大学と地域おこし協力隊との連携やグローバルプログラムの活動にも取り組んでいる。
- ODAの予算の推移は97年・98年をピークに下落しており、現状は下げ止まっている状況です。今後は政府の様々な施策やJICAの中で縦割りのになっているものを上手く結びつけることで付加価値を高めてインパクトを生んでいきたい。

(2) 高齢社会における災害復旧について

① 令和6年能登半島地震の概要と被害の状況

- 発生時刻は令和6年1月1日16時10分で最大震度は7で石川県内のいたるところで大きな揺れに見舞われた。
- 高齢化率の高い奥能登6市町の被害が特に大きく、令和7年3月11日時点の死者は541人となっており、地震そのもので亡くなられた方は228人であるが、災害関連死が313人とそれを上回る勢いで発生している。
- 唯一の幹線道路が遮断され、奥能登2市2町では一時最大で約3,300人が孤立した。

② 令和6年能登半島地震における対応

- 一時的に孤立した集落が沢山あり、家屋の倒壊や道路・水道・電気などのインフラの被害が大きかったので、災害関連死を防ぐためにも2次避難や広域避難をしてもらった。この中では、高齢者などの要配慮者を一時的に1.5次避難所に移したうえで2次避難所へ移したり、能登の人たちを広域で加賀地方に移住することもやってきた。
- 県内外の高齢者施設等で受入可能な所をお願いして約2,200人が長期にわたる避難を続けており、半年後には戻りの意向調査も実施しているが、以前と同じ生活は難しいということで悩まれる高齢者が沢山いた。
- 金沢市にあるいしかわ総合センターに1.5次避難所を開設してDMAT、災害派遣医療チームやJMAT、日本医師会災害医療チームの他、様々なファンクションを持ったプロフェッショナルな方々の集合により全体でケアを行っていく体制をとった。

- 「広域避難」、「1. 5次避難」の反省点として帰還時の移送を考慮すると可能な限り近隣県までの避難としたほうが良いという事と全避難し休止した施設の再開が難しいという状況がある。
  - 広域避難の状況について早い段階から被災市町に情報提供をするべきで避難所運営経験のない県庁職員ではなく、民間の力やプロフェッショナルな方々と連携すべきである。
  - 広域避難により別の自治体に一時的避難をするオペレーションにおいて個人情報問題となったので取扱いのルール付けが必要である。
- ③ 被災者支援に必要な「情報収集・共有」の課題と取組
- 指定避難所に避難できず自主避難したり、孤立集落(住民)が数多く発生し、避難先、避難者数を網羅的に確認できないという課題があった。
  - 市町が収集した避難所情報と自衛隊が集めた自主避難所等の情報を突合させて的確・正確な情報に基づく広域避難の政策判断を実施していく必要がある。
  - 県の総合防災情報システムの中で一元管理することを目標に避難所情報統合システムを構築し活用することで差分を県・市町で確認していく。また、国としても新総合防災情報システムなど制度設計やシステムの再構築が必要な時期となっていると言える。
  - 県は特に被害が甚大な6市町の被災者台帳を支援するため被災者データベースを構築し、アナログ(紙)で行われていた情報管理のデジタル化に取り組み広域被災者データベースの構築してきた。
  - 広域被災者データベースの構築により「支援が必要な被災者」を継続的に把握することで災害関連死の防止、適切な支援情報の提供、事務負担の軽減につながる。
- ④ 被災高齢者等の見守りについて
- 在宅高齢者等に対しては、第1段階として個別訪問による状況把握等を行い「被災高齢者等把握事業」が七尾市以北の5市町で実施され、県の広域被災者データベースに登録し「被災者の電子カルテ」として市町へ共有してきた。
  - 第2段階は、「被災者見守り・相談支援等事業」により見守り体制を強化し、広域被災者データベースの情報を活用しながら支援制度や医療・介護などの関係機関を紹介するなどの市町を支援している。
- ⑤ 令和6年奥能登豪雨の概要と被害の状況及び対応
- 能登地方に線状降水帯の発生という顕著な大雨に関する気象情報が9月21日9時7分に発表され、記録的短時間大雨情報が輪島市、能登町に5回発表された。また、大雨特別警報も22日に解除されるまで県内で初め

て発表され、大雨警報も23日まで8市町に発令されて観測史上1位の降水量を記録した。

- 被害の状況は、死者16人、負傷者63人、住宅被害1,765棟で避難所の開設状況は9市町、108箇所、約1,500人であった。河川の氾濫や道路の冠水、住宅への浸水、家屋の流出、山腹崩壊、農地被害などの豪雨災害となった。
- インフラの状況は、道路25路線48箇所の通行止め、水は約5千戸が断水、電気は約6,500戸が停電、通信は4市町の携帯電話基地局の約30%が停波となった。
- 地震からの普及の最中に同一地域で発生した複合的災害のため更に被害が拡大する中で自衛隊への災害派遣要請や緊急消防援助隊への応援、広域緊急援助隊の派遣を求めた。
- 対応として柔軟な被災地支援と災害リスク情報の共有、2次避難の実施等を行った。

⑥ 能登半島地震を踏まえた令和6年奥能登豪雨における対応

- 通信手段の確保において能登半島地震は衛星携帯やスターリンク等の配備の対応として輸送、設置に時間を要したが奥能登豪雨では県が主体となり通信会社に割り振り発災後3日間で整備が完了した。
- 実働機関との連携も発災初日から県が積極的に呼びかけ実働機関が収集した救助要請案を共有し、活動方針（優先順位）の決定につなげた。
- 2次避難についても地震時は避難者名簿の管理体制が不十分で現場が混乱したが、豪雨対応では窓口を設置して県・市町職員などが避難者の情報把握を徹底できた。
- 官民連携の模索（「こぼれ球」拾い）として被災3日目から毎朝7時30分の定例ズーム会議（朝会）を開催し、災害救助系NGO、地縁系NPOからの「困りごと」を収集し、「ツルツル情報」と「ゴツゴツ情報」の2つの情報を合わせて現状をクリアに見渡せることができた。
- 奥能登豪雨時の最大の課題は、堆積土砂の排除で10月、11月、12月の3カ月かけてボランティア頼みでやることになった。ボランティア2万人日分は主に住宅・店舗内を担当し、道路・宅地・農地などは建設業のプラが担当した。
- ボランティアの大量動員のウラで必要だったのが「受援力」でよそ者を取り込んでいける度量を普段からどうつくるのか、いかにいざという時の力にしていけるかが求められた。
- 堆積土砂排除「3省庁4補助金」の運用が非効率で作業効率が落ちるので「一括処理スキーム」という新しいスキームを石川県として提案し、省庁

横断での土砂の一括撤去という指示を出してもらった。

- 雇用調整助成金（休業支援）の「特例延長」問題についても1年300日の上限を特例措置としての1年延長することや在籍型出向への助成も始<sup>ま</sup>ることとなった。
- 能登創造的復興支援交付金（500億円）を創設し、石川県の中で基金にできる特例による支援を受けることもできるようになった。
- 被害家屋の修繕・活用と公費解体加速化については、専門家からみれば修繕可能な建築物も多数あることから所有者に公費解体のみならず、修繕・利活用の選択肢も用意した。
- 能登半島地震、奥能登豪雨による2025年2月時点の半壊以上の建物は5万4千棟、公費解体申請済は3万2千棟、公費解体完了済は1万4千棟である。

## 8 所感

JICAの掲げる「地方創生2.0」と地域活性化の取組は、従来の補助金依存型や短期的成果を重視した施策から一歩進み、地域が自立的・持続的に成長するための仕組みづくりを重視している点に意義があると感じた。

特に、開発途上国支援で培った知見を国内の地方に還元し、人材育成や多様な主体の連携を通じて地域課題の解決を図る姿勢は、人口減少や産業空洞化に直面する日本の地方にとって有効である。

地域資源を国際的な視点で再評価し、外部人材や海外ネットワークを呼び込むことで、新たな価値創出や産業振興につながる可能性も大きい。

一方で、取組を一過性の事業に終わらせず、地域住民が主体的に関わり続けられる体制構築が不可欠である。JICAの地方創生2.0は、国際協力と地域活性化を結びつける新しいモデルとして、今後の地方政策の方向性を示す重要な試みであると考えている。

JICAにおける「地方創生2.0」は、国際協力で培われた知見や人的ネットワークを地域課題の解決に転用し、地域自らが持続的に成長する仕組みづくりに挑戦する取組である。

少子高齢化や産業空洞化といった国内共通の課題に対し、開発途上国支援で蓄積した課題分析力、合意形成手法、人材育成のノウハウを活用する点に大きな意義がある。

特に、地域連携による創生事業では、自治体、地元企業、大学、NPO等が連携し、JICAが中間支援的役割を担うことで、単発に終わらない実践的な事業形成が可能となる。

例えば、農業や観光分野における海外展開を見据えた人材育成や、外国人材との

共生モデルの構築は、地域の付加価値向上と国際化の双方に寄与する。

一方で、事業の定着には「補助金依存」からの脱却と、地域側の主体性確立が不可欠である。JICAの役割は、事業を主導することではなく、地域が自走するための伴走支援にある。

今後は成果の可視化と横展開を進め、国際協力と地方創生を循環させる好事例を全国に広げることが、地方創生2.0を実効性あるものにする鍵であると考えられるので、本市においてもJICAの活用を検討していく必要性を痛感した。

令和6年能登半島地震および能登豪雨災害は、日本が直面する高齢社会における災害復旧の課題として高齢化が進む地域における災害復旧の難しさと従来型支援の限界を浮き彫りにした。

能登地域では高齢者世帯や独居高齢者が多く、避難行動や情報収集が困難な状況が数多く見られ、地震後の余震や豪雨による二次災害の不安の中で、身体的・心理的負担が高齢者に集中し、避難所生活の長期化は健康悪化や孤立を招く要因となった。

とりわけ奥能登地域では高齢者比率が極めて高く、避難行動の遅れや情報伝達の不足、医療・介護の継続困難といった課題が複合的に発生した。従来の「自己責任型」の防災では限界があることが明らかで、特に、在宅要介護者や独居高齢者への支援は、平時からの地域連携の有無が復旧の成否を大きく左右したといえる。

また、医療・介護サービスの継続や移動手段の確保、見守り体制の維持など、生活基盤の復旧が災害復旧と一体で進められる必要があると感じた。

さらに仮設住宅やみなし仮設においても、生活環境の変化や地域コミュニティの分断により、見えにくい孤立が生じやすいことが大きな課題となった。

今後の災害復旧では、インフラ復旧だけでなく、地域の支え合い体制や福祉・医療・交通を含めた「生活復興」の視点が重要である。

行政支援には限界があることから自治会、福祉事業者、外部ボランティアとの協働を制度的に組み込み、顔の見える関係を平時から築くことが重要であると言える。

今後は、高齢者の声を復興計画に反映し、災害を契機に地域の支え合いを再設計することが、持続可能な地域再生につながると考える。

本市においても行政、地域住民、ボランティア、民間企業が連携し、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めることが求められている。

平時からの共助の仕組みづくりやデジタル技術の活用による安否確認、地域コミュニティの再生などを進めることで、高齢社会に対応した持続可能な災害復旧のモデルや災害時にも機能する地域包括ケアの仕組みを構築していくことが必要であり、災害復旧の鍵であると感じた。

高齢社会における災害復旧について学べる貴重な機会となり、今後、本市の取組に寄与できるような具体的な提案につなげていきたい。

9 研究大会写真



講演  
 地方創生2.0に  
 貢献し得るJICA事業  
 ~「共感」と国内への「還流」~  
 独立行政法人国際協力機構  
 理事長特別補佐 井倉 義伸 氏

講演  
 高齢社会における災害復旧について  
 石川県副知事  
 浅野 大介 氏

第17回 二〇二五年度  
 財団法人日本自治創造学会研究大会会場  
 日時 五月十五日(木) 受付・開場 午後十二時  
 開 会 午後一時  
 五月十六日(金) 受付・開場 午前九時三十分  
 開 会 午前十時  
 場所 アカデミーコモン棟三階 アカデミーホール

講演会場入口  
 明治大学アカデミーホール

## 研修報告書

### 1. 日時

令和7年5月16日(金) 10:00~12:00

### 2. 場所

明治大学アカデミーコモン(東京都千代田区)

### 3. 主催

一般財団法人 日本自治創造学会

### 4. 参加者

山之内 悠

### 5. 講師・研修テーマ

I 講師: 安野 貴博 (AIエンジニア・起業家・SF作家)

テーマ: 「AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略」

II 講師: 安野 修右 (日本大学法学部政治経済学科専任講師)

テーマ: 「ネット選挙に対応する ~公職選挙法の改正とその行方~」

### 6. 研修目的

AIやSNSなどの技術革新が選挙戦略や政治コミュニケーションに与える影響を理解するとともに、公職選挙法の改正を含む制度的変化の動向を学び、地方自治体や議会活動への応用と課題を把握することを目的とする。

### 7. 研修内容(詳細)

#### ・AIと双方向型コミュニケーションの展開

AIチャットボットやデータ解析の導入により、選挙戦略は従来の一方向的な情報提供から、双方向の応答・最適化された個別対応へと進化している。有権者のニーズを即時に把握し、個別に対応できる新たな選挙モデルが形成されつつある。

その一方で、情報の恣意的操作やプライバシー保護、説明責任の担保といった倫理的課題も顕在化しており、慎重な制度的整備が求められている。

#### ・SNS時代の政治広報と有権者の変化

X(旧Twitter)やYouTube、Instagramなどを通じた発信は、若年層との距離を縮める有効な手段となっている。特に視覚的訴求力や親近感の演出が重視され、選挙戦略の内容・見せ方が変化してきた。

ただし、SNS空間では情報の偏在や分断、過剰なパーソナル化など、民主主義の質を脅かす要因もあることが指摘されている。

- ・公職選挙法の改正と制度の現状

2013年の改正によりインターネット選挙運動が一部解禁されたものの、戸別訪問の禁止や供託金の高さなど、依然として多くの制限が残っている。また、政党や候補者と有権者でできることに差があるなど、不平等な制度運用が課題となっている。

近年のデジタル技術の進展に合わせ、さらなる制度改正（例：戸別訪問の緩和、動画配信の自由化等）の必要性が検討されている。

- ・ネット選挙と民主主義のあり方

情報が瞬時に広がる環境下では、政策そのものよりも「誰が発信するか」に注目が集まりがちである。民主的な熟議が SNS の即時性に押し流される懸念があるため、「わかりやすさ」と「深さ」の両立をどう図るかが今後の焦点である。

## 8. 今後の課題

- ・AI 技術と政治的透明性の両立

AI による政策対応や有権者対応を導入する場合、その仕組みの透明性や倫理的基準の確保が不可欠である。

- ・若年層へのアプローチ強化

SNS や動画を活用した情報提供、模擬選挙などを通じ、政治を身近に感じられる環境づくりを進める必要がある。

- ・制度改革の提言と実践

戸別訪問の制限緩和、供託金制度の見直しなど、現場の課題を国に届けるとともに、自治体レベルでの工夫を重ねることが求められる。

- ・情報発信の信頼性確保

SNS での発信内容の正確性や説明責任を担保する体制・ガイドラインの構築が必要である。

- ・住民参加型の仕組みづくり

アンケート、意見交換会、SNS 上での双方向的対話の場など、参加型政治文化の醸成が課題となる。

## 9. 所見

本研修を通じて、AI やインターネットの活用が選挙戦略や政治の双方向性を拡張する一方で、民主主義の原則や制度の整合性とのバランスが問われる時代に突入していることを実感した。特に、公職選挙法が現代の技術革新に追いついていない点や、若年層の関心の希薄さは喫緊の課題である。政治参加を促すには、SNS などの手法を活かしながらも、信頼性ある情報提供と丁寧な対話の場が不可欠である。

今後は、地方自治体としても発信力と制度への問題提起力を持ち、政策本位の健全な民主主義を支える仕組みづくりに取り組む必要がある。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年4月22日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園 秀一様

氏名 間 盛仁



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 間 盛仁 議員
- 2 期間 令和7年5月21日(水)～令和7年5月23日(金)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 目的及び内容 地方議員研究会 交通空白解消セミナー
- 5 支出可能額（上限額） 69,540円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	行程	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	5/21	白銀駅発 16:37	早見表					
き	//	新宿駅着 20:28						
帰	5/23	新宿駅発 16:28						
	り	//						白銀駅着 20:43
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	653.5k	10,010	18,000	白銀⇄新宿（往復割引）	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				急				
			特別車 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		2	13,900	27,800	5/21、5/22 東京都内泊
			小 計		69,540			
			合 計（小計×人数）		69,540	1名		

# 地方議員研究会 交通空白解消セミナー 行程

日程：令和7年5月21日（水）～ 23日（金）

行先：東京都新宿区

【間 盛仁 議員】

月 日	行 程	宿泊地
5月21日 (水)	16:37発 白銀 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ32号) → (はやぶさ32号) → 東京 → (移動) → 20:04着/20:15発 東京 → (移動) →	東京都内泊
5月22日 (木)	宿泊先 10:00～16:00 リアレンス西新宿大京ビル (セミナー) → (移動) → 宿泊先 13:30～16:00/16:10発 リアレンス西新宿大京ビル (セミナー) → (移動) → 東京 → 17:20発	東京都内泊
5月23日 (金)	20:12着/20:25発 (はやぶさ35号) → 八戸 → (JR八戸線) → 白銀 20:43着 白銀	

令和7年5月30日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森園秀一様

氏名 間盛仁



### 調査視察等報告書

令和7年4月22日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 間盛仁議員
- 2 期間 令和7年5月21日(水)～令和7年5月23日(金)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 69,230円
- 6 概要 別紙のとおり

# 地方議員研究会 交通空白解消セミナー 行程

日程：令和7年5月21日（水）～ 23日（金）

行先：東京都新宿区

【間 盛仁 議員】

月 日	行 程	宿泊地
5月21日 (水)	16:37発 白銀 → (JR八戸線) → 16:58着/17:06発 八戸 → (はやぶさ32号) → 20:04着/20:15発 東京 → (移動) → 宿泊先	東京都内泊
5月22日 (木)	10:00～16:00 リアレンス西新宿大京ビル → (移動) → 宿泊先 (セミナー)	東京都内泊
5月23日 (金)	13:30～16:00/16:10発 リアレンス西新宿大京ビル → (移動) → 17:20発 東京 → (移動) → 20:12着/20:25発 八戸 → (JR八戸線) → 20:43着 白銀 (はやぶさ35号) →	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	3-5
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2025年 5月21日

間 盛仁様

金39,260円

ただし、乗車券類(えきねっと発券ご利用分)代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客 鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000003

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 渡 谷 税 務 署 承 認 済
---

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。



領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号
領収書等貼付欄				
秋葉原 ↓ 西新宿	 <b>領収書</b> ご利用ありがとうございます。 この領収書は大切に保存してください。 お取引内容: きっぷ ¥260		 <b>領収書</b> ご利用ありがとうございます。 この領収書は大切に保存してください。 お取引内容: きっぷ ¥260※	
	間 盛仁 上記金額を領収いたしました。		間 盛仁 上記金額を領収いたしました。 ※ 課税10%対象	
	ご利用日付 2025年05月22日 時刻 08時38分  伝票番号: 20353 東京地下鉄株式会社 秋葉原駅 券01発行		ご利用日付 2025年05月22日 時刻 16時12分  伝票番号: 31084 東京地下鉄株式会社 登録番号: T4010501022810 西新宿駅 券03発行	
秋葉原 ↓ 西新宿	 <b>領収書</b> ご利用ありがとうございます。 この領収書は大切に保存してください。 お取引内容: きっぷ ¥260※		 <b>領収書</b> ご利用ありがとうございます。 この領収書は大切に保存してください。 お取引内容: きっぷ ¥210※	
	間 盛仁 上記金額を領収いたしました。 ※ 課税10%対象		間 盛仁 上記金額を領収いたしました。 ※ 課税10%対象	
	ご利用日付 2025年05月23日 時刻 09時58分  伝票番号: 03957 東京地下鉄株式会社 登録番号: T4010501022810 秋葉原駅 券02発行		ご利用日付 2025年05月23日 時刻 10時39分  伝票番号: 08039 東京地下鉄株式会社 登録番号: T4010501022810 西新宿駅 券02発行	
			西新宿 ↓ 東京	

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

## 研修報告書

- 1 日時 令和7年5月22日(木)午前10時～午後4時  
令和7年5月23日(金)午後1時30分～午後4時
- 2 場所 東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル2F
- 3 主催 地方議員研究会
- 4 講演
  - (1) 「交通空白」と地域公共交通の役割①
  - (2) 「交通空白」と地域公共交通の役割②
  - (3) 交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資  
早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授 井原 雄人 氏
- 5 参加議員 自由民主・無所属クラブ 間 盛仁
- 6 目的

地域公共交通の役割や交通空白において、単なる制度や事例を知ることだけではなく、地域の移動について「行政サービス」から「地域経営の基盤」へ捉え直す視点を養うことにつなげていく必要がある。

当市の現状においても人口減少や高齢化、運転免許返納の進行により、移動手段の確保は医療・買物・就労・観光など地域の持続性そのものを左右する課題となっており、移動に関する問題が顕在化してきている。

交通空白の実態把握と定義を整理し、路線の有無だけでなく、運行頻度、時間帯、利用者属性を踏まえ、「使えない交通」が空白を生んでいる現実を理解する必要があると言える。

また、多様な解決手法の選択肢である、デマンド交通、乗合タクシー、スクールバス、福祉輸送の混乗、民間サービスとの連携など、地域特性に応じた組み合わせを学ぶことも肝要である。

さらに、財源・制度設計と合意形成についても、補助金依存に陥らない持続可能な仕組みや、住民・事業者を巻き込むプロセスが成否を分けるとも言える。

地域公共交通の事例や方策を学び、情報収集並びに探究・考察することで、当市の今後の取組に関する新たな政策立案と事業展開の検討・推進に資することを目的とする。

## 7 内容

### (1) 「交通空白」と地域公共交通の役割①

#### ①地方都市と地域公共交通の現状

- 地方都市の人口と高齢化の現状は、若者の減少による高齢化率が上昇しているが、5万人以下の市町村だけでなく全国においても全体の人口そのものが減ることが問題である。
- 女性の免許保有者が増えたため、今後の高齢者全体は免許保有率が高く、コロナ禍の影響もあり免許返納数が減少傾向となり、交通弱者と言われる免許非保有者数も減少している。但し、地方では移動手段を確保するためにやむを得ず運転を継続しており、免許保有者＝運転したい人とは限らないと言える。
- 通院・通学等、送迎される人は、移動に困っていないが、送迎負担の8割は女性となっており、送迎する側、送迎される側ともに移動の問題が家庭内の問題として隠されている。
- 移動に困っている人の解像度を上げ、困りごとの質と量を把握することが必要である。
- モーターレーゼーションの進行や地方の人口減少利用者の減少、ICT技術による需要の転換により更なる公共交通利用者の減少と収支の悪化による減便・運賃値上げ等のサービス水準の低下で地域公共交通は、負のスパイラルに陥っている。
- バス運転士は労働時間が長く、賃金が安いと不足しており、運転手確保の支援策として、2種免許取得の補助や移住支援の上乗せをはじめ、退官自衛隊の受入やスポーツチームの副業マッチングなど他業種との連携、自治体職員の兼業に取り組んでいる。
- 自宅から最寄り駅・バス停まで一定以上の距離がある地域や勾配や歩道の整備状況、地域特性(高齢化・独居・免許の有無など)によって公共交通空白地域は設定されるが現状は拡大している。タクシーが30分以内に配車されない地域やバス停があってもダイヤがなければ「時間」空白地域である。
- 徒歩移動の許容距離は、3～4割程度の高齢者が500mまでの移動に負担を感じており、自宅から駅やバス停までの許容時間は、10分(600m程度)～15分(900m程度)で8割である。

#### ②地域公共交通の定義と役割

- 地域公共交通は、地域住民の日常生活若しくは社会生活における移動又は観光旅客その他の当該地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関をいう。
- 役割の一つ目は、地域住民の移動手段の確保で通勤のできない学生・生徒や

高齢者、障害者、妊婦等の交通手段の確保である。中津川市の高校生のバス通学支援やひたちなか海浜鉄道の通学定期は、地域の利用者の支援だけでなく事業者の収益も支えている。

- 二つ目は、観光客等の来訪者の利便性や地域内での回遊性の向上による人の交流の活発化である。地域内の移動手段整備により観光時の公共交通利用が可能となり、利用者の目的に合わせた最適な情報量での利用案内の提供が求められている。
- 三つ目は、外出機会の増加によるまちのにぎわい創出や歩くことによる健康増進である。公共交通の確保・維持の施策によりまちづくりに与える効果もあり、岐阜市の中心街活性化や松本市の商店街との連携によるにぎわい創出の例もある。また、公共交通ネットワークの整備による健康への効果も確認されている。
- 四つ目は、立地適正化計画との連携により、都市機能を集約した拠点同士や拠点と居住地域を結ぶ交通手段の提供によるコンパクトシティ+ネットワークの実現することで多極ネットワーク型コンパクトシティを構築していく必要がある。
- 公共交通は、利用している人だけでなく、何かしらの理由で利用できない人も対象で、移動手段としての価値だけでなく、移動手段があることによって得られる価値もある。
- 地域公共交通活性化・再生法では、国・行政・交通事業者が地域公共交通を維持する責務を課していないため、利用者も含めた関係者が連携して取り組むことが必要である。

### ③地域公共交通のまちづくりに与える効果(愛知県瀬戸市の取組)

- 地域公共交通は、「移動手段」の価値だけでなく、地域資源と組み合わせることで「まちづくりの手段」として価値を見出す必要がある。「日常」も「非日常」も「課題」さえも地域資源として活用していく必要がある。
- 瀬戸市は、名古屋市や豊田市へ鉄道で1時間以内の通勤圏であり、広域基幹路線や市内基幹路線、コミュニティバスも運行しており、それなりに公共交通が便利な地域である。
- 高度経済成長期にニュータウンとして造成された菱野団地は、現在でも市人口の1割が集中しているが、人口減少に加えて同時期に入居した世代が一斉に高齢化している。入居当時は歩けた500mが歩けなくなり公共交通空白地域が拡大するなど移動の課題が顕在化していた。
- 菱野団地では、コミュニティの移動に対する価値観を共有するため市民ワークショップ(30人)を開催し、コミュニティ交通運行協議会(100人)を組織して寿民説明会を開催して検討状況を共有した。住民自らが決めることで「やることの主体性」と「やらないこと責任」を持つことが重要である。

- 住民バスの運行ダイヤと走行ルートと走行ルートを自治会が主体となって目的に合わせて柔軟なダイヤ・ルートへ変更して、団地内の便利な移動のために運行することにした。
- 住民バスが成功することの相乗効果として、移動手段の価値だけでなく地域活性化や交流促進の価値が高まることも重要である。
- 住民バスという地域を巡る移動手段により地域内のコミュニケーションに寄与し地域の活性化へ貢献しており、地域の共有財産として認識され地域企業によるCSR対象として持続的な運行へも貢献している。
- 菱野団地では、「移動」の課題だけでなく、「団地再生」にまでワークショップの検討範囲を拡大し住民自らが創りあげる成功体験から新たな団地再生の取組を展開しており、多様な課題と目的の共有による合意形成を促進している。
- 菱野団地の課題解決や地域経営に取り組むエリアマネジメント団体として「未来の菱野団地をみんなで作る会(みんなの会)」を設立し、住民自ら自分にできる活動に参加しており、地域・コミュニティ等において助け合う範囲の再構築につながっている。
- 話し合いは、目的を共有して本音で議論することで「乗る乗る・やるやる」詐欺の撲滅にもなっている。

## (2) 「交通空白」と地域公共交通の役割②

### ①地域公共交通活性化再生法

- 地域公共交通関連の法制度の変遷については、戦後から高度経済成長期の利用者が増えていた時代は、サービスの安定供給を優先し、需給調整による交通事業者の地域独占と内部補助で成り立っていた。自動車の普及で利用者が減り始め、1987年の国鉄民営化や2002年の乗合バス・タクシーの規制緩和により自動車と競争していた時代は、需給調整を廃止し、サービスの・質・量は交通事業者の競争に委ねられていた。
- 2007年以降は、競争どころではなくなる時代となり地域公共交通総合連携計画や地域公共交通網形成計画、地域公共交通計画により自治体・事業者・地域が一体となり公共交通の活性化・再生に取り組むことになった。
- 2014年改正の地域公共交通活性化再生法では、法定協議会(活性化協議会)は、計画策定だけでなく、そのための協議や事業実施をする場となった。
- 2020年の法改正では、地域公共交通計画作成の努力義務化や地域公共交通利便増進事業の創設、共同経営等に係る独禁法の特例(カルテル適用除外)、地域旅客輸送サービス継続事業の創設など地域の輸送資源を総動員し持続可能な旅客輸送サービスを提供することとしている。

## ②活性化再生法から地域交通法へ\_2023年

- 2023年に地域交通法が改正され、ローカル鉄道の再構築に関する仕組みの創設・拡充や、バス・タクシー等の再構築に関する仕組みの拡充、鉄道・タクシーにおける協議運賃制度の創設、地域の関係者の連携と協働の促進など、旅客輸送サービスの利便増進のための制度・予算が拡充された。
- 具体的な施策として再構築協議会の創設や社会資本整備総合交付金による支援、エリア一括協定運行事業の創設、交通DX・GXの推進などがあげられる。

## ③地域公共交通計画の役割

- 特定の交通モードに特化した地域公共交通総合連携計画(2007年)や公共交通ネットワークの確保・維持の地域公共交通網形成計画(2014年)から輸送資源の総動員である地域公共交通計画(2020年)へ変更してきた。
- 地域公共交通計画策定の努力義務化により幹線・フィーダーに対する補助要件の変更があるため、新たな計画策定が必要である。
- 移動する目的によって交通圏や生活圏は異なるので、行政区という枠組みではなく、買い物や通院といった生活圏による枠組みで考えていく必要がある。
- 公共交通空白地域や中心市街地、山間部、郊外部などにおいて、コミュニティバス・乗合タクシー運行や自家用有償旅客運送・互助運送の導入、デマンド運行への転換、乗り継ぎ利便性向上、交通結節点の整備、循環・等間隔運行、ゾーン運賃など地域に合わせた交通サービスの組み合わせが求められている。
- 公共交通機関の持続可能性を評価するための数値目標として、行政からの補助が行われている地域での公的負担額(総額・市民1人当たり・利用者1人当たりなど)を設定している。
- 評価と改善のサイクルは、PDCAを計画にどのように当てはめていくかが重要である。

## ④地域公共交通計画策定時/見直し時のポイント

- 地域公共交通計画は記載すべき事項を「満たしている」だけのアライパイ計画になっていないかが課題である。
- 現状の把握は必要であるが、計画は調査ではなく調査・分析して検討を行い実施していく計画であることが重要である。
- 地域公共交通計画は、公共交通をどのようにするかではなく、公共交通を使って街をどのようにしたいかを基本方針として、これまでの背景は最小限に、これからやる事業を充実させていかなければならない。
- 岐阜県中津川市の地域公共計画では、「～地域公共交通網の維持で定住を推進～住んでよかった、住んでみたい街に。」を掲げ、公共交通があるから住

んでみたい街になるための事業を中心に計画を策定している。

- ▶ 検討するだけの計画から検討して実施する計画としていくことが必要があり、検討するのであれば、誰が、何を検討し、何をすることを明確にすることが重要である。
- ▶ 事業スケジュールと指標は、1年単位で「実施するかの検討」と「実施するための調整」、「実施」に分解して設定し、事業と目標の関係性についても整理していく必要がある。
- ▶ 実績値と評価は、数値の記録ではなく、その数値になった理由を考察することが重要である。
- ▶ 事業予算を獲得していくためには、投入した資源であるインプットや事業の結果であるアウトプット、成果であるアウトカムの費用対効果を把握する必要がある。
- ▶ 計画策定に必要な要素は、基本方針、仮説、現状、問題、課題、目標、指標、事業などがあり「地域のなりたい姿」を決めていくことが、自治体の重要な役割である。

### (3) 交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資

#### ① コロナが与えた地域公共交通への影響

- ▶ コロナ下においても公共交通や物流は、必要な機能を維持することが求められており、感染リスクのある中で運行を継続したが、外出自粛要請により利用者は減少した。
- ▶ 必要不可欠な移動が失われた影響として高齢者の体力低下や担い手の確保など、新たな福祉・介護の負担増加に直結することにもつながっている。
- ▶ 公共交通の輸送人員の変化は、最悪期を脱したが、回復しても以前のように戻っていないことが課題である。コロナによる行動変容により自家用車による移動が増加して、お買物という行為も「人が移動」して買うから「物が移動」して買う形態に変化した。
- ▶ バス事業者の内部補助の実態は、高速・貸切バスの黒字という内部補助で路線バスを支えていたものがコロナによる大幅な利用減、回復しきれない需要で赤字転落となっている。
- ▶ 各種補助金をもらっても車両維持の困難や運転手不足、人材の流出、2024年問題等により地域の足が突然消滅するなどの崩壊が始まっている。
- ▶ 地域の大手バス事業者においても不採算路線の撤退や需要減を踏まえたなダイヤ改正を実施し、従来通りの赤字補填や利用促進だけで乗り越えることが困難な状況にあり、国・自治体からの継続的・大規模な支援や関わり方の見直しが不可欠と言える。

- ▶ 公共交通維持のためには、休止・減便による赤字低減ではなく、3つのピークをシフトにより需要を分散化させ平準化することで輸送資源を再配分することが求められており、時間帯別運賃やダイナミックプライシングという手法も研究していく必要がある。

## ②交通事業者への支援と利用促進

- ▶ コロナ下の自治体支援は、感染防止の補助から徐々に事業継続や利用促進への補助に転換し、東三河地域の地域鉄道や大井町、山北町、松田町の地域間幹線バスなど市町村を跨った協調補助による協調支援の事例もある。
- ▶ 事業の対象(効果が期待される人)の把握により利用する人(10%)、利用するつもりはあるけど利用していなかった人(30%)、利用するつもりのない人(60%)の中で30%の人が3カ月に1回、60%の人が半年に1回増やすだけでも利用者が増える余地がある。
- ▶ 事業の結果のどの部分に価値を置くかが重要であり、無料化やお当番制、お声かけのきっかけ作りなどで乗って残そうが全てではないが乗らないと残らないのは絶対である。
- ▶ 公共交通利用促進には、利用者の行動を「誘引」する目先の「お得」と利用者の行動を「変容」させる未来の「お徳(徳が高い、良いこと)」があるが、「誘引」の効果はすぐでるが思ったより増えないことが多く、「変容」は望ましいが「定着」するには時間がかかるなどの課題がある。

## ③地域公共交通の再構築(リ・デザイン)

- ▶ 地域公共交通の需要減少は、交通事業者の経営努力や自治体からの赤字補填だけでは維持できず交通DX、交通GXによる利便性・生産性を高める技術や官民、交通事業者間、他分野との3つの共創で多様な立場の参画によって持続性を高める仕組みで再構築(リ・デザイン)を推進していく必要がある。
- ▶ 2023年の地域交通法の法改正において、地域の関係者の連携と協働を促進するための項目が追加され、3つの共創を進めていくことが求められている。
- ▶ 連携・協働の事例として富山県朝日町の「交通」×「教育」による送迎マッチングの提供や群馬県前橋市の「交通」×「介護」によるデイサービス事業者の送迎負担軽減の取組がある。

## ④地域公共交通に対する投資と参画

- ▶ 富山県の城端線・氷見線再構築実施計画では、公共交通を維持するための「投資」に転換し、市民によるまちづくりへの主体的な参画によりソフト施策による利用促進に加えてハード整備による利便性の向上につなげている。

- 酒田市では、積極的な投資により便数や停留所数を劇的に増やしてサービスを改善し、経費や公的負担も増加したが利用者数も大幅に増加した。
- 気仙沼市では、震災による高台移転や路線バスの減便によって生じた空白地帯に対してデマンドタクシーの運行し、観光客(オルレ)・福祉バス代替などの新たな移動需要に対応しており、複合的な価値として収支を考えていくことが重要である。
- 珠洲市では、公共交通の無償化への転換により全ての市民が移動できる社会を実現し日本一幸せを感じられる都市を目指している。
- 滋賀県では、県東部を運行する近江鉄道が28年連続の赤字であり、上下分離方式を導入し、県と沿線の市町で費用負担が必要となるため公共交通存続のため赤字路線を税で支える交通税導入の検討がされている。
- 維持のための縮小均衡からサービスの向上、利便性の向上、インセンティブの向上、認知の向上という積極的投資による公共交通の利用増に取り組んでいく必要がある。
- コミュニティ交通の関わり方として、乗る、運転する、意見・感想を言う、寄付などの利用、運営、協力についてそれぞれに合ったレベルで取組を進めていくべきである。「百回の陳情より一回の利用」が大切である。

## 8 所感

地方都市における地域公共交通は、人口減少や高齢化、マイカー依存の進行により、利用者減少と事業者の経営悪化という深刻な課題に直面している。

一方で、地域公共交通は単なる移動手段にとどまらず、高齢者や学生、交通弱者の生活を支え、通院・通学・買い物など日常生活の基盤を成す重要な社会インフラである。また、まちのにぎわいや地域経済を支える役割も担っており、その維持は地方都市の持続可能性に直結するとも言える。

こうした中で策定される地域公共交通計画では、「路線を守ること」自体を目的とするのではなく、「誰の、どのような移動を確保するのか」という視点が不可欠である。

地域特性や将来人口を踏まえ、バス・鉄道だけでなく、デマンド交通や乗合タクシーなど多様な手段を組み合わせた柔軟な設計が求められている。

さらに、行政主導に偏らず、住民や交通事業者、医療・商業施設など関係主体が議論に参画し、合意形成を図ることが重要である。

地域公共交通計画は、移動を通じて地域の暮らしをどう支えるかを描く「地域づくりの計画」であるべきだと感じた。

近年指摘される交通崩壊の背景には、人口減少や高齢化、担い手不足に加え、採算性を重視した結果として地域公共交通が縮小してきた構造的問題がある。

これを解決するためには、地域公共交通を「コスト」ではなく、暮らしや地域経済を支

える「社会的投資」として捉え直す視点が不可欠である。行政による財政支援は、赤字補填にとどまらず、運行の効率化やデジタル化、人材確保への投資として戦略的に行う必要がある。

また、交通事業者への支援と同時に、利用促進の取組も重要である。

通勤・通学や高齢者の通院利用だけでなく、観光やイベント、買い物と結びつけた利用機会の創出により、日常と非日常をつなぐ交通として価値を高めていかなければならない。

加えて、地域公共交通の再構築、いわゆるリ・デザインでは、既存路線の維持に固執せず、デマンド交通や他分野との連携を含めた柔軟な再編が必要となる。

地域公共交通は、地域全体で支え、使い続けることで初めて持続可能となる公共財であると感じた。

当市においても全国と同規模自治体の動向を注視し、さらに研究・検討を重ねて早期に具体的な取組や事業推進につなげていかなければならないと痛感した。

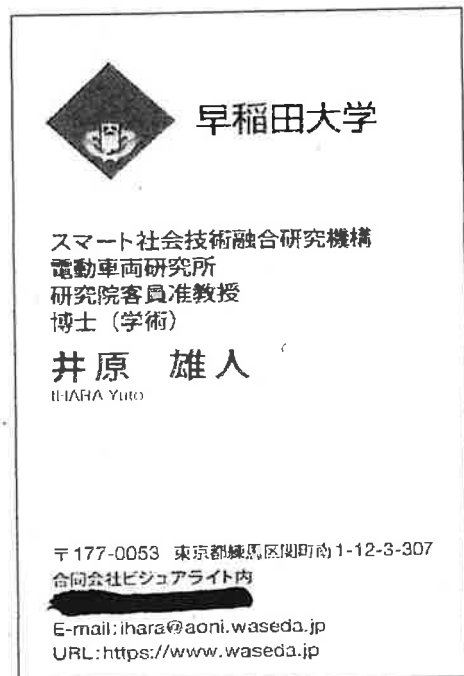
とりわけ交通政策を「守る施策」から「地域を動かす戦略」へ転換する視座を得られたことが最大の成果であった。

今回の研修により人口減少下の公共交通のあり方について学び、理解を深め、新たな気付きが得られた大変有意義な機会となった。

## 9 講師との写真



## 10 名刺



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年6月17日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 間 盛 仁



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

1 旅行者 間 盛 仁 議員

2 期 間 令和7年7月2日(水) ~ 令和7年7月4日(金)

3 場 所 東京都江東区

4 目的及び内容 自治体・公共Week 2025

5 支出可能額（上限額） 49,680円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	7/2	—	区分	基数	単価	金額	備考	
き	//	—	早見表					
帰	7/4	東京駅発 17:20						
り	//	白銀駅着 20:43						
経路・滞在地  別紙のとおり  ※6月30日(月)から7月2日(水)まで、議会運営委員会による行政視察対応。 政務活動による調査視察は同委員会視察の帰路行程中の羽田空港（乗継ぎ地点）からとなる。			鉄道運賃	643.2k	10,010	10,010	東京⇒白銀	
			急行料金	特	1	6,270	6,270	東京⇒八戸 631.9k
					急			
			特別車両料金		1	5,600	5,600	東京⇒八戸 631.9k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		2	13,900	27,800	7/2、7/3 東京都内泊
小計						49,680		
合計（小計×人数）						49,680	1名	

# 自治体・公共 Week 2025 行程

日程：令和7年7月2日（水）～7月4日（金）

行先：東京都江東区

【間 盛仁 議員】

月日	行程	宿泊地
7月2日 (水)	<p>議会運営委員会による行政視察（6/30～7/2：宮崎県宮崎市、大分県大分市）</p> <p>大分市 → 東京都へ移動</p> <p>16:05着 羽田空港</p> <p>→ (移動)</p>	東京都内泊
7月3日 (木)	<p>東京ビッグサイト 住所：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目11-1</p> <p>10:00～17:00 東京ビッグサイト (セミナー)</p>	東京都内泊
7月4日 (金)	<p>10:00～16:30 東京ビッグサイト (セミナー)</p> <p>→ (移動) → 東京 → (はやぶさ35号) → 八戸 → (JR八戸線) → 白根</p> <p>17:20発</p> <p>20:12着/20:25発</p> <p>20:43着</p> <p>白根</p>	<p>政務活動 による研修</p> <p>—</p>

令和7年7月18日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森園秀一様

氏名 間盛仁



### 調査視察等報告書

令和7年6月17日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 間盛仁議員
- 2 期間 令和7年7月2日(水)～令和7年7月4日(金)
- 3 場所 東京都江東区
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 42,100円
- 6 概要 別紙のとおり

# 自治体・公共 Week 2025 行程

日程：令和7年7月2日（水）～7月4日（金）

行先：東京都江東区

【間 盛仁 議員】

月日	行程	宿泊地
7月2日 (水)	<p>議会運営委員会による行政視察（6/30～7/2：宮崎県宮崎市、大分県大分市）</p> <p>大分市 → 東京都へ移動</p> <p>16:05着 羽田空港</p> <p>→ (移動)</p>	東京都内泊
7月3日 (木)	<p>東京ビッグサイト 住所：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目11-1</p> <p>10:00～17:00 東京ビッグサイト (セミナー)</p>	東京都内泊
7月4日 (金)	<p>10:00～16:30 東京ビッグサイト (セミナー)</p> <p>→ (移動) → 東京 → (はやぶさ35号) → 八戸 → (JR八戸線) → 白銀</p> <p>17:20発 20:12着/20:25発 20:43着</p>	<p>政務活動 による研修</p> <p>—</p>

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	4-5
----	-----	----	----	------	-----

領 収 証

2025年 6月26日

間 盛仁様

金18,800円

ただし、乗車券類(えきねっと発券ご利用分)代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本八戸802 No.000021

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 渋谷 税 務 署 承 認 済
--

NO.25889

羽田空港 → 鷺沼田

領 収 書

間 盛仁 様

金額 ￥280-

※課税10%対象 ￥280-  
2025年-7月-2日  
上記金額正に領収いたしました

但し、 乗車券 代金として

羽田空港1・2駅発行 1101  
京浜急行電鉄株式会社  
登録番号：T7010401009277

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号
領収書等貼付欄				4-5
大井町 ↓ 国際展示場	<b>領収証</b> 関 盛仁 様 ご利用日付 2025年07月03日 時刻 08時54分 取引内容: 乗車券類 (税率: 10%) 購入金額 : ¥340- お支払方法 内訳 現金 : ¥340- 伝票番号: 45235 ●毎度ありがとうございます。 ●この領収証は大切に保存してください。 大井町駅 券122発行 登録番号 T3010601023924 東京臨海高速鉄道株式会社		<b>領収証</b> 関 盛仁 様 ご利用日付 2025年07月03日 時刻 15時52分 取引内容: 乗車券類 (税率: 10%) 購入金額 : ¥280- お支払方法 内訳 現金 : ¥280- 伝票番号: 07778 ●毎度ありがとうございます。 ●この領収証は大切に保存してください。 国際展示場駅 券104発行 登録番号 T3010601023924 東京臨海高速鉄道株式会社	
	国際展示場 ↓ 新木場		国際展示場 ↓ 新木場	
大井町 ↓ 国際展示場	<b>領収証</b> 関 盛仁 様 ご利用日付 2025年07月04日 時刻 08時29分 取引内容: 乗車券類 (税率: 10%) 購入金額 : ¥340- お支払方法 内訳 現金 : ¥340- 伝票番号: 45282 ●毎度ありがとうございます。 ●この領収証は大切に保存してください。 大井町駅 券122発行 登録番号 T3010601023924 東京臨海高速鉄道株式会社		<b>領収証</b> 関 盛仁 様 ご利用日付 2025年07月04日 時刻 08時50分 取引内容: 乗車券類 (税率: 10%) 購入金額 : ¥280- お支払方法 内訳 現金 : ¥280- 伝票番号: 90877 ●毎度ありがとうございます。 ●この領収証は大切に保存してください。 国際展示場駅 券121発行 登録番号 T3010601023924 東京臨海高速鉄道株式会社	
	国際展示場 ↓ 新木場		国際展示場 ↓ 新木場	

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	4-5
領収書等貼付欄					

3 UFIカード

ご署名  
Signature \_\_\_\_\_

会社名  
Firm \_\_\_\_\_

株式会社京急イーエックスイン  
登録番号 T9010401070244

間盛仁 様

発行No. 149387  
No. 202507020126 C  
発行日 2025.07.02  
2619 CC 1

株式会社京急イーエックスイン  
https://www.keikyu-exinn.co.jp  
(1/1)

領収書  
Receipt

No. 202507020126 C  
2025.07.02

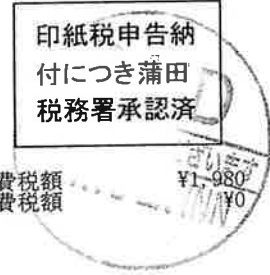
¥21,780

印紙税申告納  
付につき蒲田  
税務署承認済

上記正に領収致しました  
但、クレジット分 ¥21,780 を含みます クレジット払い

(内消費税 Con.Tax ¥1,980)  
(10%対象 ¥21,780) 10%消費税額  
(8%対象 ¥0) 8%消費税額

株式会社京急イーエックスイン 京急EXイン蒲田  
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-28-18  
TEL 03-3736-3910 FAX 03-5711-7031



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

## 研修報告書

1 日 時 令和7年7月3日（木）午前10時00分～  
4日（金）午前10時00分～

2 場 所 東京都江東区 東京ビッグサイト（南展示棟）

3 主 催 自治体・公共 Week 実行委員会

### 4 講 演

(1) 地方自治体、民間企業が目指すべき「再生型観光」のススメ

(有)フルフォードエンタープライズ会長 アダム・フルフォード 氏

(2) 「みどりの地方創生」の実現に向けて

農林水産省大臣官房審議官（技術・環境） 西 経子 氏

5 参加議員 自由民主・無所属クラブ 間 盛仁

### 6 目 的

政府が地方創生の取組を始めて10年が経過し、地方創生2.0として次の10年を見据え、基本構想を策定し、新たなステージに進もうとしている。

地方創生の実現には、国民一人一人の力が欠かせず、もう一度原点に帰って、地方創生について見つめ直してみる必要がある。

専門家や担当省庁の幹部職員による現状と今後の展望についての解説や観光支援・関係人口創出など、地方創生の実現を目指す自治体に求められている具体的な取組に関して理解を深め、地域の課題解決へ向けた情報収集と考察により、本市の今後の取組を研究し、新たな事業展開の検討や政策推進に資することを目的とする。

### 7 内 容

(1) 地方自治体、民間企業が目指すべき「再生型観光」のススメ

① アダム フルフォード氏の取組について

➤ メディア分野のランゲージ・コンサルタントであり、直訳を禁止して言葉の共創に努めている。また、観光分野のMICEマーケティングアドバイザーとしてMICEアンバサダーのプレゼンコーチに加えて農泊アドバイザーも務めている。

➤ なぜ、日本を選ぶ観光客が多いのかは、花よりも安心・安全な社会であることが大きいと言える。また、農泊では、苦手な英語を「なんとかなる英語」

に変えていくためアドバイスを行っており、一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団)の地方創生分野における地域再生マネージャーとして活躍する等、多彩な活動に取り組んでいる。

## ② AX (アナログトランスフォーメーション) について

- DXは道具であり、AX(アナログトランスフォーメーション)が道である。
- AXとは、相手と自分の関係を意識して生きることであり、「相手を想う」心づくりでもある。日本は「相手を想う」超大国である。
- 東京都市大学の古川柳蔵先生が提唱する44の失われつつある暮らしの価値は、持続可能なコミュニティのDNAとしての知恵と底力である。
- 44の失われつつある暮らしの価値が「安全」、「安定」、「安心」の源であり、観光客にとって、「安」が日本の魅力のひとつとなっている。

## ③ 再生型観光への道

- 多様な経験、多様な専門性をもつ人材によりモニターツアーを実施し、伝統的な技術を継承する貢献型観光も重要である。
- 再生型観光へのStep1は、暫定的な対象層を定めることである。暫定的な対象層は、ツアーやイベントに参加する特定目的型旅行者(SIT)あるいは個人旅行者(FIT)となる。
- 再生型観光へのStep2は、多様な居場所づくり・関係づくりとなる。国際交流員(CIR)や英語指導助手(ALT)、英会話の先生、永住者、ワーキングホリデー、宿泊施設のスタッフ、中小企業のスタッフ、技能実習生が仮村民として貢献、交流、関係づくりをしながらベトナム人の居場所づくりや無料のローカルツアー+ランチ提供などに取り組んでいる事例もある。
- 再生型観光へのStep3は、あらゆる交流を通じて課題解決と「AX」物語調整を徹底していくことである。例えば1日目は企業研修で、2日目は雪室見学、最終日はチームビルディングを行い、最後は誰でも参加できる写真コンテストを実施するなど地域の国際的な魅力を高めていくことが重要である。

## ④ MICEの力

- 企業研修の繰り返しでPDCAサイクルを回して、物語の調整と課題解決に取り組んでいくことは大切である。
- AXが導く地元・自治体・企業・個人の再生への共鳴と理解という共通ビジョンに向かって共創価値(CSV)を創造していく事が求められている。
- 2026年はIBTMやIFTMの見本市にブースを出展することで、国際交流と新たなビジネスチャンスの創出が期待できる。

## (2) 「みどりの地方創生」の実現に向けて

農林水産省が進める「みどりの食料システム戦略」と「地方創生」の連携方策を考える

① 「みどりの食料システム戦略」について

- 2021年（令和3年）に調達、生産、加工・流通、消費の持続可能な食料システムを構築し、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するために「みどりの食料戦略システム」が策定され、令和4年に「みどりの食料システム法」が施行、国の基本方針が公表される。
- 2050年までに農林水産業のゼロエミッション化、化学農薬の使用量の50%低減、化学肥料使用量の30%低減、耕作面積に占める有機農業の割合を25%に拡大するなど林野・水産も含めて計14のKPIを設定している。
- 農林水産業は、気候変動の影響を受けやすく日本の年平均気温は100年あたり1.40℃の割合で上昇し、1898年の統計開始以降、最も高い値となっており、高温による品質低下や降雨量の増加等による災害も激甚化の傾向となっている。
- 日本の農林水産分野の温室効果ガス（GHG）の排出量は、4,790万トンで全排出量の4.2%（2022年度）となっており、一方で吸収量は5,020万トン（森林4,570万トン、農地・牧草地300万トン）となっている。
- 日本の農業分野のメタン排出状況は、2,447万トンで全体の82%を占めており、内訳は稲作44%、家畜（牛のゲップ）29%、家畜（排せつ物管理）9%となっている。
- 食料生産を支える肥料原料の状況は、定常的に輸入に依存している状況で尿素（N）はマレーシア75%、りん安（N・P）は中国73%、塩化加里（K）はカナダ68%となっている。
- 「みどりの食料システム戦略」の実現により創出される2050年の食料・農林水産業関係の市場規模の推計は、211～272兆円で2019年の約2倍でとりわけ農業機械等の関連投資が最大2.5倍となる。

② 「みどりの地方創生」をめざして

- 地方創生2.0の実現に向けて環境と調和のとれた持続可能な農林水産業の確立と循環経済の実現を図り、地域経済の内発的な活性化と稼ぐ力の向上、関係人口の増加等を図り多様な人に選ばれる地域づくりが重要である。
- 支援内容と期待される事業効果は、地域資源を活用した産業事業の創出としてバイオマスや再生エネルギーを活用した電力・燃料・マテリアル等の製造施設の整備や地域資源の利用拡大がある。また、都市部と地方の交流人口の増加やゼロカーボンシティの実現を目指した魅力ある地域づくり、みど

りのサステナブル・ツーリズム、Jクレジット化による域内購入・資金還元、観光を通じた都市農村交流の促進による関係人口の増加があげられる。

- 有機農業の取組拡大では、令和4年度末までに3万ha以上に拡大、オーガニックビレッジは令和6年12月時点で45道府県131市町村まで拡大しており、2030年までに200市町村への拡大を目指している。また、12月8日の「有機農業の日（オーガニックデイ）」に合わせて64市町村68事業者と連携して消費者の理解醸成に向けた取組を実施している。

③ 国際環境交渉も糧とする「みどりの食料システム戦略」について

- 気候変動や生物多様性に関する国際環境交渉において、「みどりの食料システム戦略」の国内努力及び国際貢献の取組を積極的に発信し、今後海外展開しうるGHG排出削減技術及び施策を取りまとめ対応していく。
- ASEAN地域における強靱で持続可能な農業・食料システムの構築に向けて「日ASEANみどり協カプラン」が採択され、各国にニーズに応じ、協カプロジェクトの推進に向けた協議・具体化が実行中である。
- 海外展開可能で食料安全保障に資する主なGHG排出削減技術として水田メタン排出削減や農地土壌の炭素貯蓄の拡大、施肥に伴う $N_2O$ 排出削減、畜産由来のメタン・ $N_2O$ 排出削減などがあり、「農林水産分野GHG排出削減技術海外展開パッケージ」を公表し、実行ツールとして「みどりの脱炭素海外展開コンソーシアム」を設立して推進している。

④ 環境負荷低減取組の「見える化」推進『みえるらべる』について

- 環境に配慮した農産物に対する消費者の意識は、購入したことない等の理由として「どれが環境に配慮した農産物かわからないため」と答えた人が6割以上で環境負荷低減の取組の「見える化」を通じて消費者が選択できる環境を整備することが重要である。
- 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」として24品目対象に温室効果ガス削減への貢献や米の生物多様性保全への配慮の取組を星の数で分かりやすく表示して、見る×選べるの「みえるらべる」を作成し、全国各地の小売店等において表示した農産物等の販売が広がっている。

⑤ 農林水産分野におけるカーボン・クレジットの推進について

- 農林漁業者等が省エネルギー設備導入や再生可能エネルギーの利用の他、温室効果ガスの排出削減・吸収の取組により生じるクレジットを売却することで収入を得ることができるために農林水産分野での活用が期待されている。
- 農業分野の方法論として牛・豚・ブロイラーへのアミノ産バランス改善飼料の給餌、家畜排せつ物管理方法の変更、茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料または石灰窒素を含む複合肥料の施肥、バイオ炭の農地施用、水稻栽培に

おける中干し期間の延長、肉用牛へのバイパスアミノ産の給餌がある。

⑥ 将来世代に向けた「みどりの食料システム戦略」の理解浸透について

- ▶ 消費者の理解促進と行動変容に向けて、将来の消費市場の中核を担っていく世代に対して各地方農政局等の若手や拠点の職員が中心となり、創意工夫により理解浸透を推進している。
- ▶ 将来を担う世代の環境に配慮した取組を促すため、大学生や高校生等が活動を実践する機会として「みどりの戦略学生チャレンジ」を実施している。

## 8 所感

はじめの講演では、地方自治体や民間企業が目指すべき再生型観光とは、単なる観光客数の回復や消費額の拡大を目的とするのではなく、地域の暮らしや環境、文化を守りながら持続的な価値を生み出す観光のあり方であることを再認識した。

人口減少や担い手不足が進む中、観光は地域再生の有力な手段である一方、過度な集客は生活環境の悪化や地域資源の消耗を招くリスクも伴う。そのため、地域資源を丁寧に磨き上げ、地域が受け入れ可能な規模と質を重視した観光戦略が求められると言える。

再生型観光では、行政が基盤整備やビジョンの共有を担い、民間企業が商品開発やサービス向上を通じて地域の魅力を具体化する役割分担が重要である。また、観光による利益が地域内に循環し、住民の誇りや雇用創出につながる仕組みづくりも欠かせない。交流人口の拡大を、関係人口や定住への入り口と捉える視点も必要である。

再生型観光は、地域の「日常」を尊重しながら外部とつながることで、地域そのものを再生していくプロセスであると感じた。アダム・フルフォード氏が提唱する「再生型観光のススメ」は、観光を単なる経済活性化の手段としてではなく、地域の自然・文化・コミュニティを回復・再生させる力を持つ営みとして捉え直す点に大きな意義がある。従来の大量消費型観光は、短期的な収益をもたらす一方で、環境負荷の増大や住民生活への悪影響を生み、結果として地域の魅力そのものを損なってきた。フルフォード氏は、こうした反省に立ち、観光が「地域から奪う」のではなく「地域に与える」循環を生むべきだと説いていることは共感できることであった。

再生型観光の核心は、外部目線の集客論ではなく、地域内部の価値の再発見と誇りの回復にあると考える。自然環境の保全、伝統文化や生業の継承、住民同士の関係性の再構築が優先され、その結果として観光客が惹きつけられる構造を目指す点が特徴的でもある。また、観光客自身も「消費者」ではなく「共感者・参加者」として地域と関わるのが求められていると言えよう。

再生型観光は、人口減少社会においては極めて現実的で持続可能な方向性である

とも感じた。観光を目的化せず、地域を良くする過程の延長線上に観光があるという発想の転換こそ、今後の地方政策に強く求められている視点である。

当市においても他都市好事例の横展開を検討して、積極的に再生型観光に取り組んでいく必要があると感じた。

次のみどりの食料システム戦略と地方創生を連携させる「みどりの地方創生」の講演は、農業の持続可能性と地域活力の両立を図る上で極めて重要であると感じた。

環境負荷軽減に向けた有機農業や化学肥料・農薬の低減、スマート農業の導入は、地球環境への貢献にとどまらず、付加価値の高い農産物の創出を通じて地域経済の活性化にもつながるものであり、これらの取組を地域ぐるみで進めることで、農業が地方創生の中核産業として再評価される可能性が高まると言える。

また、農地の保全や温室効果ガス削減の取組をカーボンクレジットとして可視化・評価し、農業者の新たな収入源とする仕組みづくりは、意欲的な環境投資を後押しする有効な手段である。

一方で、制度の複雑さや効果の分かりにくさが普及の壁となり得るため、自治体や関係機関による丁寧な伴走支援が不可欠であると言える。

さらに、将来世代への理解浸透に向けて、学校教育や地域活動を通じ、環境と食のつながりを実感できる学びの場を広げることが重要であると感じた。

「みどりの地方創生」は、環境負荷の低減と地域経済の活性化を同時に実現するための重要な視点であり、その中核に位置づけられるのが「みどりの食料システム戦略」であり、地方創生と高い親和性を有していることを再確認する機会となった。

連携方策として環境配慮型農業を地域産業として育てる視点では、生産段階での脱炭素・資源循環の取組をブランド化や付加価値化につなげ、農産物の高付加価値販売や地産地消、学校給食・公共調達への活用を進めることで、地域内経済循環を強化できると言える。

また、農業と観光・教育の連携が重要であり、環境に配慮した農業体験や食育、再生型観光と組み合わせることで、地域の魅力発信と関係人口の創出につながることも期待できる。

さらに、デジタル技術と人材育成の活用がスマート農業やデータ活用により省力化と環境負荷軽減を両立させるとともに、若者や移住者の就業機会を創出することが求められている。

みどりの食料システム戦略を単独施策として扱うのではなく、地方創生の総合戦略に位置づけ、産業・環境・教育・観光を横断する取組へと昇華させることが重要であると言える。

また、環境対応を「コスト」ではなく地域の競争力と誇りに転換できるかが、みどりの地方創生の成否を左右すると考える。

地方創生は、当市にとって喫緊の課題であり、国の実行する施策を踏まえて、よ

り一層充実させていくために、さらに研究・検討を重ねて早期に具体的な取組や事業推進につなげていかなければならないことを痛感した。

今回の研修は、再生型観光やみどりの地方創生について学び、理解を深め、新たな気づきが得られた大変有意義な機会となった。

## 9 講演会場入口写真（会場内は写真撮影等禁止のため）



第3号様式 (第6条、第8条関係)

令和7年6月25日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 森園秀一 議員
- 2 期間 令和7年7月8日(火) ~ 令和7年7月9日(水)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 研修会  
「深海巡航探査機うらしまの取組について」  
「JAMSTECの最近の状況について」
- 5 支出可能額(上限額) 54,860円  
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎						
行	7/8	八戸駅発	11:07	区分	基数	単価	金額	備考		
き	7/8	新橋駅着	14:20	早見表						
帰	7/9	新橋駅発	11:25							
	7/9	八戸駅着	15:04							
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃		633.8k	9,790	17,620	八戸⇄新橋（往復割引）	
				急行料金		特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
							2	△200	△400	閑散期割引(7/8, 7/9)
						急				
				特別車両料金			2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				航空運賃						
				バス運賃						
宿泊料			1	13,900	13,900	東京都内泊（7/8）				
小計							54,860			
合計（小計×人数）							54,860	1名		

# 「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・ 日程：令和7年7月8日（火）～9日（水）  
 ・ 場所：東京都千代田区

【森園議員】

月 日	行 程	宿泊地
7月8日 (火)	11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 東京 → (JR東海道本線) → 新橋 → 14:20着/14:25発 (移動) 14:40着/16:10発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 文部科学省 → (移動) → 新橋亭 → 17:25着 (15:00～16:00 役員会・研修会) (16:30～17:00 表敬訪問) (17:30～懇親会)	東京都内泊
7月9日 (水)	10:45発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 新橋 → 11:10着/11:25発 (JR東海道本線) → 東京 → 11:28着/12:20発 (9:30～10:30 研修会) (9:30～10:30 研修会) (はやぶさ21号) → 八戸 → 15:04着	

令和7年10月10日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一



### 調査視察等報告書

令和7年6月25日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 森園秀一議員
- 2 期間 令和7年7月8日(火)～令和7年7月9日(水)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 54,710円
- 6 概要 別紙のとおり

# 「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・ 日程：令和7年7月8日（火）～9日（水）

・ 場所：東京都千代田区

【森園議員】

月 日	行 程	宿泊地
7月8日  (火)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号)</p> <p>14:08着/14:17発 東京 → (JR東海道本線) → (移動)</p> <p>14:20着/14:25発 新橋 → (移動)</p> <p>14:40着/16:10発 JAMSTEC東京事務所 → (移動)</p> <p>15:00～16:00 役員会・研修会</p> <p>16:25着/17:10発 文部科学省 → (移動)</p> <p>16:30～17:00 表敬訪問 (17:30～懇親会)</p> <p>17:25着 新橋亭 → (移動)</p>	東京都内泊
7月9日  (水)	<p>10:45発 JAMSTEC東京事務所 → (移動)</p> <p>9:30～10:30 研修会</p> <p>11:10着/11:25発 新橋 → (移動)</p> <p>11:28着/12:20発 東京 → (JR東海道本線) → (はやぶさ21号)</p> <p>15:04着 八戸</p>	

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	5-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124449

2025年10月10日

森園 秀一 様

金額	¥15,830
----	---------

貼 収入印紙  
用 紙

但し 宿泊代 ¥12 (7/8)  
 10%対象(税込) 15,830円 0%対象  
 内 消費税 1,439円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

**jt 北日本トラベル株式会社**  
 登録番号 T1420001005756  
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F  
 TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

領 収 証

2025年 6月25日

森園 秀一 様

金38,880円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

八戸802 No.000030

印 紙 税 申 告 納  
付 に つ き 波 谷  
税 務 署 承 認 済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# 「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等報告書

## 【令和7年7月8日研修会「深海巡航探査機うらしまの取組について」】

- ◎日 時 令和7年7月8日（火）午後3時30分～4時00分
- ◎場 所 国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所
- ◎講 師 国立研究開発法人海洋研究開発機構 技術研究開発部門 中谷 武志 氏
- ◎出席者 森園 秀一

### 1 研修会概要

#### (1) 深海調査の重要さと難しさ

- ・地上の地図は細かい地図があるが、深海は直接測ることができないため地上のような細かい地図を作るのが難しい。自律型海中探査機（AUV）により前進、ターンをしながらより細かい地図を作っていく。研究船での地図よりもピンポイントで詳しい地図ができるようになる。

#### (2) AUV「うらしま 8000」の開発

- ・課題→7000m以深の探査能力の確保
- ・目標→日本海溝の最大水深が約8000mであり、最大潜航深度を8000mに設定。
- ・開発方針→運用実績のある「うらしま」を改造し、従来より潜入時間を短縮。
- ・技術課題の設定→水深8000mの超高压に耐える設計。搭載機器の絞り込み。各深度での機体の浮量変化を把握。大姿勢角における制御で速度向上を図る。
- ・うらしま 8000 諸元→サイズ 幅 1.3m×全高 1.5m×全長 10.7m 空中重量 7.0t 最大深度 8000m  
巡航速力 2.5knot 電源 リチウムイオン電池 45kWh

#### (3) 改造後の海域試験

- ・YK24-18 うらしま 8000 初航海→6回の試験潜航により、1000m海域での音響通信測位機能、航行制御機能、観測機能を確認。
- ・YK25-02 うらしま 8000 第2航海→6回の試験潜航により、深度6500m、電気ノイズ対策の効果、実践的な測線での安定した航行確認。

#### (4) 今後の計画—日本海溝調査

- ・FY2025 試験航海の予定→うらしま 8000 の性能確認試験を課題とする。深度8000mにおいて各搭載機器の動作、機体の総合的な機能確認を行った上、日本海溝にて調査潜航を行う。

※ 研修会の開催に先立ち、午後3時から3時30分まで、我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟役員会が開催され、今年度の事業報告、事業計画（案）、役員（案）、役員の増員及び新設について、原案のとおり可決。その後、研修会開催。

また、研修会終了後、国立研究開発法人海洋研究開発機構の方々と文部科学省を表敬訪問

## 【研修会写真】



▲坂本会長からのあいさつ



▲研修会の様子



▲研修会の様子

## 2 所感

深海底に関しては、人類が探査できている深海底の割合はほんのわずかであるという研究結果も目にするなか、深海巡査探査機「うらしま 8000」の開発については、従来の探査機器では到達することが難しかった日本海溝の最大水深まで探査を可能とするものであり、深海底での研究・調査の可能性を大きく広げるものである。

今後、実際に水深 8000m での試験を行っていくとのことであるが、8000m 級まで調査が可能となれば、日本周辺の海洋における多様な生態系の解明や海底に眠るレアアース等の資源調査・発見、巨大地震が想定される南海トラフや日本海溝、千島海溝などでの地震や津波からの防災・減災に向けた調査・研究の進展に大きな効果をもたらすものであり、その実現を強く期待するとともに、その動向を注視していきたい。

# 【令和7年7月9日研修会「JAMSTECの最近の状況について」】

- ◎日時 令和7年7月9日(水) 午前9時30分～10時30分
- ◎場所 国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所
- ◎講師 国立研究開発法人海洋研究開発機構 監事 菊池 聰 氏
- ◎出席者 森園 秀一

## 1 研修会概要

### (1) 目的

海洋研究開発機構は海洋の総合的な機関として新たな科学技術で海洋立国日本の実現を支え、国民、社会、そして地球の持続的発展、維持に貢献することを目指している。今回の研修は監事の菊池氏より同機構の概要、最近のトピックスをご説明いただき今後の機構の活動に寄与すべく理解促進を図るものである。

### (2) 研修

#### ア 組織概要

- ・役員→理事長 理事3人 監事2人
- ・事業規模→令和7年度収入額 332億円
- ・人員構成→研究職、事務職など計944名

#### イ 事業所

- ・東京に事務所を持ち、全国5ヶ所に研究機関がある。

#### ウ 事業規模

- ・毎年運営交付金が国から降りてくるが、この金額が全体に占めるウエートが高いため非常に重要な部分となる。300億円位

#### エ 第4期中長期目標

- ・第3期海洋基本計画等に定められた施策を着実に実行する。5つの研究開発課題に取り組む。

#### オ 長期経営エコシステム

- ・研究、運用、技術、事務部門がうまく機能していく。

#### カ 船舶の概要

- ・各研究開発課題と連携し、計画達成に必要な最適な研究船の稼働に努める。

#### キ 無人探査機・潜水艦の概要

- ・深海底の多様な海洋環境をより詳しく探査、調査する。

### (3) 最近のトピックス

#### ○ トピック1 「みらいⅡ」の概要

- ・氷海域を含む様々な海域におけるオールラウンドな観測研究機能の実装
- ・各国とも連携しながら観測を行う。

#### ○ トピック2 超巨大地震震源断層の強度回復・応力蓄積過程の解明

- ・津波を起こした断層はどのように強度を回復し、次の地震の準備を始めるかを解明していく。

#### ○ トピック3 JAMSTECの海洋STEAM教育

- ・社会課題解決型の次世代海洋人材育成を体系的に実施していく。
- ・八戸モデルをベースとして全国規模で広がり始めている。

○ トピック4 サンプルリターンの加速により解決すべき研究課題

- ・それぞれの採取された対象から調査研究が必要な分野が多くある。
- ・支援母船の老朽化に伴い、「超深海」探査母船構想がある。特長の異なる各種探査機を搭載し、調査対象・目的等により、適切な組み合わせで各種探査機を連続又は同時運用することで、最高効率のサンプルリターンを目指す。

【研修会写真】



▲説明する菊池氏



▲研修の様子



▲研修の様子

2 所感

当議員連盟は、平成18年に設置されて以降、目的であるJAMSTECの調査・研究成果に関する情報収集などに継続して取り組んでおり、今回の研修会は、JAMSTECにおける最新の動向を把握する貴重な機会となった。

JAMSTECが行う海洋プラスチックに関する調査研究については、海洋プラスチックをはじめとする海洋汚染の問題は年々深刻化しており、水産業をはじめ海に関わる産業と関わりが深い本市においても注視すべき内容である。本市では、海洋STEAM教育に関する取組に協力し、将来の海洋人材の育成を進めているが、育成を進める海洋人材が存分に活躍できる未来を創っていくためには、同時に海洋環境の保全にも力を入れる必要があると考えており、JAMSTECの研究成果を注視し、我々ができることを着実に行っていきたいと考えている。また、その取組の実践が、最終的には、海と密接に関係している本市における海洋資源の効果的な活用につながり、持続可能な地域づくりを支える一つの重要な取組となるものと感じたところであり、今後の議員活動に生かしていきたい。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年5月26日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園 秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和7年8月26日（火）～ 令和7年8月28日（木）
- 3 場所 北海道札幌市
- 4 目的及び内容 全国市議会議長会研究フォーラム

5 支出可能額（上限額） 52,824円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	日	出発	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	8/26	八戸発	12:02	区分					
き	8/26	札幌着	17:08	早見表					
帰	8/28	札幌発	12:00						
り	8/28	八戸着	17:05						
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃	2	1,520	3,040	八戸⇔青森 85.7km	
					2	1,230	2,460	新千歳空港⇔札幌 46.6km	
				急行料金	特	2	1,870	3,740	八戸-新青森 81.8km
					急				
				特別車両料					
				航空運賃		1	16,414	16,414	青森空港⇔新千歳空港
				連絡バス		2	980	1,960	青森駅⇔青森空港
				札幌地下鉄		1	210	210	大通→中島公園
				宿泊料		2	12,500	25,000	8/26, 27 札幌市内泊
小計							52,824		
合計 (小計×人数)							52,824	1名	

# 全国市議会議長会研究フォーラム 行程

日程：令和7年8月26日（火）～ 28日（木）

行先：北海道札幌市

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
8月26日 (火)	<p>12:02発 八戸 → (はやぶさ9号) → 12:29着/12:46発 → 新青森 → (JR奥羽本線) → 12:52着/13:30発 → 青森 → (空港連絡バス) →</p> <p>14:05着/15:00発 青森空港 → (JAL2806) → 15:50着/16:30発 → 新千歳空港 → (JR快速エアポート131号) → 17:08着/17:25発 → 札幌 → (移動) → ホテル</p>	札幌市内泊
8月27日 (水)	<p>13:00～16:50/16:55発 札幌文化芸術劇場hitaru → (移動) → 17:10着/17:22発 → 大通 → (札幌市営地下鉄) → 17:25着/17:35発 → 中島公園前 →</p> <p>17:40着/18:00～18:45/19:00発 札幌パークホテル → (移動) → ホテル (意見交換会)</p>	札幌市内泊
8月28日 (木)	<p>9:00～11:00/11:15発 札幌文化芸術劇場hitaru → (移動) → 11:30着/12:00発 → 札幌 → (JR快速エアポート76号) → 12:37着/13:40発 → 新千歳空港 → (JAL2805) →</p> <p>14:25着/15:00発 青森空港 → (空港連絡バス) → 15:35着/15:56発 → 青森 → (JR特急つがる44号) → 16:01着/16:38発 → 新青森 → (はやぶさ32号) → 17:05着 → 八戸</p> <p>(課題討議)</p>	

令和7年8月29日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等報告書

令和7年5月26日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和7年8月26日（火）～ 令和7年8月28日（木）
- 3 場所 北海道札幌市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 41,714円
- 6 概要 別紙のとおり

# 全国市議会議長会研究フォーラム 行程

日程：令和7年8月26日（火）～ 28日（木）

行先：北海道札幌市

【山之内 悠議員】

月日	行程	宿泊地
8月26日 (火)	<p>12:02発 八戸 → (はやぶさ9号) → 新青森 → (JR奥羽本線) → 青森 → (空港連絡バス) → 12:52着/13:30発</p> <p>14:05着/15:00発 青森空港 → (JAL2806) → 15:50着/16:30発 新千歳空港 → (JR快速エアポート131号) → 札幌 → (移動) → ホテル</p>	札幌市内泊
8月27日 (水)	<p>13:00～16:50/16:55発 札幌文化芸術劇場hitaru → (移動) → 大通 → (札幌市営地下鉄) → 中島公園前 → 17:25着/17:35発 (基調講演・パネルディスカッション)</p> <p>17:40着/18:00～18:45/19:00発 札幌パークホテル → (移動) → ホテル (意見交換会)</p>	札幌市内泊
8月28日 (木)	<p>9:00～11:00/11:15発 札幌文化芸術劇場hitaru → (移動) → 札幌 → (JR快速エアポート76号) → 新千歳空港 → 12:37着/13:40発 (課題討議)</p> <p>14:25着/15:00発 青森空港 → (空港連絡バス) → 15:35着/15:56発 新青森 → (JR特急つがる44号) → 16:01着/16:38発 新青森 → (はやぶさ32号) → 八戸 → 17:05着</p>	

## 領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	6-6
領収書等貼付欄					



JAPAN AIRLINES

Web 4bbac0588d2735ac7a3ce4479ed6e05b  
2025年08月29日 08:49発行

## 領収書

下記の金額正に領収いたしました。

山之内 悠 様

金額 16,414円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312225600152
航空券/料金券発行日	2025年5月26日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

フライト詳細

**旅程1**  
2025年8月26日 (火) JAL2806便  
青森 15:00発 ✈️ 札幌(新千歳) 15:50着  
座席：普通席 座席番号：未指定

**旅程2**  
2025年8月29日 (木) JAL2805便  
札幌(新千歳) 13:40発 ✈️ 青森 14:25着  
座席：普通席 座席番号：未指定

運賃情報

旅程1 + 旅程2	
(内訳)	
往復セイバー	大人：1名×14,250円
国内線旅客施設使用料	大人：1名×740円
消費税	1,424円
<b>合計</b>	<b>16,414円</b>

※ ご予約日当日に購入する場合の運賃額です。購入期限内であっても購入日によって運賃額が変更となる場合がございます。

← 返信    → 転送    😊

✉️



領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号
6-6				
領 収 書 等 貼 付 欄				
<p><b>領収書兼利用明細書</b>                      山之内悠 様</p> <p>領収金額 ￥25,300</p> <hr/> 宿泊代 ￥25,300 <p>小計 ￥25,300                      (10%対象 ￥25,300 内消費税 ￥2,300)                      (8%対象 ￥0 内消費税 ￥0)</p> <hr/> 合計 ￥25,300 * 軽減税率適用 ** 課税対象外 <p>クレジットカード ￥25,300</p> <p>宿泊期間: 2025/08/26 - 2025/08/28</p> <p>アパホテル                      〈札幌豊水すすきの駅前〉</p> <p>〒064-0806                      札幌市中央区南6条西1丁目11-2                      TEL:(011)551-0811                      FAX:(011)551-7819</p> <p>アパホテル株式会社                      登録番号: T4010401043403                      取引番号: 250826000200294</p> <p>担当者</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; background-color: black; border-radius: 50%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 60px; text-align: center; vertical-align: middle;">収入印紙</div> </div> <p>※ 本領収書は再発行できません。2025/08/26</p>				

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

## 研修報告書

- 1 研修名 第20回 全国市議会議長会研究フォーラム
- 2 期 日 令和7年8月27日(水)～8月28日(木)
- 3 会 場 札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌パークホテル
- 4 参加議員 山之内 悠
- 5 研修内容

### (1)基調講演

演題:「主権を預かる誇りと責任」

講師:伊吹 文明 元衆議院議長

国民から負託を受けた議員の責任と誇りについて、国政での経験を踏まえ講じられた。議会制民主主義の本質、議員が持つべき使命感、そして住民との信頼関係を基盤とした政策形成の重要性が説かれ、地方議会議員としての責務を改めて再認識する機会となった。

### (2)パネルディスカッション

テーマ:「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

コーディネーター:辻 陽(近畿大学法学部教授)

パネリスト:牧原 出(東京大学教授)、白石 洋一(読売新聞東京本社社会部次長)、山下 節子(山口県宇部市議会議長)、長内 直也(北海道札幌市議会議長)

議員のなり手不足の背景として、

- 報酬水準の課題
- 二元代表制への理解不足
- 退職金制度がないことや厚生年金に加入できないことなど社会的保障の脆弱さ

といった問題が指摘された。特に、子育て世代や現役世代が議員を志す際、将来の生活設計を描きにくいことは大きな障壁であるとの意見が多く出された。多様な人材の参入を促すには、活動環境の改善に加え、社会保障制度の在り方についても検討が必要であると認識した。

### (3)課題討議(2日目)

テーマ:「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター:牧瀬 稔(関東学院大学法学部地域創生学科教授)

事例報告者:

- 今井 康善(長野県岡谷市議会前議長)
- 平神 純子(鹿児島県南さつま市議会議員)
- 中野 進(石川県白山市議会議長)

報告では、各自治体における工夫や制度改革の取組が紹介された。

- 議会活動の見える化と市民への広報強化
- 議員報酬や政務活動費の見直し
- 議会と行政の役割整理による住民参加型議会運営の推進

特に南さつま市の女性議員による報告では、家庭や地域活動と議員活動を両立しつつ、新たな視点を議会に持ち込む意義が強調され、印象深い事例であった。

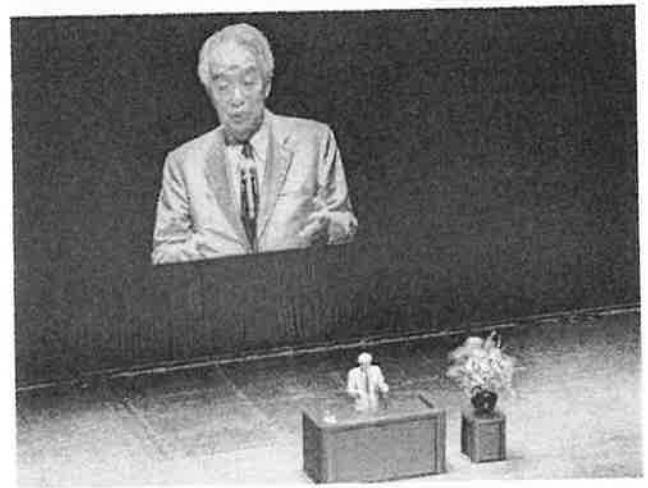
## 6 所感

今回の研修を通じ、地方議会が抱える「なり手不足問題」は単なる人数不足の課題ではなく、多様性と質を確保しつつ持続可能な議会運営をどう構築するかという根本的な問題であることを強く実感した。

特に、退職金制度や年金制度といった社会的保障が不十分であることは、現役世代や子育て世代が議員活動に踏み出す際の大きな障壁となっている。将来設計が描けない状況では、多様な人材の参画は進みにくい。

八戸市においても、若者や女性の参画促進に加え、議員活動と仕事・家庭の両立を可能にする制度改善を検討する必要がある。さらに、社会保障面の課題についても国や県と連携しながら議論を深めていくことが重要であると考えている。

議員としての責任と誇りを胸に、市民から信頼される議会を築くとともに、将来にわたって持続可能な議会制度を模索していきたい。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年10月9日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和7年10月22日(水)～令和7年10月24日(金)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 目的及び内容 第30回 清溪セミナー  
住民主体の地方自治を進めるために  
  
地方議員研究会  
令和の地方議員に求められる議員力アップ研修
- 5 支出可能額（上限額） 69,730円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎							
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考			
行き	10/22	八戸駅発 11:07	早見表							
	//	外苑前駅着 14:37								
帰り	10/24	西新宿駅発 12:48								
	//	八戸駅着 17:04								
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	631.9k	9,790	17,620	八戸⇄東京（往復割引）			
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
				急						
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
			東京メトロ		1	180	180	新橋→外苑前 4.3k		
			//		1	180	180	外苑前→西新宿 5.3k ※運賃は最短経路で計算		
			//		1	210	210	西新宿→東京 8.7k		
			宿泊料		2	13,900	27,800	10/22、10/23 東京都内泊		
			小計						69,730	
			合計（小計×人数）						69,730	1名

# 第30回清溪セミナー・地方議員研究会セミナー 行程

・日程：令和7年10月22日（水）～24日（金）

・場所：東京都新宿区

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
10月22日 (水)	<p>第30回 清溪セミナー 日本青年館ホテル 8階カンファレンスルーム（東京都新宿区霞ヶ丘町4-1）</p> <p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 東京 → (JR山手線) → 新橋 → 14:22着/14:28発 (東京メトロ銀座線)</p> <p>14:37着 外苑前 → (移動) → (移動) → 宿泊先 徒歩5分</p> <p>①15:05～16:25 ②16:40～18:00 日本青年館ホテル (セミナー)</p> <p>東京都内</p>	東京都内
10月23日 (木)	(移動なし)	
10月24日 (金)	<p>地方議員研究会セミナー リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3）</p> <p>宿泊先 → (移動) → 9:20発 外苑前 → (東京メトロ銀座線) → 赤坂見附 → 9:23着/9:25発 (東京メトロ丸の内線) → 西新宿 → 9:36着 (移動) → 徒歩1分</p> <p>10:00～12:30 リファレンス西新宿大京ビル (セミナー)</p> <p>12:48発 西新宿 → (移動) → (移動) → 13:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 徒歩1分</p>	

令和7年11月6日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等報告書

令和7年10月9日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和7年10月22日(水) ～ 令和7年10月24日(金)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 行程 10月22日 八戸～JR～東京  
10月24日 東京～JR～八戸
- 5 支出額 66,200円
- 6 概要 別紙のとおり

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	7-6
領収書等貼付欄					



領収証No. : 1000207997-01  
 取引年月日 : 2025年09月24日  
 発行日 : 2025年10月20日

領収証

山之内 悠 様

領収金額	¥ 66,200
------	----------

(内訳)

(内消費税 10%)

旅行代金 (消費税込)	¥ 66,200
-------------	----------

(¥ 6,018)

但し、ご旅行代金として

上記、正に領収いたしました (クレジット決済)

予約番号 : A50921009052

※本誌は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

JR東日本びゅうツーリズム&セールス  
 RELEASE FOR TOURISM AND SALES COMPANY LIMITED  
 〒130-0013  
 東京都墨田区錦糸3-2-1  
 アルカイースト10階  
 登録番号 T1011001029712

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

びゅうトラベル



内容確認

マイページに戻る

この画面からは予約の内容確認・取消および以下の操作が行えます。予約が完了しています。下記の各種画面の各ボタンより「取引条件説明書」「最終行程表」「領収証」の保存・発行ができます。

日程	2025年10月22日(水) ~ 2025年10月24日(金)	
旅行参加人数	おとな1名 合計1名	
予約番号	A50921009052	
受付状況	予約済	
決済状況	決済済	
購権者同意書	不要	
JR取番番号	29220002768	
JR引取番号	登録の電話番号の下4桁 ※「自宅など」と「携帯電話」の両方を登録された方は「携帯電話」の電話番号となります。	

行程詳細

10月22日(水)	乗車券 八戸 → 東京
	料金券 八戸 10時17分 → 東京 13時04分
	新幹線はやぶさ14号 指定席 8号車 / 4A おとな1名

10月22日(水)  
~2泊

京王プレッソイン新宿  
★★旅せよ平日★★月曜日～木曜日の利用が特にオトク★乗泊まり  
【都心での快適な滞在が魅力！JR「新宿駅」より徒歩10分！】  
後者なし  
プランコード：11250021

【詳細】シングルルームA (1名)  
1名1室利用 バス・トイレ付き 喫煙  
代表者

施設からの確認事項  
チェックイン予定時刻を入力してください  
19時30分  
ご要望がありましたらご記入ください

10月24日(金)

乗車券  
東京 → 八戸  
料金券  
東京 14時20分 → 八戸 17時04分  
新幹線はやぶさ25号  
指定席  
6号車 / 11A  
おとな1名

お客様情報

代表者	山之内 悠 (ヤマノウチ ヨウ) 様 男性 / [REDACTED]
	〒031-0003 青森県八戸市吹上2 [REDACTED]
	電話番号 (自宅など) : [REDACTED] 携帯電話 : [REDACTED] 緊急連絡先 : [REDACTED] メールアドレス : [REDACTED]

### ご旅行代金内訳

乗車日が1カ月以上先の場合「お見積額」となります。  
詳しくはこちら

JR+宿泊	代表者	おとな	66,200円
		小計	66,200円
<b>合計額</b>			<b>66,200円</b>
獲得予定ポイント			132p

#### 各書面印刷

領収証、取引条件説明書、最終行程表、払戻計算書は、こちらから保存いただけます。

領収証を保存する

取引条件説明書を保存する

最終行程表を保存する

#### 取消料

取消料発生期間に入っています。  
旅行契約の成立後、お客様の都合で旅行を取消される場合、ご旅行代金に対して下記の料率で取消料をいただきます。  
クーポンの使用がある場合、取消料の計算はクーポン利用前のご旅行代金に対して算出します。

取消日	対象日	取消料
21日前まで		無料
20~8日前まで	2025年10月2日~2025年10月14日	ご旅行代金の20%
7~2日前まで	2025年10月15日~2025年10月20日	ご旅行代金の30%
前日	2025年10月21日	ご旅行代金の40%
当日	2025年10月22日	ご旅行代金の50%

### 取消料

対象日

ご旅行代金の100%

2025年10月22日

旅行開始後の解除または無連絡不

参加

### お支払情報

クレジットカードでお支払  
VISA (下4桁)

### 受取方法

駅の指定席券売機にて  
※改札内の指定席券売機での受け取りはできませんので、改札外の指定席券売機にてお受け取りください。

マイページに戻る

申込の取消(取消料の確認へ)

振込・旅行契約款・ご旅行委任書

Copyright © East Japan Railway Company & JR EAST  
View Tourism and Sales Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 研修報告書

1. 研修名 清溪セミナー
2. 主催 清溪セミナー実行委員会
3. 共催 一般財団法人 地方自治研究機構
4. 開催日時 令和7年10月22日(水) 15:05~18:00
5. 開催場所 東京都 新宿区 日本青年館
6. 参加議員 山之内 悠

### 7. 研修の目的

社会の急速な変化や人口減少が進む中で、教育・子育て・地域づくりにおける「当事者意識」や「地域全体での支援体制」の構築が重要となっている。

本セミナーでは、教育改革と子育て支援の先進的な実践を学び、地方自治体としてどのように政策や地域連携に反映できるかを考察することを目的とした。

### 8. 研修内容

【講義Ⅱ】 テーマ 社会の変化とこれからの学校教育 ～主体性と当事者性～

講師 工藤 勇一 氏 (教育アドバイザー、元千代田区立麴町中学校長)

#### 概要

工藤氏は、従来の「管理型教育」から「自律と対話を重視した教育」への転換を全国に先駆けて実践した。麴町中学校では、宿題・定期テスト・担任制といった“学校の当たり前”を見直し、生徒一人ひとりが「自ら学び、判断し、行動する力」を育む教育を導入。教師と生徒が対等な立場で対話し、ルールづくりや行事運営も生徒主体で行う仕組みを整えたことで、学力・生活態度・学校満足度のすべてが向上したという。

また、学校だけで完結しない「地域との協働」も重視し、保護者や地域人材との関係を“支援的パートナーシップ”として再構築した事例が紹介された。

教育の本質は「正解を教えること」ではなく、「正解を考える力を育てること」であり、社会全体が“子どもを信じる文化”を醸成することが不可欠であると強調された。

#### 所感

工藤氏の講義から、教育の変革は制度よりも「現場の文化と意識の改革」にかかっていると痛感した。子どもの主体性を育むには、教師自身が学び続け、失敗を恐れず挑戦する姿勢を見せることが重要である。八戸市においても、地域と学校の垣根を越え、家庭・地域・学校が一体となって「子どもが自ら学環境」を構築する取組みをさらに推進する必要があると感じた。

### 【講義Ⅲ】 テーマ 子育て支援策の一步先へ ～まち全体での子育て～

講師 奥 正親 氏 (岡山県奈義町長)

#### 概要

奈義町では、「人口維持」を最重要課題とし、子育て支援と高齢者福祉を両輪とした地域運営を展開している。

町独自の支援として、

- 妊娠期から切れ目のない伴走型支援の実施
- 18歳までの医療費無償化
- 住宅取得支援（町内定住者への補助制度）
- 保育所・小中学校の連携教育プログラム
- 若年世帯への就業・定住支援

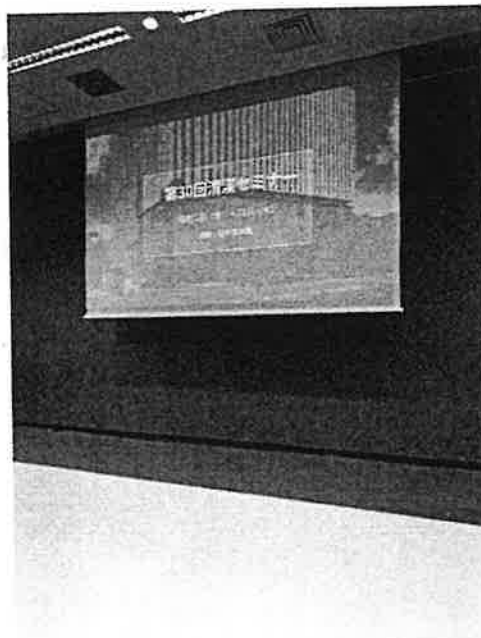
などを組み合わせ、町民全体で「子どもを育てる文化」を醸成。

また、行政だけでなく、商工会や地域ボランティアが協働する“まちぐるみ子育てネットワーク”を構築し、子どもを地域全体で見守る仕組みを形成している。

これにより、出生率は県内でも高水準を維持し、若者世帯の定住率も上昇。子育てと福祉を結び付けた「まちの幸福度経営」として注目を集めている。

#### 所感

奈義町の政策は、少子化が進む地方における実践的なモデルであり、単なる施策の寄せ集めではなく、町民全員が“子育ての当事者”として関わる文化が根付いている点に感銘を受けた。八戸市でも、子育てを「個人の責任」ではなく「地域の力」で支える発想に転換し、企業・NPO・自治会などと連携した横断的な仕組みづくりが必要であると強く感じた。



## 研修報告書

1 研修名 生成 AI (ChatGPT) を活用した議員活動の基礎

2 主催 地方議員研究会

3 開催日時 令和 7 年 10 月 24 日 (金) 10:00~12:30

4 開催場所 東京都 新宿区 リファレンスビル

5 参加議員 山之内 悠

6 講師 木村 亮太 氏 (元枚方市議会議長)

### 7 研修目的

急速に進展する生成 AI (ChatGPT 等) の基本的な仕組みと、議員活動への具体的な応用方法を理解する。政策立案・一般質問・広報活動において、AI を「業務効率化」と「市民への情報発信力向上」の両面から活かす手法を学ぶとともに、誤情報・著作権・個人情報・倫理などリスク管理を理解し、議会 DX と議員スキル向上に資することを目的とする。

### 8 研修内容

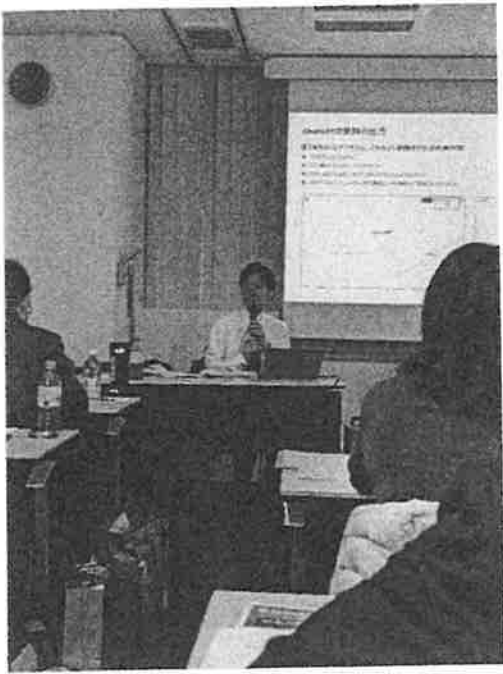
- 生成 AI の基本概念と文章生成の原理
- 議員活動での活用例 (一般質問原稿、政策立案資料、報告書・通信文作成 等)
- SNS・広報への応用と「伝わる文章」作成のコツ
- 活用時の留意点 (情報の信頼性、個人情報・著作権、AI 倫理)

### 9 講師の主な講話内容

- 「AI は議員の思考を補うもので、代替ではない」
- AI 活用は政策提案力の向上につながる
- ChatGPT を活用した政策提案書・広報原稿の事例紹介
- 生成 AI が拓く議会改革の可能性と、今後求められる議員像

### 10 所感

AI 活用の可能性が地方議会にも広がっていることを実感した。資料作成や構成検討の効率化が期待できる一方、最終判断と責任は議員自身にある。「AI に任せる部分」と「自ら考える部分」を明確に分け、一般質問の構成検討、報告書整理、広報文作成等で積極的に AI を取り入れ、生産性と発信力の向上を図りたい。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年9月22日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 間 盛 仁  
上 条 幸 哉  
豊 田 美 好



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 間 盛 仁 議員  
上 条 幸 哉 議員  
豊 田 美 好 議員
- 2 期 間 令和7年11月27日(木) ~ 令和7年11月28日(金)
- 3 場 所 兵庫県神戸市
- 4 目的及び内容 令和7年度我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟  
総会等
- 5 支出可能額(上限額) 248,545円  
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

旅費額計算書

【間議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	11/27	本八戸駅発 6:43	早見表					
き	11/27	市民広場駅着 14:18						
帰	11/28	市民広場駅発 12:35						
り	11/28	本八戸駅着 20:33						
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	1,225.0k	14,410	25,920	本八戸⇄三ノ宮（往復割引）	
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	5,280	10,560	東京⇄新大阪 552.6k
					1	△200	△200	閑散期割引 (11/27 八戸→東京)
					1	200	200	繁忙期割増 (11/28 新大阪→東京)
				急				
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
					2	5,400	10,800	東京⇄新大阪 552.6k
	神戸新交通 ポートライナー	2	250	500	三宮⇄市民広場			
宿泊料		1	13,900	13,900	神戸市内泊（11/27）			
小計						85,420		
合計（小計×人数）						85,420	1名	

# 令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・ 日 程： 令和7年11月27日（木）～28日（金）

・ 場 所： 兵庫県神戸市

役員以外・当日移動・視察あり

【間議員】

月 日	行 程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1）</p> <p>【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ 14:30～15:30 総会 15:45～17:45 シンポジウム 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>6:43発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → 6:52着/7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 東京 → 10:33着/10:42発 東京 → (のぞみ337号)</p> <p>13:12着/13:24発 新大阪 → (JR京都線新快速) → 三宮 → 13:51着/13:53発 三宮 → (徒歩) → 13:58着/14:03発 三宮 →</p> <p>(神戸新交通ポートアイランド線) → 市民広場 → 14:13着/14:18発 市民広場 → (徒歩) → 14:25着 神戸ポートピアホテル (シンポジウム等)</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場2号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1）</p> <p>【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 (テクノオーション視察) → (移動) → 12:25着/12:35発 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 三宮 → (移動) → 12:55着/13:52発 三宮 → (JR神戸線新快速) → 14:19着/14:30発 新大阪 → (のぞみ96号) → 東京 → 16:57着/17:20発 三宮 → (はやぶさ35号) → 八戸 → 20:12着/20:25発 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 20:33着 本八戸</p>	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【上条議員】

旅行日程			旅費計算の基礎				
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考
行き	11/27	本八戸駅前発 8:05	早見表				
	11/27	市民広場駅着 15:58					
帰り	11/28	市民広場駅発 12:35					
	11/28	本八戸駅前着 18:05					
経路・滞在地			鉄道運賃				
別紙のとおり							
急行料金	特						
	急						
特別車両料金							
航空運賃				1	57,905	57,905	三沢空港→羽田空港→伊丹空港 伊丹空港→三沢空港
連絡バス				2	1,500	3,000	本八戸駅前⇔三沢空港
空港リムジンバス				2	1,200	2,400	伊丹空港⇔神戸三宮
神戸新交通 ポートライナー				2	250	500	三宮⇔市民広場
宿泊料				1	13,900	13,900	神戸市泊（11/27）
小計						77,705	
合計（小計×人数）						77,705	1名

※航空機行程は、三沢空港→羽田空港→伊丹空港、伊丹空港→三沢空港が考えられるが、購入時の価格を比較し、より安価な行程を選択したものである。

# 令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月27日（木）～28日（金）

・場所：兵庫県神戸市

行き：羽田経由

【上条議員・長谷川議員】

月日	行程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1） 【日程】16:15～17:45 シンポジウム（活動報告から参加） 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>8:05発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152) → 羽田空港 → (JAL119) → 伊丹空港</p> <p>14:40着/14:55発</p> <p>→ (リムジンバス) → 神戸三宮 → (移動) → 三宮 → (神戸ポートアイランド線) → 市民広場</p> <p>15:58着/16:05発</p> <p>→ (移動) → 神戸ポートピアホテル → (移動) → ホテル</p> <p>16:10着 ※シンポジウム（活動報告）から参加</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1） 【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 神戸国際展示場2号館 → (移動) → 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>8:50着/12:15発 (テクノオーション視察)</p> <p>12:25着/12:35発</p> <p>12:45着/12:50発 → (移動) → 神戸三宮 → (リムジンバス) → (移動) → 伊丹空港 → (JAL2163号) → 三沢空港</p> <p>12:55着/13:45発</p> <p>14:25着/15:30発</p> <p>17:00着/17:15発</p> <p>→ (連絡バス) → 本八戸駅前</p> <p>18:05着</p>	

# ご利用旅程・運賃・料金明細

ウエジョウユキヤ様

2025年11月27日 (木)

運賃: 往復セイバー乗継

10:00 三沢

クラス: 普通席  
航空機名: JAL152

11:25 東京(羽田)

2025年11月27日 (木)

運賃: 往復セイバー乗継

13:30 東京(羽田)

クラス: 普通席  
航空機名: JAL119

57,905 円

14:40 大阪(伊丹)

2025年11月28日 (金)

運賃: 往復セイバー

15:30 大阪(伊丹)

クラス: 普通席  
航空機名: JAL2163

17:00 三沢

\* ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額

57,905円

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【豊田議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行き	11/27	本八戸駅発 6:13	早見表					
	11/27	市民広場駅着 14:03						
帰り	11/28	市民広場駅発 12:35						
	11/28	本八戸駅着 20:33						
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	1,218.9k	14,410	25,920	本八戸⇄三ノ宮(往復割引)	
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	5,280	10,560	東京⇄新大阪 552.6k
					1	△200	△200	閑散期割引 (11/27 八戸→東京)
					1	200	200	繁忙期割増 (11/28 新大阪→東京)
				急				
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
	2	5,400		10,800	東京⇄新大阪 552.6k			
	神戸新交通 ポートライナー	2	250	500	三宮⇄市民広場			
宿泊料		1	13,900	13,900	神戸市内泊 (11/27)			
小計						85,420		
合計 (小計×人数)						85,420	1名	

# 令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月27日(木)～28日(金)

・場所：兵庫県神戸市

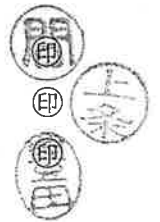
【豊田議員】

月日	行程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル (住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1)                      【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ                      14:30～15:30 総会                      15:45～17:45 シンポジウム                      18:00～19:30 意見交換会</p> <p>6:13発 本八戸 → (JR八戸線) → 6:23着/6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 9:23着/9:54発 東京 → (のぞみ327号)</p> <p>12:24着/12:46発 新大阪 → (JR京都線新快速) → 13:19着/13:30発 三ノ宮 → 13:40着/13:53発 (移動) → 三宮 →</p> <p>(神戸新交通ポートアイランド線) → 14:03着/14:10発 市民広場 → (徒歩) → 14:25着 神戸ポートピアホテル →</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館 (住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1)                      【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 → (移動) → 12:25着/12:35発 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 三宮 → (移動) → 12:55着/13:52発 三ノ宮 → (JR神戸線新快速) → 14:19着/14:30発 新大阪 → (のぞみ96号) → 16:57着/17:20発 東京 →</p> <p>(はやぶさ35号) → 八戸 → (JR八戸線) → 20:12着/20:25発 八戸 → 20:33着 本八戸</p>	

令和8年1月9日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 間盛仁  
上条幸哉  
豊田美好



### 調査視察等報告書

令和7年9月22日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 間盛仁 議員  
上条幸哉 議員  
豊田美好 議員
- 2 期間 令和7年11月27日(木)～令和7年11月28日(金)
- 3 場所 兵庫県神戸市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 242,845円  
※クラスJ料金を除く240,645円を計上額とする。  
8,050円(タクシー代、比較対象外)
- 6 概要 別紙のとおり

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【間議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行き	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行き	11/27	本八戸駅発 6:43	早見表					
	11/27	市民広場駅着 14:13						
帰り	11/28	市民広場駅発 12:35						
	11/28	本八戸駅着 20:33						
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	1,225.0	14,410	25,920	本八戸⇄三ノ宮	
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	5,280	10,560	東京⇄新大阪 552.6k
					1	△200	△200	閑散期割引 (11/27 八戸⇄東京)
					1	200	200	繁忙期割増 (11/28 新大阪⇄東京)
				急				
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
	2	5,400		10,800	東京⇄新大阪 552.6k			
神戸新交通 ポートライナー			2	250	500	三宮⇄市民広場		
宿泊料			1	13,900	13,900	神戸市内泊 (11/27)		
小計						85,420		
合計 (小計×人数)						85,420	1名	

※支出額 (86,550 円) が上限額 (85,420 円) を上回ったため、上限額を支出額とする

# 令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日 程：令和7年11月27日(木)～28日(金)

・場 所：兵庫県神戸市

役員以外・当日移動・視察あり

【間議員】

月 日	行 程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル (住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1)                      【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ                      14:30～15:30 総会                      15:45～17:45 シンポジウム                      18:00～19:30 意見交換会</p> <p>6:43発 本八戸 → (JR八戸線) → 6:52着/7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:33着/10:42発 東京 → (のぞみ337号)</p> <p>13:12着/13:24発 新大阪 → (JR京都線新快速) → 13:51着/13:53発 三ノ宮 → (徒歩) → 13:58着/14:03発 三宮 →</p> <p>(神戸新交通ポートアイランド線) → 14:13着/14:18発 市民広場 → (徒歩) → 14:25着 神戸ポートピアホテル (シンポジウム等)</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場2号館 (住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1)                      【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 (テクノオーション視察) → (移動) → 12:25着/12:35発 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>12:45着/12:50発 三宮 → (移動) → 12:55着/13:52発 三ノ宮 → (JR神戸線新快速) → 14:19着/14:30発 新大阪 → (のぞみ96号) → 16:57着/17:20発 東京 →</p> <p>(はやぶさ35号) → 20:12着/20:25発 八戸 → (JR八戸線) → 20:33着 本八戸</p>	

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	8-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年11月21日

間盛仁様

金75,150円

ただし、乗車券類(えきねっと発券ご利用分)代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本八戸802 No.000023

印紙税申告納  
付につき渋谷  
税務署承認済

領 収 証

No.124592

2025年12月16日

間盛仁様

金額	¥11,400
----	---------

但し 福泊代 ¥1,270  
10%対象(税込) 11,400円 0%対象  
内 消費税 1,236円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収  
用 入  
印 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社  
登録番号 T1420001005756  
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F  
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

旅費の上限額を超えたため  
上限額85,420円を支出する

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること

八戸⇄東京間を子供切符でとる。  
東京⇄三官間を往復切符でとる。  
※ 八戸⇄三官間を往復切符でとる  
より高額となってしまったもの  
※ 八戸⇄三官間往復切符 7,020円。

# ご旅行代金明細書

八戸市議会議員連盟

御中

令和7年11月7日

北日本トラベル株式会社



店長 大久保

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。  
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 名 計 名  
 ご旅行期間 令和7年11月26日(水)～11月28日(金)  
 ご旅行方面 兵庫県神戸市  
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 494,860 円

## 明細内訳

項目	人員		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	4	40,720		162,880	11/26～28 三沢～伊丹(往復) 岡田議員、小屋敷議員、立花議員、五戸議員
JR代	2	71,020		142,040	11/27～28 本八戸～三ノ宮(往復) 田名部議員、豊田議員
	1	51,140		51,140	11/27～28 八戸～三ノ宮(往復) 寺地議員 →欠
宿泊代	4	11,900	11/26	47,600	11/26.27 ホテルサンルートソプラ神戸
		11,400	11/27	45,600	岡田議員、小屋敷議員、立花議員、五戸議員
	4	11,400		45,600	11/27 ホテルサンルートソプラ神戸 田名部議員、問議員、豊田議員、寺地議員
明細金額小計				494,860	
取消料					
現地支払代金				△	
明細金額合計				494,860	消費税10% 44,987円

特記事項 宿泊朝食付き

# 令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月27日（木）～28日（金）

・場所：兵庫県神戸市

行き：羽田経由

【上条議員・長谷川議員】

月日	行程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1）</p> <p>【日程】16:15～17:45 シンポジウム（活動報告から参加） 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>8:05発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152) → 羽田空港 → (JAL119) → 伊丹空港</p> <p>11:25着/13:30発 14:40着/14:55発</p> <p>15:35着/15:40発 15:45着/15:48発 15:58着/16:05発 → (リムジンバス) → 神戸三宮 → (移動) → 三宮 → (神戸ポートアイランド線) → 市民広場</p> <p>16:10着 → (移動) → 神戸ポートピアホテル → (移動) → ホテル</p> <p>※シンポジウム（活動報告）から参加</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1）</p> <p>【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (移動) → 8:50着/12:15発 12:25着/12:35発 神戸国際展示場2号館 → (移動) → 市民広場 → (神戸新交通ポートアイランド線)</p> <p>(テクノオーション視察)</p> <p>12:45着/12:50発 12:55着/13:45発 14:25着/15:30発 17:00着/17:15発 → 三宮 → (移動) → 神戸三宮 → (リムジンバス) → 伊丹空港 → (JAL2163号) → 三沢空港</p> <p>→ (連絡バス) → 18:05着 本八戸駅前</p>	

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	8-3
----	-----	----	----	------	-----

RECEIPT NO: 9549008

収入印紙  
STAMP



領収書 RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。  
JAL received the amount indicated below.

発行所月日印  
VALIDATION STAMP  
25.11.2025  
取扱者印(AGENT) 3826

RECEIVED FROM 上条 幸哉 様  
領収額 THE SUM OF ¥60,105  
ただし、IN PAYMENT OF

- 運賃・税金 FARE-TAX     料金・手数料 FEE-CHARGE     その他 (OTHERS)

明細 DETAILS	
支払手段 FORM OF PAYMENT	金額 AMOUNT
現金 CASH	
クレジットカード (JL) CREDIT CARD	¥60,105
JALクーポン・e JALポイント JAL COUPON・e JAL POINT	
その他 (OTHERS)	

備考 日本消費税対象総額 (税込み): JPY 60,105 (10%)  
REMARKS Japan Consumption Tax Total amount (tax inc.)

131-2239420616, 131-4022862190

日本航空株式会社 Japan Airlines Co., Ltd.  
〒140-0002 2-4-11, Higashishinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo, Japan

(ご注意) 適格請求書をお求めの方は、領収書に「課税資産の譲渡等を行った年月日(実搭乗日)」の記載はされませんので、搭乗日の記載があるeチケットお客様控などをあわせて保管ください。  
(Note) If you require a qualified invoice, as "date of transfer of taxable assets (actual boarding date)" will not be indicated on the receipt, please keep your e-ticket receipt, etc. that shows boarding date.

AC-10535/2023.10 (ORIGINAL)

T7010701007666

上条幸哉 (領収書) RECEIPT

空港リムジンバス運賃  
Airport limousine fare

2025年11月28日(金) 13:38 002号機

伊丹空港 大人片道 @1200x 1枚

合計 1,200円

(10%対象 1,200円  
内消費税 109円)

お預り 1,200円

おつり 0円

上記金額を領収致しました。

発行: 神戸三宮  
阪神バス株式会社 06-6416-1351  
登録番号 T1-1400-0107-2148

利用区間: 神戸三宮駅→伊丹空港

領収書

上条幸哉 様

2025年11月27日  
ご利用時刻 15:15  
取引内容 乗車券購入  
購入金額 ¥1,200

領収書番号 045990

上記金額正に領収致しました。  
ご利用ありがとうございます。

ご購入明細	枚数	金額
品名 神戸三宮駅	1	1200
合計		1200

阪神観光バス株式会社  
大阪空見

上記金額のうちクラスJ  
料金2,200円をのぞく  
57,905円が政務活動費  
対象経費

利用区間: 伊丹空港→神戸三宮駅

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

(普通席料)



Web 04f364af194de77d94697b846bfb012f  
2026年04月30日 02:04発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

上条幸哉 様

金額 57,905円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312239420616
航空券/料金券発行日	2025年11月7日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ウエジョウユキヤ 様

2025年11月27日 (木)

運賃：往復セイバー乗継

10:00 三沢

クラス：普通席  
便名：JAL152

11:25 東京(羽田)

2025年11月27日 (木)

運賃：往復セイバー乗継

13:30 東京(羽田)

クラス：普通席  
便名：JAL119

14:40 大阪(伊丹)

57,905 円

2025年11月28日 (金)

運賃：往復セイバー

15:30 大阪(伊丹)

クラス：普通席  
便名：JAL2163

17:00 三沢

\* ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額

57,905円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	8-3
領収書等貼付欄					

領 収 書  
RECEIPT

発行日  
2025年11月27日

T 131397801 051  
710-00000000

上条 幸哉 様

ホテルサンルートソプラ神戸  
HOTEL SUNROUTE SOPRA KOBE

収入印紙

¥12,500-

〒551-0084  
兵庫県神戸市中央区磯辺通1丁目1-22  
TEL. 078-222-7500  
登録番号:T9140001012658

PAID  
CREDIT

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# 令和7年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟総会等 行程

・日程：令和7年11月27日(木)～28日(金)

・場所：兵庫県神戸市

【豊田議員】

月日	行程	宿泊地
11月27日 (木)	<p>【シンポジウム等会場】神戸ポートピアホテル（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1）</p> <p>【日程】14:00～14:20 役員会※役員のみ 14:30～15:30 総会 15:45～17:45 シンポジウム 18:00～19:30 意見交換会</p> <p>6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 東京 → (のぞみ327号) → 新大阪 12:24着/12:46発</p> <p>→ (JR京都線新快速) → 三宮 13:19着/13:30発 → 三宮 13:40着/13:53発 (移動) → 三宮 → 三宮 14:03着/14:10発</p> <p>(神戸新交通ポートアイランド線) → 市民広場 → (徒歩) → 神戸ポートピアホテル 14:25着 → (移動) → ホテル</p>	神戸市内
11月28日 (金)	<p>【視察会場】神戸国際展示場二号館（住所：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1）</p> <p>【日程】9:00～12:00 テクノオーション会場視察</p> <p>ホテル → (タクシー) → 8:50着/12:15発 神戸国際展示場2号館 (テクノオーション視察)</p> <p>→ (JR神戸線新快速) → 新大阪 → 14:19着/14:30発 (のぞみ96号) → 東京 → 16:57着/17:20発 (はやぶさ35号) → 八戸 20:12着/20:25発</p> <p>→ (移動) → 三宮 12:35着/12:40発 → 三宮 → 12:45着/13:52発</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	8-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124593

2025年12月16日

豊田美好 様

金額	¥	8	2	4	2	0
----	---	---	---	---	---	---



但しJR北海道(12/16~18)

10%対象(税込) 82420円 0%対象

内消費税 7492円 上記の金額正に領収致しました。

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
振込	<input type="checkbox"/>
クレジット	<input type="checkbox"/>

**北日本トラベル株式会社**  
 登録番号 T1420001005756  
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDEビル  
 TEL (0178) 22-5151代

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# ご旅行代金明細書

八戸市議会議員連盟

御中

令和7年11月7日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 隆

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。  
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 名 計 名  
 ご旅行期間 令和7年11月26日(水)～11月28日(金)  
 ご旅行方面 兵庫県神戸市  
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 494,860 円

## 明細内訳

項目	人員			ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	4	40,720			162,880	11/26～28 三沢～伊丹(往復) 岡田議員、小屋敷議員、立花議員、五戸議員
JR代	2	71,020			142,040	11/27～28 本八戸～三ノ宮(往復) 田名部議員、豊田議員
	1	51,140			51,140	11/27～28 八戸～三ノ宮(往復) 寺地議員
宿泊代	4	11,900	11/26		47,600	11/26.27 ホテルサンルートソプラ神戸
		11,400	11/27		45,600	岡田議員、小屋敷議員、立花議員、五戸議員
	4	11,400			45,600	11/27 ホテルサンルートソプラ神戸 田名部議員、問議員、豊田議員、寺地議員
明細金額小計					494,860	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					494,860	消費税10% 44,987円

特記事項 宿泊朝食付き

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	8-2
領収書等貼付欄					

登録番号: T5420001006635

No. 104728 **領 収 証**

令和 7 年 11 月 22 日

豊田 美好 様

現金	
小切手	
振込	

金額	百	十	万	千	百	十	円
			7	0	2	5	0

但し 11/27 7ヶ-1代として 領収済 ✓

上記の通り正に領収致しました

**三八五交通株式会社**

内訳

税率 税抜金額	本	八戸市城山四丁目19-15
10% 消費税額		(〒991-24) 3335
税率 税抜金額	三沢営業所	三沢市大津四丁目12-317
8% 消費税額		TEL 0176 (50) 7500

取扱者印

印 紙

御注意 金額訂正、取扱者印の無きもの及び複写で書かれていないものは無効と致します。

未 収 書 No.6885

日付 2025年11月27日

車番 000906 800

メータ運賃 ¥3,250円

△計 **¥3,250円**

----- 内訳 -----

メンバーズ ¥3250円

消費税率 10%

登録番号: T5420001006J35

毎度ご乗車ありがとうございます。

タクシーの御用命は 三八五交通

TEL 0178-43-0385

八戸駅

6:42八戸駅発  
新幹線に間に合う  
バスがないため  
計上する

領 収 書

No.4864

日付 '25年11月28日 08:51

車番 0237 900

メータ運賃 ¥2000円

迎車料金 ¥300円

予約料金 ¥100円

運賃料金計 ¥2400円

合計 ¥2400円

上記の通り領収致しました  
消費税率10% (税込)

豊田 美好 殿

国際興業大阪 神戸営業所  
登録番号 T9120001053340  
神戸市中央区港島3-7-2

078-302-5935

三宮駅前会場

利用区間: ホテル→神戸国際展示場2号館  
※議員より確認

領 収 書

2025年11月28日 -001

メータ運賃 ¥2,400円

運賃料金計 ¥2,400円

合計 **¥2,400円**

(税率10%)

登録番号 T8810112784028

現金支払 ¥2,400円

車種番号 0740

毎度ご乗車ありがとうございます。

玉田タクシー

神戸個人タクシー協同組合

TEL 090-9090-6199

豊田 美好 様

会場より三宮駅

## 視察実施報告書

下記の通り調査視察を実施したことから、以下のとおり報告いたします。

### 記

- 1 視察日時 令和7年11月27日(木)～令和7年11月28日(金)
- 2 視察場所 兵庫県神戸市
- 3 視察事項及び  
調査結果概要 別紙の通り
- 4 視察議員
  - ・間 盛仁
  - ・上条 幸哉
  - ・豊田 美好

以上 計3名

# 調査視察 報告書

## 1 視察地：兵庫県神戸市

- 1-1 視察日時
- 1-2 対応者
- 1-3 視察目的

## 2 総会およびシンポジウム

- 2-1 総会
- 2-2 シンポジウム「基調講演」
- 2-3 シンポジウム「各団体による活動報告」

## 3 Techno-Ocean 2025 国際展示会視察

- 3-1 基調講演
- 3-2 会場現地視察

## 4 所感

## 1 視察地：兵庫県神戸市

### 1-1 視察日時

令和7年11月27日（木） 14:30～17:45

令和7年11月28日（金） 9:00～12:00

### 1-2 対応者

- ・海洋産業都市推進神戸市議会議員連盟 会長 坊 やすなが 氏 以下  
連盟議員一同
- ・神戸観光局

### 1-3 視察目的

本視察は、本市が加盟する「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」の総会および神戸海洋シンポジウムへ出席し、我が国の海洋研究・海洋産業の最新動向を把握するとともに、海洋教育・人材育成・水中ロボティクスをはじめとする海洋関連技術の最先端の取組を調査することを目的として実施したものである。

あわせて、「Techno-Ocean 2025」国際展示会において海洋産業の将来展望や水中ロボット等の技術革新、人材育成システムの在り方等を把握し、海洋産業都市としての八戸市の可能性や、地域の海洋教育の充実、海洋産業振興に向けた政策的示唆を得ることを目的とした。

さらに、八戸市において推進中の「海洋 STEAM 教育事業（八戸モデル）」の全国的な広がりや位置づけを確認し、今後の連携強化や事業発展に向けた知見を得ることも、本視察の重要な目的としている。

## 2 総会およびシンポジウム

### 2-1 総会 14:30～15:30

- 開催市の神戸市を代表し、神戸市会議員連盟の坊やすなが会長から挨拶。
- 来賓紹介、来賓あいさつ。
- 開催市の坊やすなが氏が議長に選出される。
- 議案審議

#### 第1号 事業報告について

横浜市、静岡市、横須賀市、八戸市、神戸市、名護市、むつ市、函館市、青森市による、各地の事業報告。

第2号 事業計画（案）について

海洋地球科学の研究開発を実施する機関の調査・研究成果品に関する情報の収集及び勉強会の開催以下、4つの事業案件について可決。

第3号 役員（案）について

名誉顧問、顧問、相談役、会長、副会長、幹事、事務局に関する人事案件について可決。

第4号 規約（案）について

規約案件について可決。

○次回開催地である、名護市を代表し、名護市議会議員の古波蔵太氏が挨拶。

○神戸観光局の佐々木昇一氏から、翌日の視察について説明。

**2-2 シンポジウム「基調講演」 15:45～16:15**

【神戸大学大学院海事科学研究科 准教授 元井直樹 氏】

「海洋開発におけるロボット技術の活用～力覚伝送技術と水中ロボットへの応用」

○力覚伝送を基盤とするマニピュレーションについて。

→ロボットによる手作業作業の実現を目指す。

Keyword:バイラテラル制御、モーシオンコピー技術、機械学習、運動制御理論。

○水中ロボット技術について。

→潜水士に代わって、水中ロボットの活用が期待されている。

Keyword:水中バイラテラル制御、水中マニピュレーション、移動制御。

○まとめ1：力覚伝送を基盤とするマニピュレーションは、機械学習が今後の研究の鍵となり、人間の代替作業の実現を目指している。

○まとめ2：ロボットにおける水中タスク実現のために、更なる技術の高度化や実用化が望まれる。

資料1：元井直樹氏による  
基調講演の様子



【1. JAMSTEC 市原盛雄 氏】

「海洋 STEAM 教育事業の展開と長期的な海洋人材育成の展望」

○海洋 STEAM 教育事業（八戸モデル）の現状と広がり

→令和 5 年の海洋 STEAM 教育事業の開始→「八戸モデル」の教材を開発。

八戸モデルは令和 7 年現在、函館市・むつ市・横浜市・横須賀市・神戸市・名護市など全国へ拡大。

→環津軽海峡地域を対象とした「環津軽海峡モデル」の構築を推進。自治体ごとの特色を生かした「地域海洋教育モデル」を開発予定。

→海洋人材育成を重視し、海洋教育を学校から社会へと広く浸透させる取組を実施。

○教育現場での活用

→弘前大学教育学部の教育実習で海洋 STEAM 教材を活用するなど、大学教育にも波及。

○今後の展望

→海外での海洋 STEAM 教材の活用を視野に入れ、30 年先を見据えた長期計画を策定。

○教育理念・コンセプト

→「海を覗けば、地球が見える。」

→正解のない問いに挑戦し、深く考え抜く学びを育成。

→子どもたちが「自分の考えを表現する力」を養う。

→海の学びを通じて、生きる力を育む。

○総括

→JAMSTEC の取り組みは、未来を切り拓く「人づくり」を目的としたプロジェクトである。

【2. アクトインディ株式会社 小土井孝文 氏】

「こどもわーく in 神戸の取組み」

○海洋学習・体験事業（こども向け海のお仕事体験プログラム）の実施。

○海のお仕事体験「こどもわーく」を提供。コンセプトは「本物の現場で、本物の達人と、本物の仕事を体験する」。

→仕事体験を通じ、子どもたちへ「多面的な海体験」を創出。

○多様な企業・団体を巻き込む“お仕事プラットフォーム”として機能。

→活動開始（2019 年）以来、170 種・400 回以上の体験イベントを開催。

参加親子は 4,900 名超。

→神戸市では 2022 年開始、38 種・151 回、参加親子 2,300 名超と高い人気。

- 初期の参加児童が中学生へ成長し、中学生向けプログラムの需要が高まっている。
- 子どもたちの「海離れ」が進む中、海と子どもの多面的・有機的な接点づくりに注力。

### 【3. 神戸市立工業高等専門学校 准教授：清水俊彦 氏】

#### 「水中吸着ドローンによる自律非破壊検査」

- 「万能ハンド技術で社会問題を解決する」ことをミッションとする会社を展開。
  - 農水産・物流・サービスなど多岐にわたる潜在的ビジネスモデルを有する。
  - 水中吸着ドローンによる 自律的・非破壊検査技術を開発。公共岸壁の維持管理分野に強み。
    - 深刻化する潜水士不足の課題に対応する技術として注目。
- Keyword:潜水士の数的不足、水中吸着ドローンによる自律非破壊検査、万能真空吸着グリッパ。
- 万能ハンドを使った、海洋に関するビジネスモデルや市場の可能性。

### 【4. マリエントちきゅうたんけんクラブ】

#### 「マリエントちきゅうたんけんクラブ」の活動

- マリエントでは、常に最新の海洋情報を更新し続けている
- 展示内容はスミソニアン博物館にも負けない程と言われている。
  - 学校では体験できない貴重な体験が可能。
- 令和7年の活動報告。
  - シニア JpGU（日本地球惑星科学連合）大会出席。
  - 八戸工業高等専門学校大研究。
  - 海上自衛隊護衛艦「むらさめ」「てるづき」艦内見学。
  - 海洋地球研究船「みらい」ありがとう。
  - 八戸警察署大研究。
  - 八戸イカの日大研究。
  - 三陸ジオパーク大研究。
  - 水産市場大研究。
- たんけんクラブ・ジュニアの研究
  - 海洋の視点から、地元の海と縄文時代の生活について研究・発表。
  - ウミタナゴの研究。

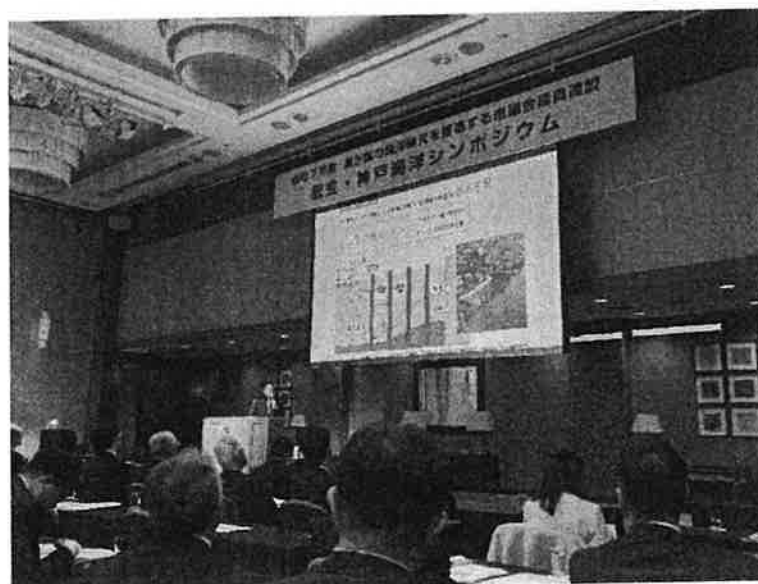
資料2 : JAMSTEC 市原盛雄 氏 による活動報告 (左)

資料3 : アクトインディ株式会社 小土井孝文 氏 による活動報告 (右)



資料4 : 神戸工業高等専門学校准教授 清水俊彦 氏 による活動報告 (左)

資料5 : マリエントちきゅうたんけんクラブ による活動報告 (右)



## Techno-Ocean 2025 国際展示会視察

3-1 基調講演 9:00~9:40

【JAMSTEC 理事長 大和裕幸 氏】

「海洋人材育成と獲得のためのリスキングシステムの構築」

### ○結論

→人材育成と産業創成：現状ではなく未来像を実現する人材育成を。

→造船業の目標設定：1兆円ファンドとなるには、国内に認められる将来構想が必要。

○現状、日本は世界の20%程度の船を製造している。国は今後、倍増させると言っているが・・・。

→出生数減少、人口減、労働力減など、どうやって補うのか。

→現状7万人が就労しているが、倍増の為には12万人以上が必要。

→効率化のみでは間に合わない。

### ○必要な取組

① 短期戦略：造船所の再生、情報化とロボット化。企業が問題定義し、産学官で解決を。

② 長期戦略：新産業構想（国際海上物流システムの構築など）。重油からLNG、そしてアンモニア燃料へ。

③ 研究開発体制の構築。

④ 新しい造船学体型を大学に構築する。

### ○必要な人材

→新産業の展開と構築について5つの提案。

○人材育成システムの構築、パイロット造船所の活用等を通じ、人材育成や学校でのカリキュラムを考えていくことが必要。



3-2 会場現地視察 (9:45~12:00)



## 4 所感

本視察においては、アクトインディ株式会社による「こどもわーく in 神戸」の取組や、マリエントちきゅうたんけんクラブの活動報告など、未来を担う海洋人材の育成に向けた取組が大変印象的であった。人口減少・少子高齢化が進展する中、若い世代が身近にある海洋をテーマとした活動をもとに、地域づくりや将来の職業選択に繋がる体験をしていくことは、地域の人々や地域資源に触れることによる地元への誇りと愛着の醸成にもつながるものであり、今後の地域活性化につながる重要な取組と感じている。

また、JAMSTEC が行う海洋 STEAM 教育の取組は、当市での取組により生まれた八戸モデルが、全国各地に波及している状況であり、この点については、当市の特性である海を大切な資源と位置づけ、JAMSTEC 等関係団体や当議員連盟加盟市など関連する自治体と連携を図りながら、その研究成果を存分に活用すべく取り組んできた成果と感じている。海洋 STEAM 教育は、当市のみならず日本全体の海洋人材の育成が見込まれる大変重要な取組であり、事業の進展は、事業を導入する他市との連携も期待できるなど、更なる効果が見込まれることから、その取組状況を注視していきたい。

今回の視察で得た内容を、今後の議員活動に活かし、当市にとって身近な地域資源である海を活用し、更なる発展につなげる施策を実践できるよう努めていきたい。

# 令和7年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」シンポジウム

日 時 令和7年11月27日(木)  
午後3時45分～  
会 場 神戸ポートピアホテル  
本館地下1階 借楽1

## 次 第

(司 会 神戸市会議員 住本 かずのり)

- 1 基調講演 講師：神戸大学大学院 准教授 元井 直樹 様  
演題：海洋開発におけるロボット技術の活用  
— 力覚伝送技術と水中ロボットへの応用
  
- 2 活動報告
  - (1) 発表団体：国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋STEAM推進課  
課長 市原 盛雄 様  
演 題：海洋STEAM教育事業の展開と長期的な海洋人材育成の展望
  
  - (2) 発表団体：アクトインディ株式会社 取締役 小土井 孝文 様  
演 題：海の仕事体験 こどもわーく in 神戸の取り組み
  
  - (3) 発表団体：神戸市立工業高等専門学校 准教授 / Universal Hands 取締役  
清水 俊彦 様  
演 題：水中ドローンによる自律非破壊検査
  
  - (4) 発表団体：八戸市水産科学館マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ  
シニア会員 青森県立八戸高等学校 3年 [REDACTED] 様  
ジュニア会員 八戸市立第三中学校 2年 [REDACTED] 様  
ジュニア会員 八戸聖ウルスラ学院中学校 1年 [REDACTED] 様  
ジュニア会員 八戸聖ウルスラ学院中学校 1年 [REDACTED] 様  
演 題：マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動
  
- 3 閉会あいさつ 横浜市会議員 佐藤 祐文 様

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月3日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森 園 秀 一 様

氏 名 山 之 内 悠



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期 間 令和8年1月8日(木)
- 3 場 所 東京都中央区
- 4 目的及び内容 令和7年度「地域未来ビジョン創造セミナー」
- 5 支出可能額（上限額）40,960円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎					
行き	1/8	八戸駅発	8:11	区分	基数	単価	金額	備考	
		1/8	新橋駅着	11:19	早見表				
帰り	1/8	新橋駅発	19:05						
	1/8	八戸駅着	22:05						
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃	633.8k	9,790	17,620	八戸⇄新橋 (往復割引)	
				急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	△200	△400	1/8 閑散期割引
				急					
				特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
宿泊料									
小計							40,960		
合計 (小計×人数)							40,960	1名	

# 自由民主・無所属クラブ 行程

日程：令和8年1月8日（木）

行先：東京都中央区

【山之内 悠議員】

月日	行程
1月8日 (木)	8:11発 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八戸</span> → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:17発 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東京</span> → (東海道本線) → 11:19着 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新橋</span> → (移動)
	13:00~18:30 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ベルサール汐留</span> → (移動) → 19:05発 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新橋</span> → (東海道本線) → 19:08着/19:20発 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東京</span> → (はやぶさ39号)
	22:05着 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">八戸</span>

令和8年2月9日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等報告書

令和7年12月3日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和8年1月8日(木)
- 3 場所 東京都中央区
- 4 行程 八戸～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 40,960円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	9-6
領 収 書 等 貼 付 欄					
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">領 収 書 <span style="float: right;">山之内 悠 様</span></p> <p>Receipt                      領収年月日 2025.12.23 登録番号: T9011001029597                      金額 ￥40,960 税10%</p> <p>〔クレジット扱い〕                      購入商品 JR乗車券類                      (50005 4枚)                      東日本旅客鉄道株式会社                      本八戸駅VFO1発行 60006-02</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; text-align: center;">                         印紙税申告納                          付につき渋谷                          税務署承認済                     </div> </div>					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

## 研修報告書

1. 研修名 令和7年度 地域未来ビジョン創造セミナー
2. 主催 全国市議会議長会
3. 研修日 令和8年1月8日(木) 14:00 ~ 18:30
4. 会場 ベルサール汐留(東京都中央区)
5. 研修目的

人口減少、少子高齢化、産業構造の変化など、地域を取り巻く環境が大きく変化する中で、自治体が将来に向けてどのようなビジョンを描き、政策に反映していくべきかについて学ぶことを目的として参加した。特に、AI技術の進展や安全保障問題など、今後の地域政策に影響を及ぼす新たな視点を取り入れ、持続可能な地域づくりに向けた議員としての見識を深めることを目的とした。

---

### 6. 講演内容

#### (1) 特別講演

講師：池谷 裕二 氏 東京大学薬学部教授

演題：『AIがもたらす未来 ~人工知能の現在とこれからの社会~』

本講演では、人工知能(AI)の基礎的な仕組みから最新の研究動向までを踏まえ、AIが社会にもたらす影響について解説が行われた。AIは急速に進化しており、医療、産業、教育、行政など幅広い分野で活用が進んでいる一方で、人間の役割や価値が改めて問われる時代に入っているとの指摘があった。特に印象的であったのは、AIは人間の代替ではなく、人間の判断や創造性を補完・拡張する存在であるという考え方である。AIを恐れるのではなく、正しく理解し、社会の中でどう使いこなすかが重要であり、自治体においても、業務効率化にとどまらず、政策立案や住民サービスの質の向上に活用できる可能性が示された。また、技術の進歩に対して制度や倫理が追いついていない現状にも触れられ、AI時代におけるルールづくりや人材育成の重要性についても言及があった。

---

#### (2) 専門講演

講師：佐々木 貴文 氏 北海道大学大学院水産科学研究院教授

演題：『漁業から見た日本の安全保障問題 — 国際紛争と外国人依存 —』

本講演では、漁業を切り口として、日本の安全保障問題について解説が行われた。海洋資源や漁業を巡る国際的な競争、外国人労働者への依存、食料安全保障の問題などが、国家レベルの課題であると同時に、地方の産業や地域社会に直結する問題であることが示された。特に、日本の一次産業が抱える人手不足や国際環境の変化は、地域経済や雇用にも大きな影響を与えており、これらを安全保障の視点から捉える重要性が強調された。また、国際紛争や外交関係の変化が、エネルギーや食料の供給、地域の産業基盤に波及する可能性についても言及され、地方自治体においても、国の動向を注視しつつ、地域としての備えを進める必要性が示された。

---

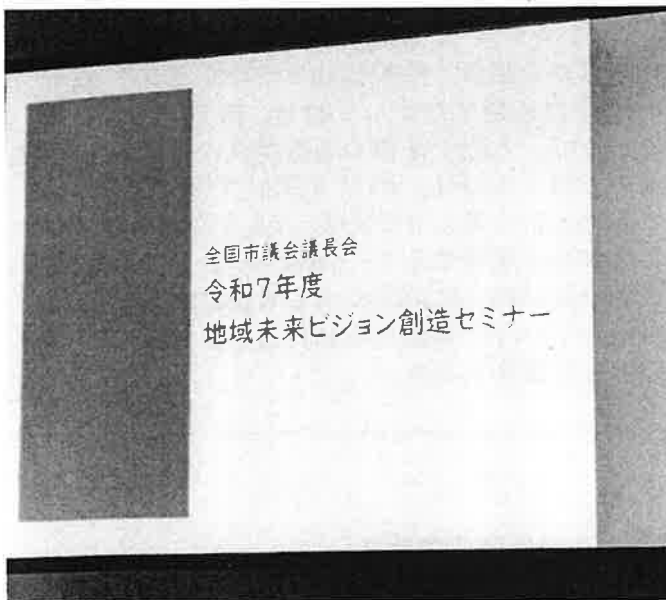
## 7. 所感

AI技術の進展や国際情勢の変化は、一見すると国レベルの課題のように思われがちであるが、実際には自治体運営や地域住民の生活に直結するテーマであり、地方議会においても積極的に議論すべき重要な課題である。

AIに関する講演では、人口減少や人材不足が進む中において、限られた人的資源を有効に活用するための手段として、AIが大きな可能性を持っていることを再認識した。特に、行政事務の効率化やデータ分析による政策立案の高度化など、自治体業務への応用は今後ますます重要になると考えられる。一方で、技術導入だけが先行するのではなく、職員の理解促進や活用スキルの向上、情報管理や倫理面でのルール整備が不可欠であることも改めて感じた。

また、安全保障をテーマとした講演では、漁業や食料問題といった身近な産業が、国際情勢や外交と深く結びついている現実を改めて認識した。災害対策、エネルギー確保、食料供給などは、地域の持続性を支える根幹であり、平時からの備えと危機意識の共有が重要である。地方自治体としても、国の政策動向を踏まえつつ、地域の実情に即した対応を検討していく必要があると感じた。

今回の研修は、単なる知識習得にとどまらず、自治体が将来に向けてどのようなビジョンを描くべきか、議員としてどのような視点で政策を考えるべきかを改めて考える貴重な機会となった。



モニター投影のため  
研修資料なし

令和7年度

# 地域未来ビジョン 創造セミナー

主催 全国市議会議長会

日時 令和7年1月8日(木)

会場 ベルサール汐留

(中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル)

講演会 B1ホール 意見交換会 2Fホール

開場・受付開始 13:00~14:00

開会・開会挨拶 14:00~14:05

特別講演 14:05~15:15

専門講演 15:25~16:45

意見交換会 17:00~18:30

会場アクセス

ベルサール汐留

中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

[https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/higoshiginza/bs\\_shiodome/](https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/higoshiginza/bs_shiodome/)

お問い合わせ先

セミナー事務局 03-5561-2100

メールアドレス: [seminar@belle.jp](mailto:seminar@belle.jp)



令和7年度

# 地域未来ビジョン 創造セミナー

主催 全国市議会連合会

## プログラム Program



特別講演 14:05~15:15

講師 東京大学薬学部教授

池谷 裕二氏

演題「AIがもたらす未来～人工知能の現在とこれからの社会～」

略歴：1970年生まれ。1993年、東京大学薬学部を卒業。98年には薬学博士号を取得し、98年より東京大学薬学部にて助手、講師、准教授を務める。2014年には教授に就任。2002年～05年の間、コロンビア大学の生物化学講座に客員研究員として留学。専門分野は神経生理学で、脳の健康について探究している。



専門講演 15:25~16:45

講師 北海道大学大学院水産科学研究院教授

佐々木 貴文氏

演題「漁業から見た日本の安全保障問題—国境紛争と外国人依存—」

略歴：1979年三重県津市生まれ。2006年、北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程を修了。博士(教育学)。日本学術振興会特別研究員や鹿児島大学大学院水産学研究科准教授を経て、現在は北海道大学大学院水産科学研究院准教授を務める。

### お申し込み方法

- 出欠のご回答は、令和7年12月12日(金)まで
- お申し込みは先着順で、参加費は無料です。定員は1000名です。
- 定員を超えた場合、ご参加いただけない場合がありますのでご了承ください。
- 出欠変更等は、メールにてセミナー開催事務局までご連絡ください。

出欠につきましては  
下記Webフォームより  
ご回答をお願いします。



<https://forms.office.com/r/qUAIWGV99>



会場アクセス

ベルサール汐留

中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル  
[https://www.belfesalle.co.jp/shisetsu/higashiginza/bs\\_shiodome/](https://www.belfesalle.co.jp/shisetsu/higashiginza/bs_shiodome/)

お問い合わせ先

セミナー開催事務局(時事通信社 官庁部)

メールアドレス: [g-info@grp.jiji.co.jp](mailto:g-info@grp.jiji.co.jp)

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月16日

会派名 自民民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一  
上条幸哉



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 森園秀一議員、上条幸哉議員
- 2 期間 令和8年1月26日(月)～令和8年1月27日(火)
- 3 場所 森園議員：東京都千代田区、神奈川県横浜市  
上条議員：神奈川県横浜市
- 4 目的及び内容 森園議員：(1)八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟視察  
「連携中枢都市圏等の推進について」  
(東京都千代田区)  
(2) 国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果  
活用促進八戸市議会議員連盟視察  
「JAMSTECの取組について」(神奈川県横浜市)  
上条議員：国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用  
促進八戸市議会議員連盟視察  
「JAMSTECの取組について」(神奈川県横浜市)
- 5 支出可能額(上限額) 110,840円  
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【森園議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	1/26	本八戸駅発、8:45	早見表					
き	1/26	桜木町駅着、16:39						
帰	1/27	桜木町駅発、9:22						
	り	1/27	本八戸駅着、17:28					
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	2	10,010	18,000	本八戸⇄新杉田 677.9km	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9km
					2	△200	△400	閑散期割引（1/26、1/27）
				急				
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9km
			航空運賃					
			東京メトロ		2	180	360	東京⇄霞ヶ関
			宿泊料		1	13,900	13,900	1/26 横浜市
小 計						55,600		
合 計（小計×人数）						55,600	1名	

JAMSTEC 議連・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 視察行程

・日程：令和8年1月26日（月）～27日（火）

・場所：東京都、横浜市

【前田議員、森園議員、坂本議員、五戸議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (月)	<p>【視察概要】 14:00～15:30 総務省（連携中枢都市圏等の推進について）</p> <p>8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ12号) → 12:08着/13:32発 → 東京・昼食 →</p> <p>(東京メトロ丸ノ内線) → 霞ヶ関 → (移動) → 13:45着/15:40発 → 総務省 → (移動) → 霞ヶ関 →</p> <p>(東京メトロ丸ノ内線) → 東京 → (JR東海道本線) → 横浜 → (JR京浜東北・根岸線) → 16:33着/16:36発</p> <p>16:39着/16:45発 桜木町 → (移動) → 17:00着 ホテル</p>	横浜市内泊
1月27日 (火)	<p>【視察概要】 10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所 (JAMSTECの取組について)</p> <p>9:00発 ホテル → (移動) → 9:10着/9:22発 桜木町 → (JR京浜東北・根岸線) → 新杉田 → (移動) → 9:37着/9:40発</p> <p>9:55着/12:45発 JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 13:00着/13:14発 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 横浜 → (移動) → 13:32着/13:42発</p> <p>14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 17:04着/17:20発</p>	

※1月27日視察先のJAMSTEC横浜本部の最寄り駅である新杉田駅付近に宿泊施設が極めて少ないことから、全国都市要覧における横浜市の下車駅である桜木町周辺に宿泊するものである。

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【上条議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	出発	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	1/26	本八戸駅発	12:46	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	1/26	桜木町駅着	16:49						
帰	1/27	桜木町駅発	9:22	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	1/27	本八戸駅着	17:28						
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃	2	10,010	18,000	本八戸⇄新杉田 677.9km	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9km
						2	△200	△400	閑散期割引 (1/26、1/27)
				急	特				
				特別車両 料 金	特	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9km
				航空運賃					
宿泊料		1	13,900	13,900	1/26 横浜市				
小 計							55,240		
合 計 (小計×人数)							55,240	1名	

# JAMSTEC 議連・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 視察行程

・日程：令和8年1月26日（月）～27日（火）

・場所：横浜市

【上条議員】

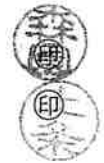
月日	行程	宿泊地
1月26日  (月)	12:46発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ20号) → 東京 → 16:04着/16:18発 (JR東海道本線) → 横浜 → (JR京浜東北・根岸線) → 桜木町 → (移動) → ホテル → 16:49着/16:55発 → (移動) → ホテル → 17:10着	横浜市内泊
1月27日  (火)	【視察概要】 10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所 (JAMSTECの取組について) 9:00発 ホテル → (移動) → 桜木町 → (JR京浜東北・根岸線) → 新杉田 → (移動) → 9:37着/9:40発 9:55着/12:45発 JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 横浜 → (JR東海道本線) → 13:32着/13:42発 14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 17:04着/17:20発 → 17:28着	

※1月27日視察先のJAMSTEC横浜本部の最寄り駅である新杉田駅付近に宿泊施設が極めて少ないことから、全国都市要覧における横浜市の下車駅である桜木町周辺に宿泊するものである。

令和8年4月21日

会派名 自民民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一  
上条幸哉



### 調査視察等報告書

令和7年12月16日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 森園秀一議員、上条幸哉議員
- 2 期間 令和8年1月26日(月)～令和8年1月27日(火)
- 3 場所 森園議員：東京都千代田区、神奈川県横浜市  
上条議員：神奈川県横浜市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 72,200円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	11-1
領収書等貼付欄					

1/26.27

領 収 証

2026年 1月 9日

森園 秀一様

金19,800円

ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分) として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000012

印紙税申告納  
付につき波谷  
税務署承認済

印

領 収 証

No.124923

2026年 4月 21日

森園 秀一様

金額	¥12,800
----	---------

但し 前払12,800円 1/26種決済  
10%対象(税込) 12,800円 0%対象  
内 消費税 1163円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収入印紙  
用 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



登録番号 T1420001005756  
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDBビル  
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# ご旅行代金明細書

JAMSTEC 議連

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 御中

令和8年1月20日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 幸人

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。  
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 5名 計 5名  
ご旅行期間 令和8年1月26日(月)～1月27日(火)  
ご旅行方面 神奈川県横浜市  
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 118,140 円

## 明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	41,340		41,340	前田議員
宿泊代	1	25,600		25,600	長谷川議員 1/26 12,800円、1/27 12,800円
	4	12,800		51,200	1/26 前田議員、森園議員、坂本議員、 五戸議員
明細金額小計				118,140	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				118,140	消費税10% 10,740円

特記事項

JAMSTEC 議連・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 視察行程

・日程：令和8年1月26日（月）～27日（火）  
 ・場所：東京都、横浜市

【前田議員、森園議員、坂本議員、五戸議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (月)	<p>【視察概要】                      14:00～15:30 総務省（連携中枢都市圏等の推進について）</p> <p>8:45発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ12号) → 12:08着/13:32発 → 東京・昼食 →</p> <p>(東京メトロ丸ノ内線) → 霞ヶ関 → (移動) → 13:45着/15:40発 → 総務省 → (移動) → 霞ヶ関 →</p> <p>(東京メトロ丸ノ内線) → 東京 → (JR東海道本線) → 横浜 → (JR京浜東北・根岸線) → 16:33着/16:36発</p> <p>16:39着/16:45発 桜木町 → (移動) → 17:00着 ホテル</p>	横浜市内泊
1月27日 (火)	<p>【視察概要】                      10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所 (JAMSTEC の取組について)</p> <p>9:00発 ホテル → (移動) → 9:10着/9:22発 桜木町 → (JR京浜東北・根岸線) → 新杉田 → (移動) → 9:37着/9:40発</p> <p>9:55着/12:45発 JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 13:00着/13:14発 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 横浜 → (JR東海道本線) → 13:32着/13:42発</p> <p>14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 17:28着</p>	

※1月27日視察先のJAMSTEC 横浜本部の最寄り駅である新杉田駅付近に宿泊施設が極めて少ないことから、全国都市要覧における横浜市の下車駅である桜木町周辺に宿泊するものである。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	11-3
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2026年 1月17日

上条哉 様

金39,600円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

八戸801 No.000018

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 涉 谷 税 務 署 承 認 済
---

ホテルは領収書  
紛失のため、計21,711円  
確認済。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# JAMSTEC 議連・八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議連 視察行程

・日程：令和8年1月26日（月）～27日（火）

・場所：横浜市

【上条議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (月)	<p>12:46発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ20号) → 東京 → 16:04着/16:18発</p> <p>(JR東海道本線) → 横浜 → (JR京浜東北・根岸線) → 桜木町 → (移動) → ホテル → 17:10着</p>	横浜市内泊
1月27日 (火)	<p>【視察概要】</p> <p>10:00～12:00 JAMSTEC 横浜研究所 (JAMSTECの取組について)</p> <p>9:00発 ホテル → (移動) → 桜木町 → (JR京浜東北・根岸線) → 新杉田 → (移動) → 9:37着/9:40発</p> <p>9:55着/12:45発 JAMSTEC横浜研究所・昼食 → (移動) → 新杉田 → (JR京浜東北・根岸線) → 横浜 → (JR東海道本線) → 13:32着/13:42発</p> <p>14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ25号) → 八戸 → (JR八戸線) → 本八戸 → 17:28着</p>	

※1月27日視察先のJAMSTEC 横浜本部の最寄り駅である新杉田駅付近に宿泊施設が極めて少ないことから、全国都市要覧における横浜市の下車駅である桜木町周辺に宿泊するものである。

## 視察実施報告書

下記の通り調査視察を実施したことから、以下のとおり報告いたします。

### 記

1. 視察日時 令和8年1月26日（月）～令和8年1月27日（火）
2. 視察場所 東京都千代田区：総務省自治行政局  
神奈川県横浜市：国立研究開発法人海洋研究開発機構  
横浜研究所
3. 視察事項及び  
調査結果概要 別紙の通り
4. 視察議員
  - ・上条 幸哉（27日のみ）
  - ・森園 秀一

以上 計2名

# 調査視察 報告書

- 1 視察地** 東京都：総務省自治行政局市町村課・行政経営支援室  
神奈川県：国立研究開発法人海洋研究開発機構横浜研究所

- 1-1 視察日時  
1-2 対応者  
1-3 視察目的

## 2 座学および現地視察

- 2-1 総務省 連携中枢都市圏等の推進について  
・広域連携を取り巻く現状と課題
- 2-2 海洋研究開発機構横浜研究所 JAMSTEC の取組について  
・海洋 STEAM 教育事業～八戸市から全国へ～

## 3 所感

1 視察地 東京都：総務省自治行政局市町村課・行政経営支援室  
神奈川県：国立研究開発法人海洋研究開発機構横浜研究所

1-1 視察日時

令和8年1月26日（月）14：00～15：30 総務省  
令和8年1月27日（火）10：00～12：00 JAMSTEC 横浜研究所

1-2 対応者

総務省 自治行政局市町村課 課長 浦上哲朗 氏  
総務省 自治行政局市町村課・行政経営支援室 岩瀧 大介 氏  
海洋研究開発機構 総務部 横浜管理課 課長 松井 宏泰 氏  
海洋研究開発機構 海洋 STEAM 推進課 課長 市原 盛雄 氏  
海洋研究開発機構 海洋 STEAM 推進課 技術士 木戸 ゆかり氏  
野牧 知美  
亀岡 万里奈  
長谷川 翠

1-3 視察目的

本視察は、人口減少・少子高齢化が急速に進行する中において、今後の地方自治体が果たすべき役割と、広域連携の在り方、さらには科学的知見に基づく防災・人材育成施策について理解を深めることを目的として実施したものである。

まず、総務省においては、「連携中枢都市圏構想」の考え方やこれまでの市町村合併・広域行政の変遷を踏まえ、人口減少社会においても地域の活力を維持・向上させるために、基礎自治体がどのように役割分担と相互補完を行うべきかについて学ぶことを目的とした。特に、八戸市が先進的に取り組んできた連携中枢都市圏の意義や、今後求められる将来像の共有、圏域全体での行政運営の方向性を再確認することを重要な視点とした。

あわせて、JAMSTEC（海洋研究開発機構）横浜研究所においては、地震・津波観測やシミュレーション、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を活用した最先端の研究体制を視察し、科学的根拠に基づく防災・減災の取組や、海洋 STEAM 教育を通じた人材育成の現状と将来展望を把握することを目的とした。特に、八戸市が推進してきた「海洋 STEAM 教育（八戸モデル）」が全国へ展開されている状況を確認し、今後の自治体政策への活用可能性について知見を得ることを本視察の大きな目的とした。

## 2 座学および現地視察

### 2-1 総務省 連携中枢都市圏等の推進について

#### 「広域連携を取り巻く現状と課題」

○広域行政を考えるにあたり、「市町村とは何か」を考える必要がある。

○地方自治体の3要素は次の通り

- ① 区域
- ② 住民
- ③ 統治機構

○国民生活に密接に関連する行政は、そのほとんどを地方自治体を実施しており、我が国の内政を担っているのは地方自治体である。地域における事務を処理するのが地方公共団体である。

○市町村の事務の拡大と広域行政の変遷

#### 1 明治の大合併

→小学校や戸籍の事務処理を行うため、300~500戸を標準として、全国一律に町村の合併を実施。

#### 2 昭和の大合併

→中学校1校を効率的に配置管理していくため、人口規模8000人を標準として町村の合併を推進

#### 3 平成の大合併

→地方分権の推進等の中で、与党の「市町村合併後の自治体数を1000を目標とする」という方針を踏まえ、自主的な市町村合併を推進。

→平成の大合併時には、各地で議論が活発化していた。

→結果、平成11年に3232だった市町村は、平成26年には1718となった。

○市町村合併による効果例

- ・保健福祉分野、土木建築分野等の専門職員が配置され、充実した。

○合併後の行財政運営上の課題

- ・周辺地域（旧市町村地域）の振興。
- ・公共施設等の統廃合の難航。
- ・住民の声の行政への適切な反映。 など。

○これまで 20 年の広域連携の推進の経緯

- ・～平成 22 年：市町村合併を推進。
- ・～平成 27 年：多様な広域連携の推進（key：増田レポート）。
- ・平成 27 年～：連携中枢都市圏の推進（八戸市など）。

○連携中枢都市圏の取組の意義

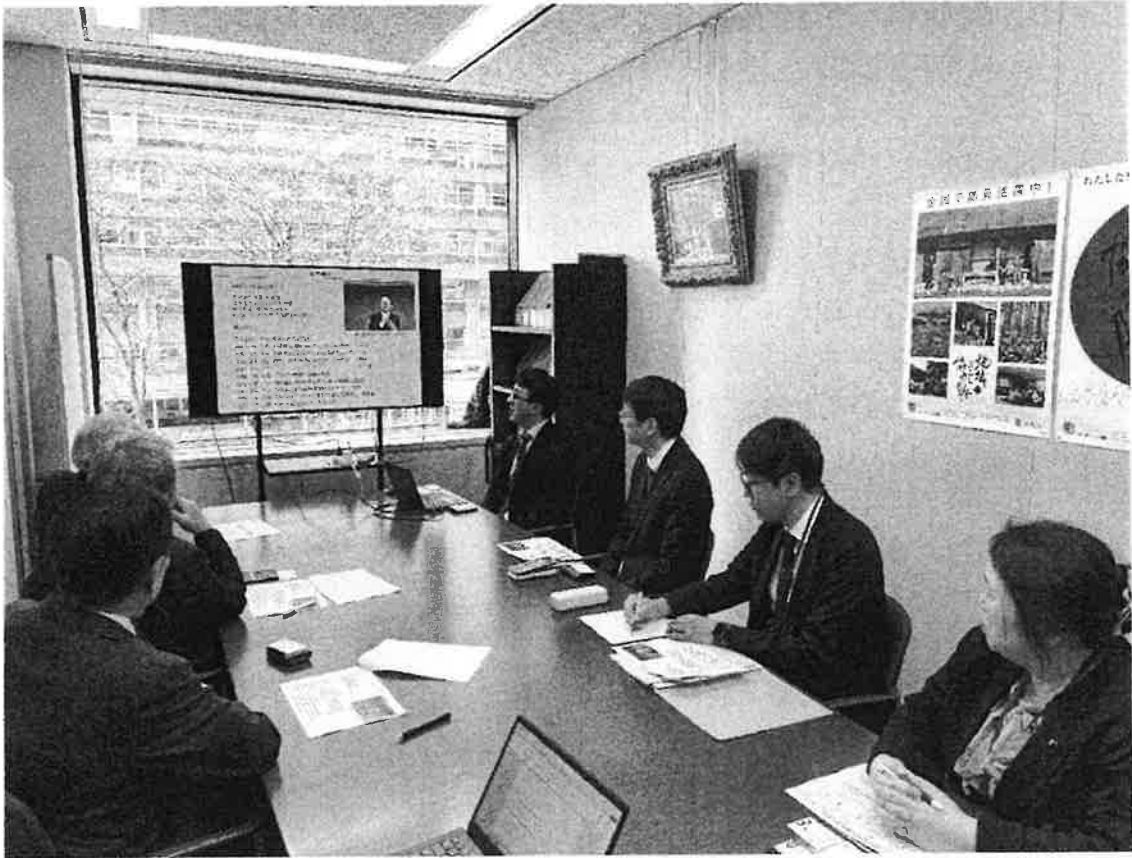
＝地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること。

○連携中枢都市圏に求められているもの

- ① 圏域全体の経済成長のけん引。
- ② 高次の都市機能の集積・強化。
- ③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上。  
→連携中枢都市圏をいかに実現するかが重要。  
→平成 27 年度から、地方交付税措置を講じて全国展開している。

○今、そしてこれからに向けて

- ・人口減少社会に突入。
- ・出生数 69 万人、70 万人を切る時期は、予想では 2040 年くらいだったが、早まっている。減るスピード（傾き）が急になっている。
- ・情報量は増えていく。
- ・慢性的な人材不足。
- ・国、県、市町村の役割分担を適切に行っていく事が重要。
- ・施設、事務、人材、システムなどで相互補完を行うことも重要（公共施設の集約化など）。
- ・都道府県との協力関係の構築をする。
- ・八戸市、福山市は連携都市圏の先進地域。
- ・将来像についてイメージをもってもらうことが大切。



### 区域を越えて～「私たちの圏域」～

- 今後、合意形成の難しい取組に挑戦をしていく必要。
- 区域を越えた「私たちの圏域」(仲間)という意識を共有(運営)できるか。
- 圏域の現状を正面から受け止め、「目指す未来像」(どうありたいか)を共有することができるか。
- 意見が分かれる場合であっても、「対話」を重ねることができるか。そのための仕組みがあるか。

**<時間>**

**<空間>**

**<人間>**

73

## 2-2 海洋研究開発機構横浜研究所 JAMSTEC の取組について 「海洋 STEAM 教育事業～八戸市から全国へ」

### 【座学】

○主にデータ収集やシミュレーションを行っているのが横浜研究所である。

○海洋研究開発機構設立の経緯について

- ・1971年10月1日に発足。
- ・最初は潜水技術開発から始まった。その後は深海探査機関として、更には海と地球の研究機関として存続し、現在は研究をしつつ、地震や津波、海洋資源などについて研究している。

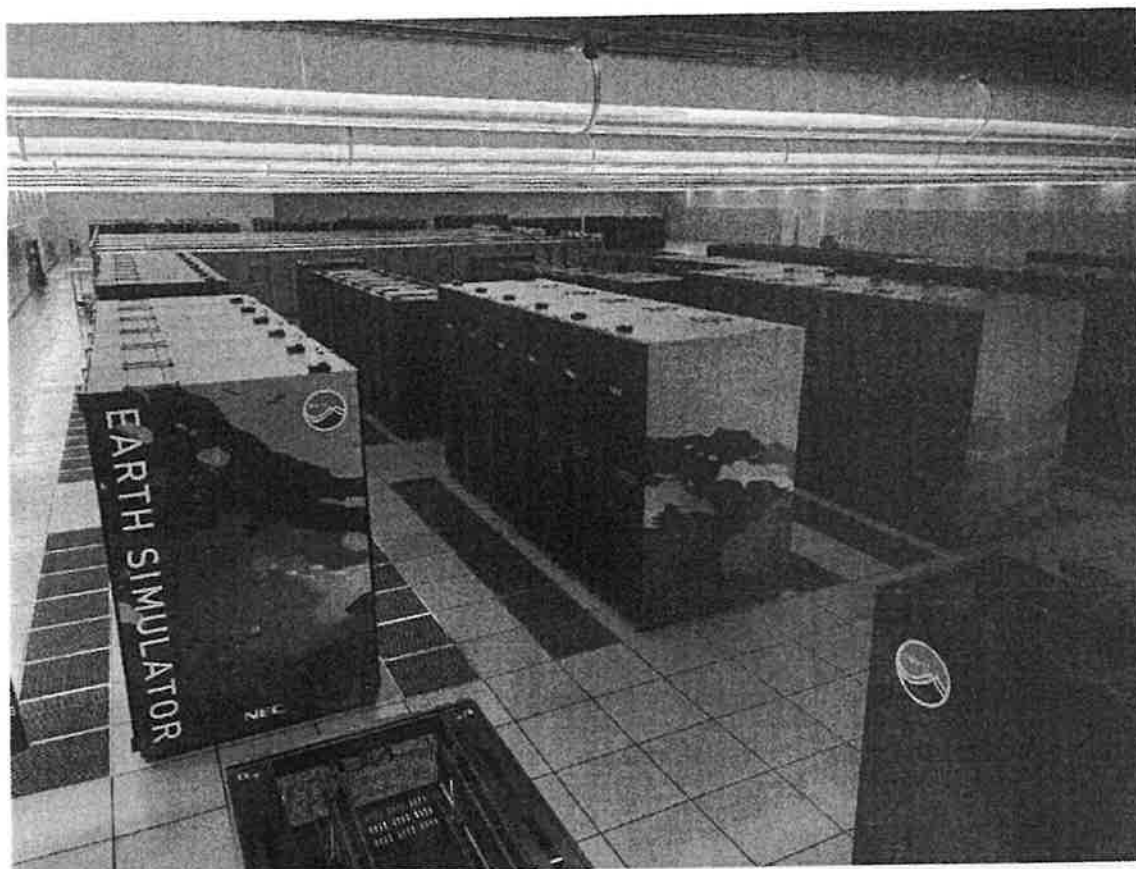
○地球シミュレータ (ES4) について

- ・膨大な研究データを処理・保管するためには、優秀なコンピュータの存在が不可欠である。
- ・スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」は、現在、第4世代であり、第3世代と比べ、性能は約15倍となっている。





【現地視察：スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」】



【座学：海域地震火山部門の取組 講師 研究企画監 石井 将人 氏】

○南海トラフ地震の多様性と予測の不確実性

- ・地震の発生周期や領域が多様であり、予測の不確実性が高い。  
→発生前の現状把握や推移予測が必要。

○DONET（地震・津波観測監視システム）の開発と構築

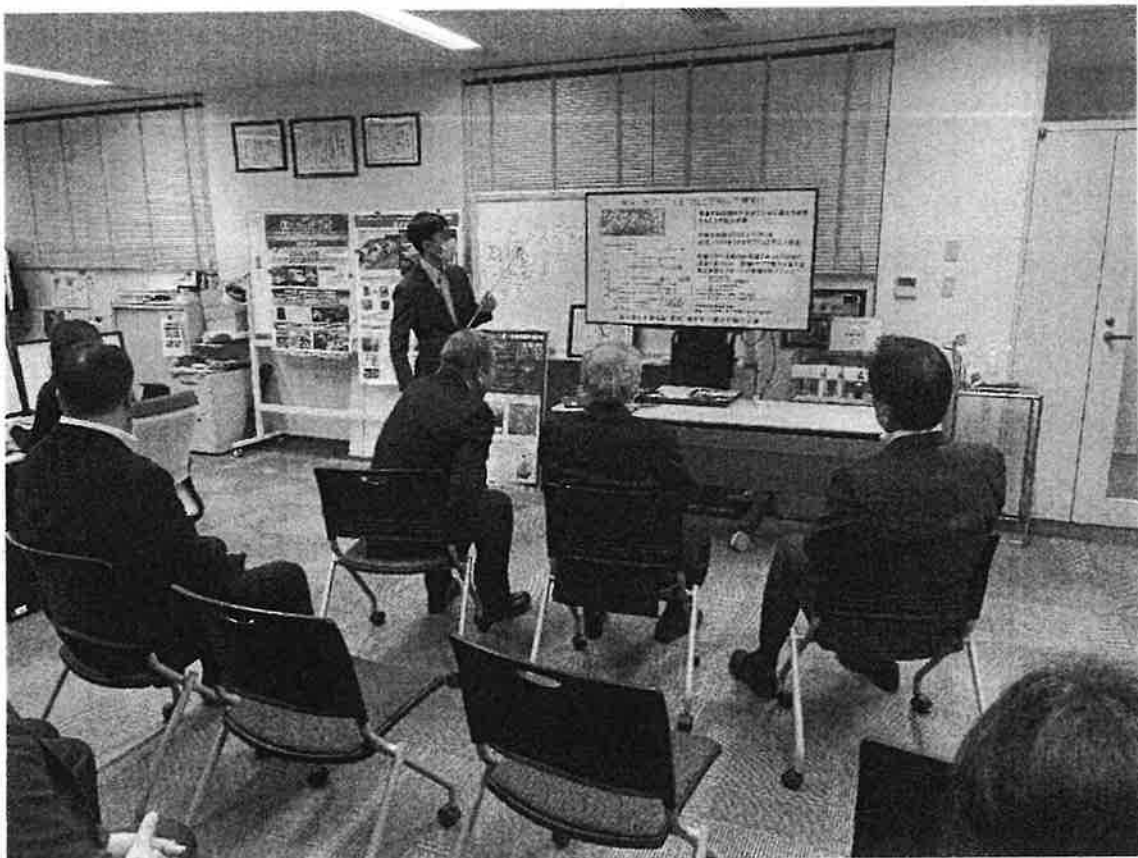
- ・DONET1：2018年までに長期孔内観測システム3か所を構築。
- ・DONET2：2024年までにさらに1か所を接続。

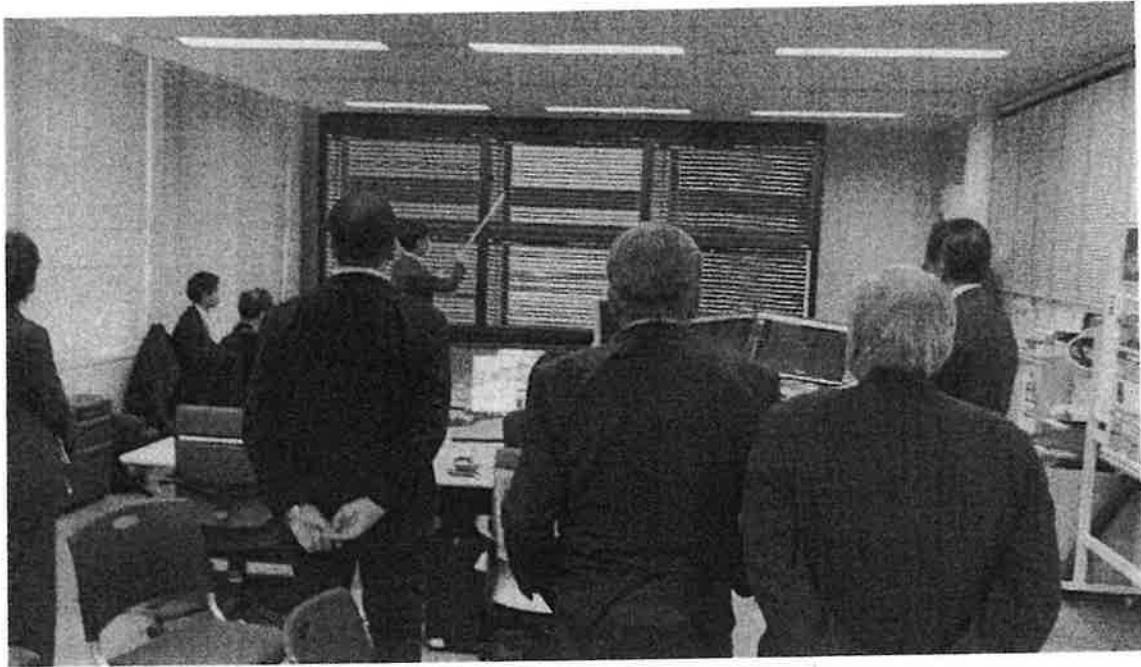
○DONETのコンセプト

- ・広域観測の実現。
- ・高信頼性の構築。
- ・冗長構成。
- ・置換機能。
- ・上記4点によって、即時津波予測システムを社会実装する。

○GNSS（音響測距結合方式の海底地殻変動観測を行うシステム）の活用。

- ・日本海溝や千島海溝域の海底地盤変動を把握。海底面の動きを明らかに。





### 【座学 海洋 STEAM 教育について】

#### ○海洋 STEAM 教育事業の歩みについて。

- ・2023 年の「八戸モデル」構築から現在にかけて、多くの事業が実施されてきた。
- ・直近では 2025 年に「海洋 STEAM ハンドブック」が完成している。
- ・指導者用教材は 400 ダウンロードを達成している。
- ・現在、海洋 STEAM 教材は第 6 巻まで完成している。

#### ○八戸市の授業実践と各地への展開。

- ・吹上小学校から始まったモデル授業は、地方自治体へと波及している。  
→函館市、むつ市、横浜市、横須賀市、静岡市、神戸市、名護市等。

#### ○長期的な海洋人材育成方策について。

- ・「海洋 STEAM 事業推進コンソーシアム」  
→「STEAM 教育の理論的研究」や「教育系大学における人材育成」の二つの面から議論し、当該事業の発展と推進を図っている。

#### ○海洋 STEAM 教材の活用事例。

- ・JTRACK の海洋 STEAM 授業。
- ・八戸市児童科学館への海洋 STEAM 教材の活用（プラネタリウム）。

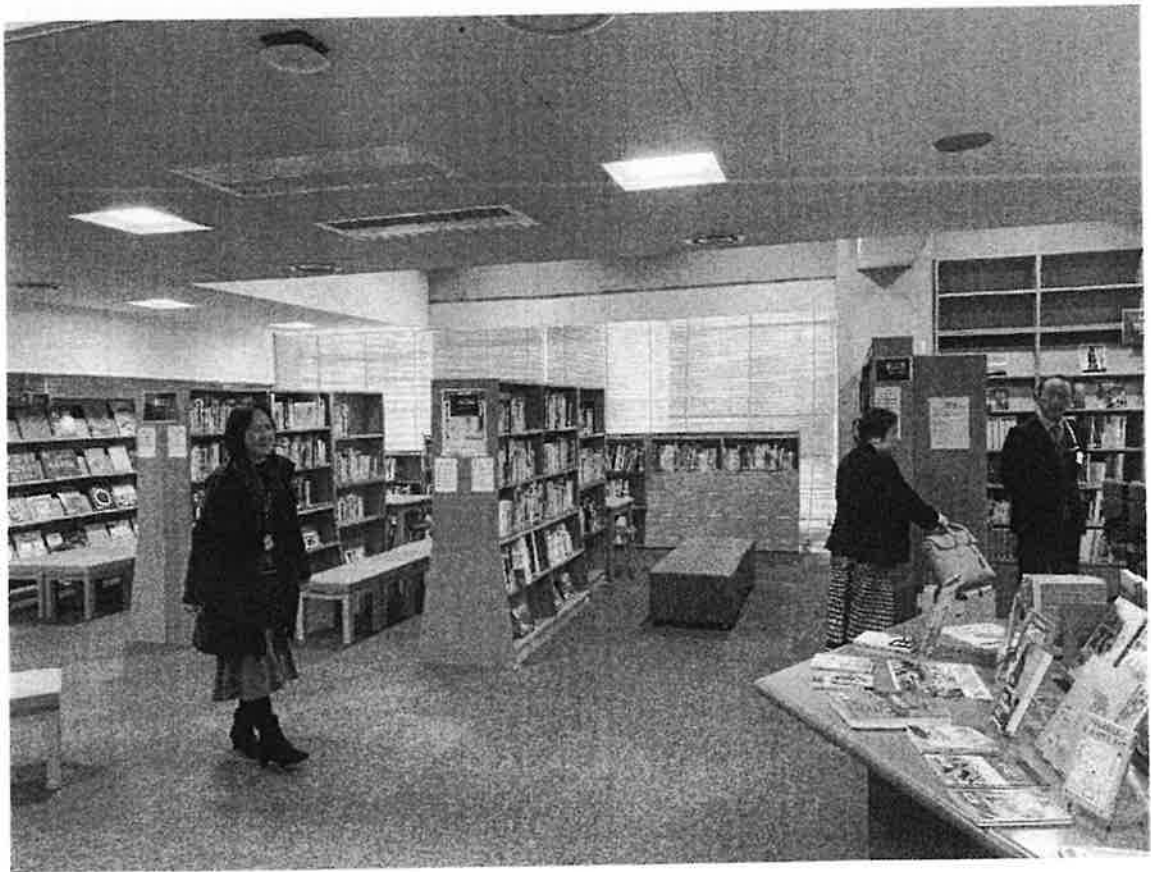
○今後の展望とまとめ。

- ・海洋人材育成の一環で「海洋地球教育」を社会へ浸透させる。
- ・「学校現場から 教員から 地域から」海洋リテラシーの浸透を。
- ・八戸市教育委員会と JAMSTEC の連携協定により、地域の発展と我が国の海洋技術の水準の向上に資する。
- ・海洋 STEAM 教育を八戸から全国へ。
- ・子どもたちが海洋 STEAM 教材を通じて「正解のない問い」へ果敢にチャレンジし、海の学びを通じて、将来を生き抜く力を身につける。
- ・「八戸モデル」をもとに、自治体の特色を生かした、地域海洋教育モデルを計画的かつ継続的に開発する。

【現地視察 地球情報館図書室】

○図書室は、一般利用も可能となっている。





### 3 所感

総務省での視察については、人口減少のスピードが加速するなか、地方自治体が活力を維持し、持続可能な地域づくりを展開していくためには、国、県、市の役割分担に加えて、連携中枢都市圏による行政運営が大変重要であると改めて感じたところである。地方自治体においては、人口減少が進展する一方で、行政エリアは変わらず、業務内容も多様化するなか、より地域住民における事務を処理する市町村が一体となってお互いの良さを生かし補完し合うことが可能な連携中枢都市圏の取組は重要性を増してくると考える。

海洋研究開発機構横浜研究所の視察に関しては、海洋 STEAM 教育の取組について、今後さらに注視していく必要があると感じたところである。

この事業は、JAMSTEC と本市が取り組む事業であり、「八戸モデル」として横浜市や横須賀市など全国各都市へ波及しており、海洋人材育成の重要な施策として非常に効果的な取組であると感じている。海洋人材育成に関しては、海を身近な地域資源とする本市における持続可能な地域づくりに向けて非常に効果的な取組であると感じている。

今回学んだ内容について、本市の発展に資する政策検討など、今後の議員活動に活かしていきたい。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月23日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期間 令和8年1月28日（水）～令和8年1月30日（金）
- 3 場所 京都府京都市
- 4 目的及び内容 地方議員研究会  
今こそ再確認「今の家庭・今のこどもの最新事例を現場から学ぶ」
- 5 支出可能額（上限額） 94,868円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	1/28	本八戸駅前発 10:20	早見表					
き	1/28	京都駅着 15:14						
帰	1/30	京都駅発 7:37						
	り	1/30		本八戸駅前着 13:15				
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	39.0k	580	1,160	新大阪⇄京都	
			急行料金	特				
				急				
			特別車両料金					
			航空機		1	61,708	61,708	三沢⇄伊丹
			連絡バス		2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港
			空港リムジンバス		2	600	1,200	伊丹空港⇄新大阪駅前
			宿泊料		2	13,900	27,800	京都市内泊 (1/28, 1/29)
小計						94,868		
合計 (小計×人数)						94,868	1名	

# 地方議員研究会 今こそ再確認「今の家庭・今のこどもの最新事例を現場から学ぶ」研修 行程

・日程：令和8年1月28日（水）～30日（金）

・場所：京都府京都市

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
1月28日 (水)	<p>10:20発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 11:15着/11:50発 三沢空港 → (JAL2162) → 13:35着/14:05発 伊丹空港 → 15:14着 京都</p> <p>14:30着 新大阪駅前 → (徒歩) → 14:37着/14:50発 新大阪 → (JR京都線) → ホテル</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	京都市内
1月29日 (木)	<p>【研修会場】 京都 JA ビル 住所：京都市南区東九条西山王町1</p> <p>10:00～16:00 京都 JA ビル → (移動) → ホテル</p>	京都市内
1月30日 (金)	<p>7:37発 京都 → (移動) → 8:01着 新大阪 → (徒歩) → ホテル</p> <p>8:10着/8:30発 新大阪駅前 → (空港リムジンバス) → 8:55着/9:45発 伊丹空港 → (JAL2161) → 11:20着/12:25発 三沢空港 → (連絡バス) → 13:15着 本八戸駅前</p>	

令和8年2月16日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 山之内 悠



### 調査視察等報告書

令和7年12月23日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 山之内 悠 議員
- 2 期 間 令和8年1月28日（水）～令和8年1月30日（金）
- 3 場 所 京都府京都市
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 支出額 86,962円
- 6 概 要 別紙のとおり

# 地方議員研究会 今こそ再確認「今の家庭・今のこどもの最新事例を現場から学ぶ」研修 行程


・日程：令和8年1月28日（水）～30日（金）

・場所：京都府京都市

【山之内 悠 議員】

月日	行程	宿泊地
1月28日 (水)	<p>10:20発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 11:15着/11:50発 三沢空港 → (JAL2162) → 13:35着/14:05発 伊丹空港 →</p> <p>14:30着 新大阪駅前 → (徒歩) → 14:37着/14:50発 新大阪 → (JR京都線) → 15:14着 京都</p> <p>→ (移動) → ホテル</p>	京都市内
1月29日 (木)	<p>【研修会場】 京都 JA ビル 住所：京都市南区東九条西山王町1</p> <p>ホテル → (移動) → 10:00～16:00 京都 JA ビル → (移動) → ホテル</p>	京都市内
1月30日 (金)	<p>ホテル → (移動) → 7:37発 京都 → (JR京都線) → 8:01着 新大阪 → (徒歩) →</p> <p>8:10着/8:30発 新大阪駅前 → (空港リムジンバス) → 8:55着/9:45発 伊丹空港 → (JAL2161) → 11:20着/12:25発 三沢空港 →</p> <p>(連絡バス) → 13:15着 本八戸駅前</p>	

## 領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号
領収書等貼付欄				
		Web 56ace6278a9b5e7c14f545c8e4836b48 2026年02月16日 09:29発行		
領収書				
下記の金額正に領収いたしました。				
山之内 慧様				
金額 61,708円 (税込み)				
但し	運賃・料金として			
航空券/料金券番号	1312245084504			
航空券/料金券発行日	2026年1月16日			
発行所	日本航空			
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます			
消費税率: 10%	日本航空株式会社			
この領収書は電子で発行しました。	登録番号 T7010701007666			
ご利用旅程・運賃・料金明細				
ヤマノウチ ユウ権				
2026年1月28日 (水)	運賃: 往復セイバー			
11:50 三沢	クラス: 普通席			
13:35 大阪 (伊丹)	便名: JAL2162			
	61,708円			
2026年1月30日 (金)	運賃: 往復セイバー			
09:45 大阪 (伊丹)	クラス: 普通席			
11:20 三沢	便名: JAL2161			
※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。				
合計金額				61,708円

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	12-6														
領収書等貼付欄																			
<p style="font-size: 24px; margin: 0;"><b>領 収 書</b></p> <p style="margin: 5px 0;">No. 000414808 精-01 26/01/28 15:06 [予約]</p> <p style="font-size: 24px; margin: 0;"><b>部屋番号 736</b></p> <p style="margin: 5px 0;">ご滞在期間 2026/01/28~2026/01/30 ご利用日 2026/01/28</p> <p style="margin: 10px 0;"><b>お名前</b> 山之内 悠 様</p> <hr style="width: 50%; margin: 10px auto;"/> <p style="margin: 5px 0;"><b>ご請求額 25,254円</b></p> <hr style="width: 50%; margin: 10px auto;"/> <p style="margin: 10px 0;">上記金額をクレジットにて領収致しました</p> <p style="margin: 5px 0;"><b>ご利用明細</b></p> <table style="margin: 5px 0; width: 100%;"> <tr><td>※室料</td><td style="text-align: right;">27,660円</td></tr> <tr><td>宿泊税</td><td style="text-align: right;">400円</td></tr> <tr><td>楽天クーポン</td><td style="text-align: right;">-2,806円</td></tr> <tr><td>10%対象</td><td style="text-align: right;">27,660円</td></tr> <tr><td>うち消費税(10%)</td><td style="text-align: right;">2,514円</td></tr> <tr><td>消費税課税対象外</td><td style="text-align: right;">400円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">25,254円</td></tr> </table> <p style="margin: 10px 0;">★は軽減税率対象商品 ごゆっくりお過ごしください</p> <p style="margin: 10px 0;"><b>ロイヤルツインホテル京都八条口</b></p> <p style="margin: 5px 0;">〒601-8001 京都府京都市南区東九条室町46-2 TEL. 075-681-5678 登録番号 T2130001062578</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p>現金での支払い金額が5万円以上 のお客様は収入印紙を貼付致しま すのでフロントへお越し下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 60px; display: inline-block;"></div> </div>						※室料	27,660円	宿泊税	400円	楽天クーポン	-2,806円	10%対象	27,660円	うち消費税(10%)	2,514円	消費税課税対象外	400円	合計	25,254円
※室料	27,660円																		
宿泊税	400円																		
楽天クーポン	-2,806円																		
10%対象	27,660円																		
うち消費税(10%)	2,514円																		
消費税課税対象外	400円																		
合計	25,254円																		

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

## 研修報告書

研修名 今こそ再確認「今の家庭・今のこどもの最新事例を現場から学ぶ」

研修日 令和8年1月29日(木) 10:00~16:00

研修場所 京都市内

講師 MIKURU・MIRU (ミクル・ミル) 代表 山下 真理子 氏 (公認心理師)

---

### 研修目的

少子高齢化や家庭環境の多様化、地域とのつながりの希薄化が進む中、家庭や子どもを取り巻く課題は年々複雑化している。特に、不登校や保護者の孤立、ヤングケアラーなどの問題は、教育分野にとどまらず、福祉・医療・地域政策とも密接に関係する課題となっている。家庭教育支援および不登校支援について、制度や理論だけでなく、実際の支援現場での具体的事例を通して理解を深めるとともに、家庭教育支援チームによる多職種連携の重要性を学び、今後の自治体施策や議会活動に生かすことを目的とする。

---

### 研修内容

#### ① 現場から視る家庭教育支援 (10:00~12:30)

午前の部では、少子高齢社会や家族形態の多様化、地域とのつながりの希薄化といった社会背景を踏まえ、現代における家庭教育支援の必要性について、現場の実態を交えながら講義が行われた。家庭教育支援は、単に子育て方法を伝えるものではなく、保護者の孤立を防ぎ、子どもの育ちを社会全体で支える「予防的支援」としての役割を担っていることが強調された。

具体的事例として、子どもの不登校や母子登校をきっかけに、保護者が強い不安や自責感を抱え、誰にも相談できない状態に陥っていた家庭への支援事例が紹介された。支援の初期段階では、子どもへの直接的な介入よりも、まず保護者の話を丁寧に聴き、気持ちを受け止めることが重要であり、その過程で家庭全体の状況を把握していくことが、結果として子どもの安定につながることを示された。

また、家庭教育支援を効果的に進めるためには、個人の専門性に依存するのではなく、「家庭教育支援チーム」としての体制づくりが不可欠であることが説明された。具体的には、心理職、福祉職、教育関係者、行政職員などが連携し、情報を共有しながら支援を行うことで、家庭が抱える複合的な課題に対応できる体制が構築されている事例が紹介された。こうしたチーム支援により、支援が途切れることなく継続され、家庭が孤立せず地域とつながり続けることが可能となっている。

さらに、家庭教育支援は「ひきこもり」「孤独・孤立」「ヤングケアラー」「若者の自殺」といった社会課題の未然防止につながるものであり、就学前からの切れ目ない支援の重要性についても具体例を通して説明があった。

---

#### ② 現場から視る不登校支援 (13:30~16:00)

午後の部では、増加の一途をたどる不登校の現状について、最新の動向とともに、不登校の背景にある多様な要因が整理された。不登校は一つの原因で生じるものではなく、学校環境、家庭環境、本人の特性などが複雑に絡み合っていることから、画一

的な対応では十分な支援にならないことが示された。

具体的事例として、学校復帰を急ぐあまり、子どもや保護者に過度な負担がかかり、結果として状況が悪化してしまったケースが紹介された。一方で、子どもの状態を丁寧に見極めながら、家庭・学校・支援機関が連携し、学びの場を柔軟に確保した事例では、子どもが安心感を取り戻し、徐々に社会とのつながりを回復していった経過が示された。

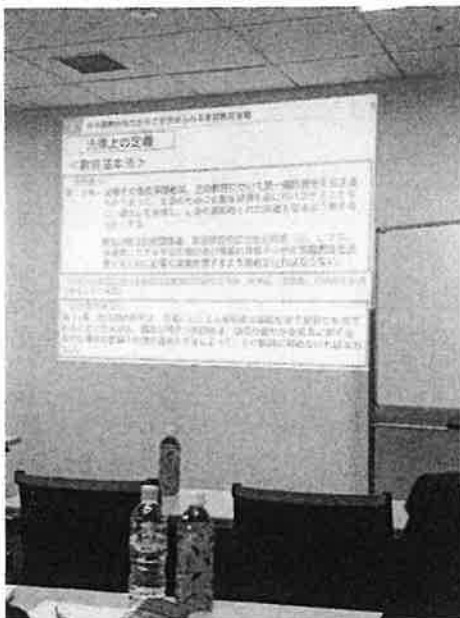
また、「誰一人取り残されない学びの保障」という視点から、今後の不登校支援の基本となる「cocoloプラン」について説明があり、不登校を問題行動として捉えるのではなく、子どもの権利と成長を中心に据えた支援の必要性が強調された。あわせて、保護者の声を丁寧に受け止め、不安や葛藤に寄り添いながら支援を進めることが、不登校支援の成否を左右する重要な要素であることが、現場の実践を通して語られた。

## 所感

本研修を通じて、家庭教育支援および不登校支援は、教育分野に限定されるものではなく、福祉・医療・地域政策と密接に関わる重要な行政課題であることを改めて認識した。特に印象に残ったのは、家庭教育支援チームの存在であり、個々の専門職の努力だけでは対応が難しい複合的な課題に対して、チームとして関わることの有効性である。

家庭教育支援チームが機能することで、保護者が「誰かに相談してよい」と思える環境が整い、結果として支援の早期化・長期化防止につながっている点は、自治体施策として非常に示唆に富むものであった。支援を受ける家庭にとって、相談先が一本化され、継続的に寄り添ってもらえる体制は大きな安心感につながる。

また、不登校支援においても、学校復帰のみを目的とするのではなく、子どもの安心と尊厳を最優先にした支援の考え方は、今後の施策検討において重要な視点であると感じた。家庭教育支援と不登校支援は切り離して考えるものではなく、家庭教育支援チームを核として、家庭・学校・地域が連携することで、より実効性の高い支援が可能になる。本研修で得た知見を踏まえ、本市においても家庭教育支援チームの体制整備や、不登校支援における関係機関の連携強化について検討を進め、子どもと家庭が孤立しない地域づくりに向けた政策提言につなげていきたい。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月22日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一  
間盛仁  
山之内悠



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 森園秀一 議員  
間盛仁 議員  
山之内 悠 議員
- 2 期間 令和8年2月12日(木) ～ 令和8年2月13日(金)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 八戸ふるさと交流フォーラム
- 5 支出可能額（上限額） 164,578円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

【森園秀一議員】

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
行	2/12	本八戸駅発 12:46	早見表						
き	2/12	永田町駅着 16:28							
帰	2/13	永田町駅発 9:52							
	2/13	本八戸駅着 13:25							
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃		638.8k	9,790	17,620	本八戸⇄有楽町 (往復割引)
				急 行 料 金		2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k 閑散期割引 2/12
						1	△200	△200	
				急					
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				東京外		2	180	360	有楽町⇄永田町
				宿泊料		1	13,900	13,900	東京都区内泊 (2/12)
				小 計					
合 計 (小計×人数)						55,420	1名		

# 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表

■日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 森園 秀一 議員

月日	行程		宿泊先
2/12 (木)	<p>本八戸駅 12:45発</p> <p>JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km</p> <p>八戸駅 12:55着 13:07発</p> <p>JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km</p> <p>東京駅 16:04着 16:14発</p> <p>JR京浜東北沿岸線 大船行 (2分) 0.8km</p> <p>有楽町駅 16:16着 16:24発</p> <p>東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km</p> <p>永田町駅 16:28着 16:35発</p> <p>徒歩 (5分)</p> <p>ルポール麹町 17:30 18:50</p> <p>ふるさと交流フォーラム</p>	<p>宿泊先</p> <p>ルポール麹町 19:00 20:30</p> <p>交流会</p>	東京都内
2/13 (金)	<p>宿泊先</p> <p>永田町駅 9:52発</p> <p>東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km</p> <p>有楽町駅 9:56着 10:03発</p> <p>JR山手線内回り 東京上野方面 (2分) 0.8km</p> <p>東京駅 10:05着 10:18発</p> <p>JR新幹線はやぶさ 15号 新青森行 (166分) 631.9km</p> <p>八戸駅 13:04着 13:17発</p> <p>JR八戸線 鮫行 (8分) 6.1km</p> <p>本八戸駅 13:25着</p>		

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【間盛仁議員】

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	日	出発	到着	区分	基数	単価	金額	備考	
行	2/12	白銀駅発	12:33	早見表					
き	2/12	永田町駅着	16:28						
帰	2/13	永田町駅発	9:52						
	り	2/13	白銀駅着						13:35
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃	644.0k	10,010	18,000	白銀⇄有楽町（往復割引）	
				急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						1	△200	△200	閑散期割引 2/12
				急					
				特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				東京外		2	180	360	有楽町⇄永田町
				宿泊料		1	13,900	13,900	東京都区内泊（2/12）
小計							55,800		
合計（小計×人数）							55,800	1名	

# 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表

■日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 間盛仁 議員

月日	行程		宿泊先
2/12 (木)	<p>ルポール麹町 19:00 20:30 交流会</p>	<p>白銀駅 12:33発</p> <p>JR八戸線 八戸行 (22分) 11.3km</p> <p>八戸駅 12:55着 13:07発</p> <p>JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km</p> <p>東京駅 16:04着 16:14発</p> <p>JR京浜東北根岸線 大船行 (2分) 0.8km</p> <p>有楽町駅 16:16着 16:24発</p> <p>東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km</p> <p>永田町駅 16:28着 16:35発</p> <p>徒歩 (5分)</p> <p>ルポール麹町 17:30 18:50</p> <p>ふるさと交流フォーラム</p>	東京都内
2/13 (金)	<p>宿泊先</p>	<p>永田町駅 9:52発</p> <p>東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km</p> <p>有楽町駅 9:56着 10:03発</p> <p>JR山手線内回り 東京上野方面 (2分) 0.8km</p> <p>東京駅 10:05着 10:18発</p> <p>JR新幹線はやぶさ 15号 新青森行 (166分) 631.9km</p> <p>八戸駅 13:04着 13:17発</p> <p>JR八戸線 鉾田行 (18分) 11.3km</p> <p>白銀駅 13:35着</p>	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【山之内悠議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎								
行	日	出発	到着	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考				
行	2/12	本八戸駅前発	9:45									
き	2/12	永田町駅着	15:22	早見表								
帰	2/13	永田町駅発	8:39									
り	2/13	本八戸駅前着	13:45									
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃	2.3k	150	300	浜松町⇄有楽町				
				急行料金	特							
					急							
				特別車両料金								
				航空運賃		1	34,758	34,758	三沢空港⇄羽田空港			
				連絡バス		2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港			
				モノレール		2	520	1,040	羽田空港 T1⇄浜松町			
				東京メロ		2	180	360	有楽町⇄永田町			
				宿泊料		1	13,900	13,900	東京都区内泊 (2/12)			
				小 計							53,358	
				合 計 (小計×人数)							53,358	1名

# 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表

■日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 山之内 悠 議員

月日	行程		宿泊先	
2/12 (木)	<p>本八戸駅前 9:45発</p> <p>連絡バス (55分)</p> <p>三沢空港 10:40着 12:45発</p> <p>JAL154 (85分)</p> <p>羽田空港 14:10着 14:30発</p> <p>徒歩 (5分)</p> <p>羽田空港第一ターミナル 14:35着 14:40発</p> <p>東京モノレール (17分) 17.0km</p> <p>浜松町 14:57着 15:03発</p> <p>JR山手線内回り 東京上野方面 (4分) 2.3km</p> <p>有楽町 15:07着 15:18発</p>	<p>永田町駅 15:22着 15:25発</p> <p>東京メトロ有楽町線 保谷行 (4分) 1.9km</p> <p>徒歩 (5分)</p> <p>ルポール麹町 17:30 18:50</p> <p>徒歩 (5分)</p> <p>宿泊先</p>	<p>宿泊先</p>	東京都内
2/13 (金)	<p>宿泊先</p> <p>永田町駅 8:39発</p> <p>東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km</p> <p>有楽町駅 8:43着 8:51発</p> <p>JR京浜東北線 大船行 (4分) 2.3km</p> <p>浜松駅 9:00着 9:23発</p> <p>東京モノレール (23分) 17.0km</p> <p>羽田空港第一ターミナル 9:23着 9:24発</p> <p>徒歩 (5分)</p> <p>羽田空港 9:29着 10:50発</p>	<p>本八戸駅前 13:45着</p> <p>連絡バス (50分)</p> <p>三沢空港 12:10着 12:55発</p> <p>JAL155 (80分)</p>		

## ふるさと交流フォーラム

※第1部フォーラムのみ参加

令和8年2月20日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一  
間盛仁  
山之内悠



### 調査視察等報告書

令和7年12月22日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 1 旅行者 | 森園秀一 議員<br>間盛仁 議員<br>山之内悠 議員 |
| 2 期間  | 令和8年2月12日(木)～令和8年2月13日(金)    |
| 3 場所  | 東京都千代田区                      |
| 4 行程  | 別紙のとおり                       |
| 5 支出額 | 148,548円                     |
| 6 概要  | 別紙のとおり                       |

# 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表

■日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 森園 秀一 議員

月日	行程		宿泊先				
2/12 (木)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">本八戸駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">八戸駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">東京駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">JR京浜東北根岸線 大船行 (2分) 0.8km</div>	東京都内			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">有楽町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">永田町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">徒歩 (5分)</div>					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">ルポール麹町</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">19:00 20:30 交流会</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">有楽町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">16:16着 16:24発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">永田町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">16:28着 16:35発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">ルポール麹町</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">17:30 18:50</div>			
2/13 (金)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">宿泊先</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">永田町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">9:52発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">有楽町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">9:56着 10:03発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">東京駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">10:05着 10:18発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">八戸駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">JR新幹線はやぶさ 15号 新青森行 (166分) 631.9km</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">本八戸駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">JR八戸線 下行 (8分) 6.1km</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">宿泊先</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">有楽町駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">JR山手線内回り 東京上野方面 (2分) 0.8km</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">東京駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">10:05着 10:18発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">八戸駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">13:04着 13:17発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">本八戸駅</div> <div style="text-align: center; font-size: small;">13:25着</div>	

ふるさと交流フォーラム

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	13 - 1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2026年 2月 2日

森園 秀一 様

金28,780円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000010

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 汲 谷
税 務 署 承 認 済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。



# 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表

■ 日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)

■ 場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■ 参加者 間 盛仁 議員

月日	行程		宿泊先
2/12 (木)	<p>ルポール麹町 19:00 20:30 交流会</p>	<p>宿泊先</p>	東京都内
	<p>白銀駅 12:33発</p>	<p>JR八戸線 八戸行 (22分) 11.3km</p>	
	<p>八戸駅 12:55着 13:07発</p>	<p>JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km</p>	
	<p>東京駅 16:04着 16:14発</p>	<p>JR京浜東北根岸線 大船行 (2分) 0.8km</p>	
	<p>有楽町駅 16:16着 16:24発</p>	<p>東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km</p>	
	<p>永田町駅 16:28着 16:35発</p>	<p>徒歩 (5分)</p>	
	<p>ルポール麹町 17:30 18:50</p>	<p>ふるさと交流フォーラム</p>	
2/13 (金)	<p>宿泊先</p>	<p>東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km</p>	
	<p>永田町駅 9:52発</p>	<p>JR山手線内回り 東京上野方面 (2分) 0.8km</p>	
	<p>有楽町駅 9:56着 10:03発</p>	<p>JR新幹線はやぶさ 15号 新青森行 (166分) 631.9km</p>	
	<p>東京駅 10:05着 10:18発</p>	<p>JR八戸線 八戸行 (18分) 11.3km</p>	
	<p>八戸駅 13:04着 13:17発</p>		
	<p>白銀駅 13:35着</p>		

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	13-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

2026年 2月 7日

間 盛仁様

金39,450円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

納 告 甲 税 紙 印
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸801 No.000009



toyoko inn

領 収 書

間 盛仁様

領収金額 ¥9,760

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆

2026/02/12 宿泊料 ¥9,760

10%対象 ¥9,760 (内)消費税額 ¥887

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥9,760

お部屋番号: 229

創業40周年  
東横INNクラブカード会員さま  
ご愛顧感謝キャンペーン



東横INN新宿歌舞伎町  
TEL:03-5155-1045 FAX:03-5155-1046

印紙税申告納
付につき蒲田
税務署承認済

発行元  
株式会社 東横イン  
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号: T9011001008365  
取引番号: 230251413

2026/02/19 14:46

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表


- 日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)
- 場所 東京都千代田区(ルポール麹町)
- 参加者 山之内 悠 議員

月日	行程										宿泊先	
2/12 (木)	本八戸駅前 9:45発	連絡バス (55分)	三沢空港 10:40着 12:45発	JAL154 (85分)	羽田空港 14:10着 14:30発	徒歩 (5分)	羽田空港第一 ターミナル 14:35着 14:40発	東京モノレール (17分) 17.0km	浜松町 14:57着 15:03発	JR山手線内回り 東京上野方面 (4分) 2.3km	有楽町 15:07着 15:18発	東京都内
			永田町駅 15:22着 15:25発	徒歩 (5分)	ルポール麹町 17:30 18:50		宿泊先					
			東京メトロ有楽町線 保谷行 (4分) 1.9km									
2/13 (金)	宿泊先		永田町駅 8:39発	東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km	有楽町駅 8:43着 8:51発	JR京浜東北線 大船行 (4分) 2.3km	浜松駅 9:00着 9:23発	東京モノレール (23分) 17.0km	羽田空港第一 ターミナル 9:23着 9:24発	徒歩 (5分)	羽田空港 9:29着 10:50発	
			JAL155 (80分)	三沢空港 12:10着 12:55発	連絡バス (50分)	本八戸駅前 13:45着						

## ふるさと交流フォーラム

※第1部フォーラムのみ参加

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	13-6
領収書等貼付欄					
 <p>Web 71055aef9c20440c0d693435d2dd027f 2026年02月12日 11:33発行</p> <p style="text-align: center;">領収書</p> <p>下記の金額正に領収いたしました。 <b>山之内 悠 様</b></p> <hr/> <p>金額 <b>34,758円</b>（税込み）</p> <hr/> <p>但し <span style="float: right;">運賃・料金として</span></p> <p>航空券/料金券番号 <span style="float: right;">1312245222620</span></p> <p>航空券/料金券発行日 <span style="float: right;">2026年1月17日</span></p> <p>発行所 <span style="float: right;">日本航空</span></p> <p>備考 <span style="float: right;">現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます</span></p> <p>消費税率：10% <span style="float: right;">日本航空株式会社</span> この領収書は電子で発行しました。 <span style="float: right;">登録番号 T7010701007666</span></p> <p><b>ご利用旅程・運賃・料金明細</b></p> <p><b>ヤマノウチユウ 様</b></p> <p>2026年2月12日（木） <span style="float: right;">運賃：往復セイバー</span></p> <p>12:45 三沢 <span style="float: right;">クラス：普通席</span></p> <p>14:10 東京（羽田） <span style="float: right;">座名：JAL 154   J-AIR運航</span></p> <p style="text-align: right;"><b>34,758 円</b></p> <p>2026年2月13日（金） <span style="float: right;">運賃：往復セイバー</span></p> <p>10:50 東京（羽田） <span style="float: right;">クラス：普通席</span></p> <p>12:10 三沢 <span style="float: right;">座名：JAL 155   J-AIR運航</span></p> <p style="text-align: right;">合計金額 <b>34,758円</b></p>					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。


旅費の支出額が上限額を越えたため、  
上限額53,358円を計上する。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	13-6
領 収 書 等 貼 付 欄					

計 算 書  
< BILLING ACCOUNT >

No. 725913  
Date 2026/02/13  
Page 1 / 1

予約No.(Res. No.) 004018992 登録番号 T6010001146554  
 利用施設名(Property) ホテルマイステイズ五反田駅前  
 号室(Room No.) 214 担当者(Issuer)   
 お名前(Name) 山之内 悠 様 ご利用人数(No. guests) 1 名様  
 ご利用期間(Term) 2026/02/12 ~ 2026/02/13 1泊2日 (1 Nts 2 Days)

内訳 Description	料金 Charge	備考 Remarks
宿泊料	18,800	26/02/12
10%対象 (内消費税)	¥18,800 ¥1,709)	

合計(Total with tax)	18,800	
--------------------	--------	--

現金 Cash	売掛 Balance	クーポン Coupon	クレジット -Card	振込 Transfer	返金(現金) Refund C	返金(振込) Refund T	その他 Others
0	0	0	18,800	0	0	0	0

署名(Signature) \_\_\_\_\_ ※印がついている商品は軽減税率対象となります。

領 収 書 < RECEIPT >

2026/02/13

No. 725913

お名前(Name) 山之内 悠 様  
 但書 宿泊料として 10%対象 ¥18,800  
 (内消費税 ¥1,709)

印紙税申告納  
付につき麻布  
税務署承認済

金額(Total) 18,800 円(yen)  
 < 内消費税(Tax) 1,709 円(yen) >

作成地：東京都港区六本木

上記金額正に領収いたしました。

ホテルマイステイズ五反田駅前  
 HOTEL MYSTAYS Gotanda Station  
 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-6-8  
 Tel.03-3494-1050 (代) Fax:03-3490-4569  
 アイコニア・ホスピタリティ株式会社  
 (Iconia Hospitality K.K.)  
 〒106-6141 東京都港区六本木6-10-1  
 Tel.03-3434-3939 (代) Fax:03-6866-4352

登録番号：T6010001146554  
 (領収印のないものは無効)

※

## 研修報告書

1. 研修名 令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム
2. 研修目的 八戸市が推進する「食のまち・八戸」の取り組みについて、市の施策方針や今後の展開を学ぶとともに、食を軸とした地域ブランド戦略および観光振興の方向性について理解を深め、今後の議員活動に資することを目的として参加した。
3. 研修日時 令和8年2月12日（木）17時30分～18時50分
4. 研修会場 ホテルルポール麴町（東京都千代田区平河町2-4-3）
5. 主催 八戸市
6. 参加者 森園 秀一 間 盛仁 山之内 悠

### 7. 研修内容

#### (1) 主催者挨拶

主催者より、本フォーラムの開催趣旨として、八戸市を応援する関係人口とのネットワーク強化を図るとともに、市の重点施策への理解と協力を広げる場としたい旨の説明があった。

#### (2) 市政報告

市長より、八戸市の現状および主要施策について報告が行われた。観光振興プラン「ハマる、ハチノへ。」の推進状況や、食をはじめとする地域資源を活用した取り組みの方向性について説明があった。

#### (3) パネルディスカッション

テーマ：『「食のまち・八戸」の推進について』

<パネリスト>

- ・一般社団法人 日本食文化観光推進機構 理事 田中 操 氏
- ・八戸市長 熊谷 雄一

パネルディスカッションでは、「食のまち・八戸」の可能性について多角的な議論が行われた。特に、八戸の横丁文化については、これまで積極的にメディアへ情報発信・売り込みを行った結果、現在では全国的に知られる存在となっていることが紹介された。八戸の横丁文化は、複数の横丁が密集し、市民の日常と観光が自然に交わる独特の形態を有しており、全国的にも“唯一無二”の存在であるとの評価が示された。

また、豊かな水産資源を背景とした食材の質の高さ、郷土料理や酒文化などの多様性を踏まえ、八戸の「食」のポテンシャルは非常に高いとの認識が共有された。

さらに、新年度から「八戸食文化会議」を設置し、食を軸とした取り組みを体系的に推進していく方針についても議論され、行政のみならず民間や専門機関との連携の重要性が確認された。単発のイベントではなく、戦略的かつ継続的なブランド形成が求められるとの提言がなされた。

---

## 8. 所感

本フォーラムを通じて、八戸の食文化、とりわけ横丁文化が持つ価値を改めて認識した。横丁は単なる飲食の場ではなく、人と人が自然につながるコミュニティ空間であり、その日常性こそが観光資源としての強みであると感じた。

また、メディア戦略によって横丁文化が全国的に認知されるようになった事例は、情報発信の重要性を示す好例である。地域資源は存在するだけでは価値にならず、戦略的に発信してこそブランドとなることを再確認した。

八戸は水産都市としての強みを持ち、食材の質・多様性ともに高いポテンシャルを有している。今後、「八戸食文化会議」を中心に、産業振興・観光振興・関係人口創出を一体的に進めることができれば、地域経済の底上げにもつながるものと期待される。

議会としても、施策が一過性に終わることなく、具体的な成果指標とともに継続的に推進されているかを検証しつつ、必要な提言を行っていくことが重要であると感じた。



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和8年1月9日

会派名 自由民主・無所属クラブ  
代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 森園秀一 議員
- 2 期間 令和8年1月15日(木)～1月16日(金)
- 3 場所 東京都世田谷区
- 4 目的及び内容 「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026 研修会
- 5 支出可能額（上限額）55,100円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎					
行き	1/15	八戸駅発 9:05	区分	基数	単価	金額	備考	
	1/15	二子玉川駅着 12:49	早見表					
帰り	1/16	二子玉川駅発 13:29						
	1/16	八戸駅着 17:04						
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃		633.3k	9,790	17,620	八戸⇄大宮⇄渋谷 (往復割引)
			急行料金	特	2	6,060	12,120	八戸⇄大宮 601.6k
					1	△200	△200	1/15 閑散期割引
			急					
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄大宮 601.6k
			東急田園都市線		2	230	460	渋谷⇄二子玉川
			宿泊料		1	13,900	13,900	東京都内
小計						55,100		
合計 (小計×人数)						55,100	1名	

# 自由民主・無所属クラブ 行程

日程：令和8年1月15日（木）～16日（金）

行先：東京都世田谷区

【森園 秀一 議員】

月日	行程	宿泊地
1月15日 (木)	<p>9:05発 八戸 → (はやぶさ12号) → 大宮 → (JR埼京線) → 渋谷 →</p> <p>11:39着/11:49発 大宮 → (JR埼京線) → 渋谷 →</p> <p>12:29着/12:38発 渋谷 →</p> <p>12:49着/13:00発 二子玉川 → (移動) → 楽天クリムゾンハウス → (移動) →</p> <p>13:30着/20:15発 楽天クリムゾンハウス → (移動) →</p> <p>ホテル</p>	東京都内
1月16日 (金)	<p>ホテル → (移動) → 9:50着/12:15発 楽天クリムゾンハウス → 二子玉川 → (移動) → 12:30着/13:29発 二子玉川 → (東急田園都市線急行) →</p> <p>13:39着/13:47発 渋谷 → (JR埼京線) → 大宮 → (はやぶさ25号) → 八戸 → 17:04着 八戸</p>	

令和8年3月31日

会派名 自由民主・無所属クラブ

代表者名 森園秀一様

氏名 森園秀一



### 調査視察等報告書

令和8年1月9日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 森園秀一議員
- 2 期間 令和8年1月15日(木)～1月16日(金)
- 3 場所 東京都世田谷区
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 46,140円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	74-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

Visa

2026年 1月 9日

森園 秀一様

金28,780円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 渋 谷 税 務 署 承 認 済
---

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000014

印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# 領収書

再発行

宛名 森園 秀一様  
金額 ¥17,360  
但し 宿泊代金として  
予約/注文番号 IN1506197126  
ご利用施設 アパホテル〈渋谷道玄坂上〉  
ご利用日 2026/01/15 より 1泊

表示日2026/01/16

株式会社 一休

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町  
東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー10階

登録番号：T9010401053430

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。  
This receipt is an electronic display of receipt data.

## 内訳

### ご請求

項目	金額
宿泊代金	21,700*
ポイント利用	-4,340*
総額	17,360
10%課税対象(※)計	17,360
(うち消費税)	1,578)
	17,360

### お支払い

クレジットカード決済	17,360
総額	17,360

# 自由民主・無所属クラブ 行程

日程：令和8年1月15日（木）～16日（金）

行先：東京都世田谷区

【森園 秀一 議員】

月日	行程	宿泊地
1月15日 (木)	<p>9:05発 八戸 → (はやぶさ12号) → 大宮 → (JR埼京線) → 渋谷 → 12:29着/12:38発</p> <p>12:49着/13:00発 二子玉川 → (移動) → 13:30着/20:15発 楽天クリムゾンハウス → (移動) →</p> <p>ホテル</p>	東京都内
1月16日 (金)	<p>ホテル → (移動) → 9:50着/12:15発 楽天クリムゾンハウス → (移動) → 12:30着/13:29発 二子玉川 → (東急田園都市線急行) →</p> <p>13:39着/13:47発 渋谷 → (JR埼京線) → 大宮 → (はやぶさ25号) → 17:04着 八戸</p>	

【研修名】 「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026研修会

【主催者】 1月15日 ふるさと住民応援コンソーシアム  
1月16日 楽天グループ株式会社地域創生事業

【共催者】 1月15日 ローカル・マニフェスト推進連盟  
一般社団法人ユースキャリア教育機構  
楽天グループ株式会社地域創生事業

【日時等】 ・日時：令和8年1月15日（木）14時～20時  
令和8年1月16日（金）10時～12時  
・場所：東京都世田谷区二子玉川 楽天クリムゾンハウス

#### 【参加目的】

〔ふるさと住民登録制度と地域活性化の先進事例を踏まえた今後の議会活動への活用〕

総務省が来期令和8年創設を予定している「ふるさと住民登録制度」について、制度の概要、自治体における活用可能性、民間企業との連携による地域活性化の新たな手法を学ぶため、楽天グループ本社を訪問し、制度設計の方向性や先進事例を調査した。また、地域の担い手不足解消に向けた（株）タイミーの取組についても併せて学び、八戸市の地域課題解決に資する知見を得ることを目的とした。

#### 【1月15日概要】

##### 1 ふるさと住民登録制度の概要

###### ●制度の理念

- ①実際に居住していなくても、地域と継続的な関係を持つ「関係人口」を“ふるさと住民”として登録できる新制度。
- ②従来の住民票とは異なり、自治体が自由に制度設計できる柔軟な仕組み。
- ③地域情報の提供、公共施設の住民価格利用、地域活動への参加促進などを通じ、地域との関係性を深めることを目的とする。

###### ●地方創生における意義

人口減少が進む中、「居住人口」だけに依存しない地域運営が求められている。そこで関係人口の可視化・育成により、地域の担い手確保、経済活性化、地域ブランド向上につながる。

## 【1月16日概要】

### 1 楽天グループの取組とシステム構築

#### ●包括連携の方向性

楽天は自治体との包括連携を通じ、ふるさと納税・地域情報発信・デジタル行政支援を一体的に推進している。

#### ●ふるさと住民登録制度のプラットフォーム構築

①アプリで簡便に登録できる仕組みを構築。

②登録者の属性・関係性・活動履歴を可視化し、自治体の政策立案に活用可能。

③行政手続きの円滑化、地域活動への参加促進、官民のサポート提供など、関係人口の拡大を後押しする。

#### ●制度創設までの流れ

①総務省・自治体・民間企業が連携し、制度設計・実証・全国展開を進める。

②「ふるさと住民応援コンソーシアム」が中心となり、自治体間の情報共有や先進事例の横展開を図る。

### 2 自治体におけるメリットと活用法

#### ●主なメリット

①関係人口の規模や関係性をデータとして把握できる。

②地域イベント・特産品・観光情報の発信が効率化。

③公共施設の利用促進や地域経済への波及効果が期待できる。

④将来的な移住・定住につながる可能性。

#### ●ふるさと納税との連動

①2025年度、住民税控除適用者は約1,079万人と推計され、関係人口の潜在層は非常に大きい。

②ふるさと納税の寄附者を「ふるさと住民」として継続的に関係構築することで、地域の担い手育成につながる。

### 3 先進事例の学び

#### ●岐阜県飛騨市「タビスケ」

①市民と関係人口が“助け合い”でつながるプラットフォーム。

②小規模な地域課題を外部人材が支援し、関係人口が急増。

③「地域の困りごとを可視化し、関係人口が解決に参加する」モデルは八戸市でも応用可能。

#### ●長野県飯綱町「いいづなリンゴ部」

①返礼品をきっかけに関係人口が“部活動”として継続的に関わる仕組み。

②特産品を軸にしたコミュニティ形成の好例。

●東京都など都市部での活用価値

- ①都市住民の「第二のふるさと」志向に応える制度として期待。
- ②八戸市のファン層拡大にも有効。

4 (株) タイミーの取組と地域活性化の示唆

●タイミーの特徴

企業は「来てほしい時間」「求めるスキル」を設定するだけで、条件に合うワーカーが即時に集まる。そこで労働力の“こま切れ化”に対応し、ミスマッチを解消。

●地域課題との接点

人材不足が深刻な地域産業（観光、農業、福祉など）において、スポット人材の活用は有効で、そこで関係人口が「働く形」で地域に関わる“生産関係人口”の創出につながる。

【所感】

○八戸市への応用可能性と今後の議会活動への活用について

まずは、八戸版「ふるさと住民登録制度」の検討をし、八戸ファン、Uターン予備軍、ふるさと納税寄附者などを対象に関係人口の可視化が必要であると思います。

また、登録していただくためには、公共施設の住民価格利用、地域イベントの優先案内、オンラインコミュニティ等、様々な整備も必要です。

地域担い手を確保するためにタイミー型のスポットワークの活用など検討し、農漁業・観光・福祉の人材不足を補完するために、関係人口が「働く形で」地域に関わる仕組みの構築が必要であると理解しました。

今回の視察を通じ、ふるさと住民登録制度は単なる制度創設にとどまらず、「地域と人の新しいつながり方」を再設計する取組であると実感しました。人口減少が進む中で、八戸市が持続可能な地域運営を行うためには、居住人口だけでなく、関係人口・生産関係人口を戦略的に育てる視点が不可欠であることも先進事例として学びました。

今後の議会活動においては、制度導入の可能性、デジタルを活用した関係人口の可視化、地域担い手への対応、産業振興・地域ブランド強化など、多角的な観点から政策提案を行い、八戸市の未来を切り拓く議論を進めていきたい。

# 議員カンファレンス

主催：ふるさと住民応援コンソーシアム 楽天グループ株式会社 地域創生事業  
共催：ローカル・マニユフェスト推進連盟 一般社団法人ユースキャリア教育機構

ふるさと住民登録制度「活用を見据えた  
北業における人手不足の課題解決法とは

楽天グループ株式会社 専務執行役員  
スルママーケティングカンパニー  
ファイブプレジデント

高野 秀行

株式会社タイミー  
執行役員 社長兼専員  
スプリントワーク株式会社専務

石橋 孝宜



# 議員カンファレンス

主催：ふるさと住民応援コンソーシアム

楽天グループ株式会社 地域創生事業

共催：ローカル・コミュニケーション推進連盟

一般社団法人ユースキャリアア教育機構



Rakuten

楽天グループ株式会社

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央3-5-17 ミレネート仙台ビル 3F



事業を構想し未来を創る  
**未来創造**



011-261-0111



Timee

社長等 他社創設G 企画チーム

リーダー

株式会社タイミー

〒105-7135

東京都港区東新橋1丁目5-2 汐留シティセンター35階

Rakuten

ふるさと住民応援コンソーシアム

事務局長

(楽天グループ株式会社所属)

楽天グループ株式会社

Rakuten

楽天グループ株式会社

〒158-0094

東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス

Timee

執行役員 社務室長  
スボットワーク研究所所長

株式会社タイミー

〒105-7135

東京都港区東新橋1丁目5-2 汐留シティセンター35階

Rakuten  
Symphony

Senior Director

Internet Services Division  
CPaaS Business Department  
CPaaS Domestic Sales Section

楽天シンフォニー株式会社

〒158-0094

東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス



011-261-0111